





## 安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、お使いになる人やほかの人々への危害や損害を未然に 防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる人がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害 の程度を表 わす表示	この表示の欄は「死亡ま どを負う可能性が想定さ です。	たは重傷な れる」内容
本文山の図	▲ 記号は、気を付けていただきたい 図の中には具体的な注意内容を表示し	「注意」の内容です。 っています。(左図の場合は一般的な注意)
記号の意味	<ul> <li>図の中には具体的な禁止内容を表示し</li> <li>● 記号は、必ず実行していただく</li> </ul>	) いりなとす。 っています。(左図の場合は分解禁止) 強制」の内容です。
	●	」ています。(左凶の場合は一般的な強制)
▲ 警告	ち 感電・火災の原因となります。	注意 感電・火災・けがの原因となります。
くしていていていています。 大トー しない 茶 止 ミシン	-ブ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使) )でください。 /の使用温度は 5 ℃~ 35 ℃です。	月 めい途中に布や刺しゅう枠を無理に引っ張ったり、押し たりしないでください。
くでは 禁止 スプレ くでは	/一製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の; た使用しないでください。	このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを 使用してください。 付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品に は使用しないでください。
電源二 以下の ・ 傷 ・ 加	コードやフットコントローラーのコードについて、 )行為は行わないでください。 つける エする	フットコントローラーの上に物をのせないでください。 また、ご使用の際は、周辺に糸くずやほこりがないこと を確認してください。
・はる ・たい	さみ込む ばねる	お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用さ 注意 れるときは、特に安全に注意してください。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	⊃張る 里に曲げたり、ねじったりする い物をのせる 昷部に近づける	
電源二 が破損	コード、フットコントロ-ラーのコードおよびプラ: 聞した場合は、使用しないでください。	<sup>ブ</sup> ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、 必ずもう一方の手でミシンをささえてください。
します 必ず実行 の一般家	R庭用、交流電源 100 V でご使用ください。	プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにして <sub>必ず実行</sub> ください。
電源フ     必ず実行   除いて	プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取 こください。	) 針および押さえは、確実に固定してください。 また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。
以下の 抜いて 必ず電源 ・ミシ	)ようなときは、電源スイッチを切り、電源ブラグ; こください。 ンのそばをはなれるとき	を 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラ グを持って抜いてください。
ブラグを ・ニン 抜く ・ミシ	ンを使用しためと ン使用中に停電したとき	以下のことを行うときは、ロックキーを押してミシンを ロック状態にしてください。
⚠ 注意	感電・火災・けがの原因となります。	<ul> <li>・押さえ、アタッチメントを交換するとき</li> <li>必ず実行</li> <li>・上糸、下糸をセットするとき</li> <li>・針、針板を交換するとき</li> </ul>
分解禁止 分解は	ましないでください。	<ul> <li>ミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、</li> <li>必ず電源</li> <li>電源プラグをコンセントから抜いてください。</li> </ul>
ミシン はずみ 接触禁止 づけな	シッホューゼは、ゴロンシロをはなさないようにし、ゴ み車・天びんなどすべての動いている部分に手を近 ないでください。	
林がご 林がご ださい     ださい	った針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでく ヘレ。	上けの販売店にて点検・修埋・調整をお受けください。 <ul> <li>正常に作動しないとき</li> <li>水にぬれたとき</li> <li>ブラグを、まますたいにとりなりました。</li> </ul>
● = = = = = = = = = = = = = = = = = =	ノの通風口はふさがないでください。	<ul> <li>         ・ 洛トなどにより破損したとき         <ul> <li>             ・ 異常な臭い・音がするとき             ・ 電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき         </li></ul> </li> </ul>

目 次

◎ お取り扱いについてのお願い		. 3
◎ 各部のなまえ	4~	· 5
◎ 標準付属品と収納場所	5 ~	- 9
● 刺しゅうユニットケース		. 5
●標準付属品	6~	- 7
<ul> <li>●標準付属品収納場所</li> <li>● 補助テーブル</li> </ul>		. 8
		. 9
	10~	<b>22</b>
● 电線のフルさ力		10
★フットコントローラーを使用する場合		10
●速さの調節		11
★スピードコントロールつまみ		11
★フットコントローラー	10	11
● 探1Fハタノ	. 12~	13
● 回回 (タックハネル) ● 押さえの外し方、付け方		14 15
●押さえホルダーの外し方、付け方		16
●フリーキルト押さえ PD-H の交換		17
● 刺しゅう押さえ P の交換		17
● 針板の外し方、付け方		18
●針の取りかえ方		19
<ul> <li>● 布に適した糸や針を選ぶ目安</li> </ul>		20
● 押さえ上け		21
● 沖でん圧調即タイヤル		21 22
<ul> <li>● ニーリフト</li> </ul>		22
◎ ぬう前の進備	$23 \sim 100$	28
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li></ul>	<b>23 ~</b>	<b>28</b> 25
<ul> <li>◎ ぬう前の準備</li></ul>	<b>23 ~</b> .23 ~	<b>28</b> 25 23
<ul> <li>◎ ぬう前の準備</li></ul>	<b>23 ~</b> .23 ~	<b>28</b> 25 23 23
<ul> <li>◎ ぬう前の準備</li> <li>● 下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ 糸こまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> </ul>	<b>23 ~</b> : .23 ~	<b>28</b> 25 23 23 23
<ul> <li>◎ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ ネこまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ ボビンの</li> </ul>	<b>23 ~</b> .23 ~	<b>28</b> 25 23 23 23 23
<ul> <li>◎ ぬう前の準備</li> <li>● 下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ 糸こまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ ボビンのセット</li> </ul>	<b>23</b> ~ .23~	<b>28</b> 25 23 23 23 24 25
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ ネこまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ 下糸巻き</li> <li>★ ボビンのセット</li> <li>●上糸かけ</li> <li>●糸通し</li> </ul>	<b>23</b> ~ .23~	28 25 23 23 23 24 25 26 27
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ えまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ ボビンのセット</li> <li>● 上糸かけ</li> <li>● 糸通し</li> <li>●下糸を針板の上に引き出す場合</li> </ul>	<b>23</b> ~ .23~	<ul> <li><b>28</b></li> <li>25</li> <li>23</li> <li>23</li> <li>23</li> <li>24</li> <li>25</li> <li>26</li> <li>27</li> <li>28</li> </ul>
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>● 下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ ネこまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ 下糸巻き</li> <li>★ ボビンのセット</li> <li>● 上糸かけ</li> <li>● 糸通し</li> <li>● 下糸を針板の上に引き出す場合</li> </ul>	<b>23</b> ~ .23~	<b>28</b> 23 23 23 23 23 23 23 25 26 27 28
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ ネこまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ 市ビンのセット</li> <li>● 上糸かけ</li> <li>● 糸通し</li> <li>● 下糸を針板の上に引き出す場合</li> <li>○ 通常ぬい</li> </ul>	<b>23</b> ~ .23~	<ol> <li>28</li> <li>25</li> <li>23</li> <li>23</li> <li>24</li> <li>25</li> <li>26</li> <li>27</li> <li>28</li> <li>29</li> <li>20</li> </ol>
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ ネこまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ 下糸巻き</li> <li>★ ボビンのセット</li> <li>●上糸かけ</li> <li>● 上糸かけ</li> <li>● 糸通し</li> <li>● 下糸を針板の上に引き出す場合</li> <li>● 通常ぬい</li> <li>● 通常ぬい模様</li> </ul>	<b>23</b> ~ .23~	<ol> <li>28</li> <li>25</li> <li>23</li> <li>23</li> <li>24</li> <li>25</li> <li>26</li> <li>27</li> <li>28</li> <li>29</li> </ol>
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ ネこまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ 市ビンのセット</li> <li>● 上糸かけ</li> <li>● 糸通し</li> <li>● 下糸を針板の上に引き出す場合</li> <li>○ 道常ぬい</li> <li>● 通常ぬい模様</li> </ul>	23 ~ 1 .23 ~ 	<ul> <li>28</li> <li>25</li> <li>23</li> <li>23</li> <li>24</li> <li>25</li> <li>26</li> <li>27</li> <li>28</li> <li>29</li> <li>48</li> </ul>
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ ネこまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ 下糸巻き</li> <li>★ ボビンのセット</li> <li>●上糸かけ</li> <li>●上糸かけ</li> <li>● 上糸かけ</li> <li>● 大糸を針板の上に引き出す場合</li> <li>● 通常ぬい</li> <li>● 道常ぬい</li> <li>● 道常ぬい</li> <li>● じつようぬいの画面</li> <li>● じつようぬいの画面</li> </ul>	23 ~ 1 .23 ~ 1	<ul> <li>28</li> <li>25</li> <li>23</li> <li>23</li> <li>24</li> <li>25</li> <li>26</li> <li>27</li> <li>28</li> <li>29</li> <li>29</li> <li>48</li> <li>30</li> <li>30</li> </ul>
<ul> <li>◎ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ ネこまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ 下糸巻き</li> <li>★ ボビンのセット</li> <li>● 上糸かけ</li> <li>● 糸を針板の上に引き出す場合</li> <li>◎ 道常ぬい</li> <li>● 适うようぬい</li> <li>● じつようぬいの画面</li> <li>★ 設定キー(通常ぬいモード)</li> </ul>	23 ~ : .23 ~ : .30 ~ :	<ul> <li>28</li> <li>25</li> <li>23</li> <li>23</li> <li>24</li> <li>25</li> <li>26</li> <li>27</li> <li>28</li> <li>29</li> <li>29</li> <li>48</li> <li>30</li> <li>30</li> <li>35</li> </ul>
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ボビンの取り出し</li> <li>★糸こまのセット</li> <li>★福助糸立て棒の使い方</li> <li>★下糸巻き</li> <li>★ボビンのセット</li> <li>●上糸かけ</li> <li>●糸通し</li> <li>●下糸を針板の上に引き出す場合</li> <li>◎ 道常ぬい</li> <li>● 通常ぬい模様</li> <li>◎ じつようぬいの画面</li> <li>●じつようぬいの画面</li> <li>●じつようぬいの調節画面</li> <li>●じつようぬいの調節画面</li> </ul>	23 ~ 1 .23 ~ .23 ~ .30 ~ 1 .31 ~	<ol> <li>28</li> <li>25</li> <li>23</li> <li>24</li> <li>25</li> <li>26</li> <li>27</li> <li>28</li> <li>29</li> <li>29</li> <li>48</li> <li>30</li> <li>30</li> <li>35</li> </ol>
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ 糸こまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ 下糸巻き</li> <li>★ ボビンのセット</li> <li>●上糸かけ</li> <li>● 糸通し</li> <li>● 下糸を針板の上に引き出す場合</li> <li>② 道常ぬい</li> <li>● 道常ぬい</li> <li>● じつようぬいの画面</li></ul>	<b>23</b> ~ .23~ 	<ul> <li>28</li> <li>25</li> <li>23</li> <li>23</li> <li>24</li> <li>25</li> <li>26</li> <li>27</li> <li>28</li> <li>29</li> <li>48</li> <li>30</li> <li>30</li> <li>35</li> <li>36</li> </ul>
<ul> <li>◎ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ ボビンの取り出し</li> <li>★ ネこまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★ 下糸巻き</li> <li>★ ボビンのセット</li> <li>● 上糸かけ</li> <li>● 糸を針板の上に引き出す場合</li> <li>◎ 道常ぬい</li> <li>● 通常ぬい模様</li> <li>◎ じつようぬいの画面</li></ul>	23 ~ 1 .23 ~ 1 .23 ~ 1 .30 ~ 1 .31 ~ 1 .37 ~ 1	<ul> <li>28</li> <li>25</li> <li>23</li> <li>24</li> <li>25</li> <li>26</li> <li>27</li> <li>28</li> <li>29</li> <li>48</li> <li>30</li> <li>35</li> <li>36</li> <li>38</li> </ul>
<ul> <li>◎ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ボビンの取り出し</li> <li>★糸こまのセット</li> <li>★補助糸立て棒の使い方</li> <li>★下糸巻き</li> <li>★ボビンのセット</li> <li>●上糸かけ</li> <li>● 上糸かけ</li> <li>● 糸通し</li> <li>●下糸を針板の上に引き出す場合</li> <li>◎ 道常ぬい</li> <li>● 道常ぬい見に引き出す場合</li> <li>● 道常ぬい</li> <li>● じつようぬいの画面</li> <li>◆設定キー(通常ぬいモード)</li> <li>●じつようぬいの調節画面</li> <li>●じつようぬいの調整値の保存</li> <li>(お好みステッチ調整)</li> <li>●布ガイド設定キー</li> <li>●直線ぬい</li> </ul>	23 ~ 1 .23 ~ 1 .23 ~ 1 .30 ~ 1 .31 ~ 1 .37 ~ 1.39 ~ 1	<ul> <li>28</li> <li>25</li> <li>23</li> <li>23</li> <li>24</li> <li>25</li> <li>26</li> <li>27</li> <li>28</li> <li>29</li> <li>29</li> <li>48</li> <li>30</li> <li>30</li> <li>35</li> <li>36</li> <li>38</li> <li>40</li> </ul>
<ul> <li>◎ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ボビンの取り出し</li> <li>★えこまのセット</li> <li>★ 補助糸立て棒の使い方</li> <li>★下糸巻き</li> <li>★ボビンのセット</li> <li>●上糸かけ</li> <li>● 下糸を針板の上に引き出す場合</li> <li>◎ 道常ぬい</li> <li>● 通常ぬい模様</li> <li>◎ じつようぬいの画面</li></ul>	23 ~ .23 ~ .33 ~ .31 ~ .39 ~ .39 ~	28 23 23 24 25 26 27 28 29 29 29 48 30 30 35 36 38 40
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ボビンの取り出し</li> <li>★ネこまのセット</li> <li>★ネこまのセット</li> <li>★市ビンのセット</li> <li>★市ビンのセット</li> <li>●上糸かけ</li> <li>● 洗を針板の上に引き出す場合</li> <li>◎ 道常ぬい</li> <li>● 道常ぬい模様</li> <li>◎ じつようぬいの画面</li></ul>	23 ~ 1 .23 ~ 1 .23 ~ 1 .30 ~ 1 .31 ~ 1 .37 ~ .39 ~ .39 ~ .39 ~ .41 ~ 1	28 23 23 23 23 23 23 23 23 23 23 23 23 23
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li> <li>★ボビンの取り出し</li> <li>★糸こまのセット</li> <li>★福助糸立て棒の使い方</li> <li>★下糸巻き</li> <li>★ボビンのセット</li> <li>●上糸かけ</li> <li>● た糸を針板の上に引き出す場合</li> <li>● 道常ぬい</li> <li>● 道常ぬい</li> <li>● 道常ぬい</li> <li>● じつようぬいの画面</li></ul>	23 ~ .23 ~ .33 ~ .31 ~ .37 ~ .39 ~ .41 ~	28 23 23 23 24 25 26 27 28 29 29 29 48 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li></ul>	23 ~ .23 ~ .33 ~ .31 ~ .37 ~ .39 ~ .41 ~	<b>28</b> 23 23 23 24 25 27 28 <b>29</b> <b>29</b> <b>48</b> 30 35 36 30 35 36 40 40 41 41
<ul> <li>○ ぬう前の準備</li> <li>●下糸の準備</li></ul>	23 ~ 1 .23 ~ 1 .23 ~ 1 .30 ~ 1 .31 ~ 1 .37 ~ .39 ~ .39 ~ .39 ~ .41 ~ 1	<b>28</b> 25 23 23 24 25 27 28 <b>29</b> <b>48</b> 30 30 35 36 30 35 36 40 43 41 41 41

★ じつようぬい模様 6、7:伸縮ぬい		. 42
★ じつようぬい模様 8:しつけぬい		. 43
● コーナーリングガイド		. 43
<ul> <li>● 直線ぬい用針板の使い方</li> </ul>		. 44
● ジグザグぬい		. 45
★ じつようぬい模様 9、10:ジグザグぬい		. 45
★ しつようぬい候様 TT・ フくついぬい ● ふちかがりぬい	46 ~	. 45 - 47
★ じつようぬい模様 11:トリコットぬい		. 46
★ じつようぬい模様 12 : かがりぬい 1		. 46
★ じつようぬい模様 13:ニット人ナッチ ★ じつようめい模様 14・かがりめい 2		. 46
●その他のじつようぬい模様		. 48
◎ ボタンホール・特殊模様	49~	63
● ボタンホール・特殊模様の画面		. 49
●ボタンホールの種類と用途		. 50
●ボタンホール模様1:スクエアボタンホール	51 ~	- 54
★ ボタンホールの調節画面		. 54
● ボタンホール模様 2: スモリーボタンホール (スクエアボタンホール)	55 ~	· 56
●その他のボタンホール		. 57
★ ボタンホール模様 3、4:片ラウンド、両ラ	ラン	۲ ۲
ホタンホール ★ ボタンホール模様 5・キーホールボタンホ-	 	. 57
★ ボタンホール模様 6:ニットボタンホール.		. 57
●芯入りボタンホール		. 58
<ul> <li>●ボタンホール安定板の使い方</li> <li>● つくろいめい (ダーニンダ)</li> </ul>		. 59
$\bullet$ JCOURLI ( $\Im = 29$ )	$60 \sim$	' h l
● かんぬき止め		62
●かんぬき止め ●アイレット		. 62 . 63
●かんぬき止め ●アイレット ◎ <b>飾りぬい</b>	.64 ~	. 62 . 63
<ul> <li>●かんぬき止め</li></ul>	. <b>64 ~</b> 64 ~	. 62 . 63 • <b>69</b> • 65
<ul> <li>かんぬき止め</li></ul>	64 ∼	. 62 . 63 . 63 . 69 . 66
<ul> <li>かんぬき止め</li> <li>アイレット</li> <li>節りぬい</li> <li>飾りぬいの画面一覧</li> <li>飾りぬいの模様選択画面</li> <li>★設定キー(通常ぬいモード)</li> </ul>	.64 ~	. 62 . 63 . 63 . 65 . 66 . 66
<ul> <li>かんぬき止め</li> <li>アイレット</li> <li>節りぬい</li> <li>飾りぬいの画面一覧</li> <li>飾りぬいの模様選択画面</li></ul>	. <b>64 ~</b> 64 ~	. 62 . 63 . 63 . 65 . 66 . 66 . 67 . 67
<ul> <li>●かんぬき止め…</li> <li>●アイレット</li> <li>◎ 飾りぬい…</li> <li>●飾りぬいの画面一覧</li> <li>●飾りぬいの模様選択画面</li> <li>★ 設定キー(通常ぬいモード)</li> <li>●かざりもよう1グループ</li></ul>	. <b>64 ~</b> 64 ~	. 62 . 63 . 63 . 65 . 66 . 66 . 66 . 67 . 67 . 67
<ul> <li>かんぬき止め</li> <li>アイレット</li> <li>節りぬいの画面一覧</li> <li>飾りぬいの模様選択画面</li> <li>★ 設定キー(通常ぬいモード)</li> <li>かざりもよう 1 グループ</li> <li>★ スモッキング</li> <li>★ スカラップ</li> <li>キルトグループ</li> </ul>	.64 ~	. 62 . 63 . 63 . 65 . 66 . 66 . 67 . 67 . 67 . 68
<ul> <li>●かんぬき止め</li> <li>●アイレット</li> <li>◎ 飾りぬい</li> <li>●飾りぬいの画面一覧</li> <li>●飾りぬいの模様選択画面</li> <li>● かざりもよう1グループ</li> <li>● かざりもよう1グループ</li> <li>◆ スモッキング</li> <li>◆ キルトグループ</li></ul>	. <b>64 ~</b> 64 ~	. 62 . 63 . 63 . 65 . 66 . 66 . 67 . 67 . 67 . 68 . 68 . 68
<ul> <li>かんぬき止め</li> <li>アイレット</li> <li>節りぬいの画面一覧</li> <li>飾りぬいの模様選択画面</li></ul>	.64 ~ 64 ~	. 62 . 63 . 66 . 66 . 66 . 66 . 67 . 67 . 67 . 68 . 68 . 68 . 68
<ul> <li>かんぬき止め</li> <li>アイレット</li> <li>節りぬいの画面一覧</li> <li>飾りぬいの模様選択画面</li></ul>	.64 ~	.62 .63 .65 .66 .66 .67 .67 .67 .67 .67 .68 .68 .68 .68
<ul> <li>かんぬき止め</li> <li>アイレット</li> <li>節りぬいの画面一覧</li> <li>飾りぬいの模様選択画面</li></ul>	.64 ~ 64 ~	62 63 65 65 66 66 66 67 68 68 68 68 68 68 68 68 68 68
<ul> <li>●かんぬき止め</li> <li>●アイレット</li> <li>◎ 飾りぬい</li> <li>●飾りぬいの画面一覧</li> <li>●飾りぬいの模様選択画面</li></ul>	.64 ~ 64 ~	.62 .63 .65 .66 .66 .67 .67 .67 .67 .67 .68 .68 .68 .68 .68 .68 .68
<ul> <li>●かんぬき止め…</li> <li>●アイレット…</li> <li>◎ 飾りぬい…</li> <li>●飾りぬいの画面一覧…</li> <li>●飾りぬいの模様選択画面…</li> <li>★ 設定キー(通常ぬいモード)…</li> <li>●かざりもよう1グループ…</li> <li>★ スモッキング…</li> <li>★ スカラップ…</li> <li>●キルトグループ…</li> <li>★ キルティングガイドの使い方…</li> <li>★ キルト模様1~3…</li> <li>★ 針板角度目盛りの使い方…</li> <li>★ キルト模様43~46:手ぬい風キルトぬい</li> <li>● サテングループ…</li> <li>★ 模様の長さ調節機能(エロンゲーション)…</li> <li>◎ 模様組み合わせモード…</li> </ul>	.64 ~ 64 ~	.62 .63 .66 .66 .66 .66 .67 .67 .67 .67 .67 .68 .68 .68 .68 .68 .68 .69 .69 .69
<ul> <li>かんぬき止め</li> <li>アイレット</li> <li>節りぬいの画面一覧</li> <li>飾りぬいの模様選択画面</li></ul>	.64 ~ 64 ~	.62 .63 .65 .66 .66 .67 .67 .67 .67 .67 .68 .68 .68 .68 .68 .68 .69 .69 .70 .71
<ul> <li>●かんぬき止め</li> <li>●アイレット</li> <li>◎ 飾りぬいの画面一覧</li> <li>●飾りぬいの模様選択画面</li></ul>	.64 ~ 64 ~ 70 ~	.62 .63 .66 .66 .66 .67 .67 .67 .67 .67 .67 .68 .68 .68 .68 .68 .68 .69 .70 .71 .73
<ul> <li>●かんぬき止め●アイレット</li> <li>◎ 飾りぬい●飾りぬいの画面一覧●飾りぬいの模様選択画面</li> <li>●飾りぬいの模様選択画面</li> <li>●かざりもよう 1 グループ</li> <li>●かざりもよう 1 グループ</li> <li>◆ スモッキング</li> <li>★ スカラップ●キルトグループ</li> <li>◆ キルティングガイドの使い方</li> <li>★ キルト模様 1 ~ 3</li> <li>★ 針板角度目盛りの使い方</li> <li>★ 羊根ト模様 43 ~ 46 : 手ぬい風キルトぬい</li> <li>● サテングループ</li> <li>● 様様組み合わせモード</li> <li>● 模様組み合わせモードの画面●模様組み合わせモードの画面</li> <li>● 模様組み合わせモードの画面●模様組み合わせモードの画面●模様組み合わせモードの画面●模様組み合わせモードの画面●</li> </ul>	.64~ 64~ 	.62 .63 .66 .66 .66 .67 .67 .67 .67 .67 .68 .68 .68 .68 .68 .68 .69 .70 .71
<ul> <li>かんぬき止め</li> <li>アイレット</li> <li>飾りぬいの画面一覧</li> <li>飾りぬいの模様選択画面</li></ul>	.64~ 64~ 70~ 72~ 、下時)	.62 .63 .66 .66 .66 .67 .67 .67 .67 .67 .67 .67
<ul> <li>●かんぬき止め●アイレット</li> <li>◎ 飾りぬい●飾りぬいの画面一覧●飾りぬいの模様選択画面</li> <li>●飾りぬいの模様選択画面</li> <li>●かざりもよう1グループ</li> <li>●かざりもよう1グループ</li> <li>●かざりもよう1グループ</li> <li>●かざりもよう1グループ</li></ul>	.64 ~ 64 ~ 70 ~ 72 ~ 75 ~	.62 .63 .66 .66 .66 .67 .67 .67 .67 .67 .68 .68 .68 .68 .68 .68 .68 .69 .70 .71 .72 .73 .72 .74 .74
<ul> <li>●かんぬき止め●アイレット</li> <li>⑦ 飾りぬい●飾りぬいの画面一覧●飾りぬいの模様選択画面</li> <li>●飾りぬいの模様選択画面</li> <li>●飾りぬいの模様選択画面</li> <li>●かざりもよう1グループ</li> <li>●かざりもよう1グループ</li> <li>★スモッキング</li> <li>★スモッキング</li> <li>★スカラップ</li> <li>キルトグループ</li> <li>★キルト模様1~3</li> <li>★キルト模様43~46:手ぬい風キルトぬい</li> <li>サテングループ</li> <li>♥様様組み合わせモードの画面</li> <li>●模様組み合わせモードの画面</li> <li>●模様組み合わせモードの画面</li> <li>●模様組み合わせモードの画面</li> <li>●模様組み合わせモードの画面</li> <li>●模様組み合わせんいの例</li> <li>●反転キーの使い方</li> <li>●なぎもようグループの使い方</li></ul>	.64 ~ 64 ~ 70 ~ 72 ~ 、下時) 75 ~	.62 .63 .65 .66 .67 .67 .67 .67 .67 .67 .67 .67 .67
<ul> <li>●かんぬき止め●アイレット</li> <li>⑦ 飾りぬい●飾りぬいの画面一覧●飾りぬいの模様選択画面</li> <li>●飾りぬいの模様選択画面</li> <li>●かざりもよう1グループ</li> <li>●かざりもよう1グループ</li></ul>	.64 ~ 64 ~ 70 ~ 72 ~ 75 ~	.62 .63 .66 .66 .66 .66 .67 .67 .67 .67 .68 .68 .68 .68 .68 .68 .68 .69 .70 .71 .72 .73 .72 .73 .74 .77

## 目 次

 $\bigcirc$ 

 $\bigcirc$ 

 $\bigcirc$ 

 $\bigcirc$ 

 $\bigcirc$ 

 $\bigcirc$ 

 $\bigcirc$ 

◎ 文字ぬい	81 ~ 86
● 文字ぬいの画面	81 ~ 82
★ 模様選択画面	
● 文字ぬいの例	83~84
● 文字ぬい時の糸調子	85
★文字ごとに糸調子調節を行う	85
★全ての文字に同じ糸調子の値を適応する	
(	
	$.87 \sim 113$
<ul> <li>用述選択の様体選択回回</li> <li>用</li></ul>	00
● 州広医八の催焼	00 80
<ul> <li>広ちかがり</li> </ul>	09 ۵0
●まつりぬい	$91 \sim 92$
<ul> <li>●シェルタック</li> </ul>	
<ul> <li>● 三つ巻きぬい</li> </ul>	
<ul> <li>ファスナー付け</li> </ul>	$95 \sim 97$
<ul> <li>ギャザー</li> </ul>	
• しつけ	
<ul> <li>ボタンつけ</li> </ul>	100~102
★ 普通のボタンつけのぬい方	101
★ 根巻きボタンつけのぬい方	102
● かんぬき止め	103
●アップリケ	$104 \sim 105$
	$106 \sim 107$
★ 針 板 角 度 目 盛 り の 使 い 万	
● キルナイノク	$108 \sim 112$
★ 上じめい	100
★ フリーキルト	$110 \sim 111$
★1針停止キーの使い方	
★ 刺し子風ステッチ	112
★手ぬい風キルトぬい	112
●サークルぬい	113
◎ 2本針ぬい	$114 \sim 115$
◎ 刺しゅう	$116 \sim 153$
●刺しゅうの準備	$116 \sim 123$
★ 刺しゅうユニットの取り付け方	116
★キャリッジアームの開放	
★刺しゅうユニットの取り外し方	
★ 畑さえ圧	119
★ 針の交換	119
<ul> <li>▲ 針板の交換</li> </ul>	
★刺しゅう糸	120
★芯地	120
★刺しゅう枠とテンプレート	121
★ 刺しゅう枠に布を張る	122
★ 刺しゆつ 杵の千ヤリッン取り付け	
▼ ぬい近のの木りけ	123 124 ~ 127
<ul> <li>◆ 内蔵模様の選択方法(模様)</li> </ul>	$124 \sim 125$
★ 内蔵模様の選択方法(文字)	$126 \sim 127$

● 刺しゆつ実行画面	120 - 141
★ 刺しゅう模様情報	128
★設定キー	129 ~ 132
★ 模様ぬい	133
★ フリンジ模様	134
★ アップリケ模様	135
★文字刺しゅう選択画面	136
★文字の組み合わせ	137
★ 文字の色を変更する	
★ ぬい原点キー	
★2-レター文字	
★ ボーダー 1 と文字の組み合わせ	140
★ 文字の削除・插入	141
<ul> <li>● 刺しゅう模様の編集</li> </ul>	$142 \sim 152$
<ul> <li>● 新0 ゆう (なの 編本</li></ul>	1/3
▲ 描样を珍動する	1/3
▲ 炉作両両た丗+する	143
▲ 描述の大きさを亦再する	144
■ 供除の人でごと友史する	144 175
▼	
▼ 保体で削除9 る	
★ 候体を凹転させる	
★ 楔様を反転こせる	
★文字を円弧(アーク)状に配置する	147
★ 模様のクループ化	148
★ データを保存する	149
★ 模様や背景の色を変更する	$149 \sim 150$
★ 同色をまとめて刺しゅうする	151
★ぬい順序を変更する	152
●フリーアーム刺しゅう枠(FA10a)の使い方	$152 \sim 153$
模様データの保存・呼び出し	$154 \sim 161$
●模様データの保存	154 ~ 157
● 模様データの保存 ● 模様データの呼び出し	154 ~ 157 158 ~ 161
<ul> <li>●模様データの保存</li></ul>	154 ~ 157 158 ~ 161 158 ~ 159
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> </ul>	$\dots 154 \sim 157$ $\dots 158 \sim 161$ $\dots 158 \sim 159$ $\dots 160 \sim 161$
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> </ul>	154 ~ 157 158 ~ 161 158 ~ 159 160 ~ 161 161
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>&gt;</li></ul>	154 ~ 157 158 ~ 161 158 ~ 159 160 ~ 161 
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> </ul>	154 ~ 157 158 ~ 161 158 ~ 159 160 ~ 161 
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> </ul>	154 ~ 157 158 ~ 161 158 ~ 159 160 ~ 161 
<ul> <li>●模様データの保存…</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい…</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● ミシン設定モード</li> <li>● 共通設定</li> </ul>	$154 \sim 157$ $158 \sim 161$ $158 \sim 159$ $160 \sim 161$ $162 \sim 173$ $162 \sim 165$
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● ミシン設定モード</li> <li>● 共通設定</li> <li>● 通常ぬい設定</li> </ul>	$154 \sim 157$ $158 \sim 161$ $158 \sim 159$ $160 \sim 161$ $162 \sim 173$ 
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシン設定モード</li> <li>● 共通設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> </ul>	$154 \sim 157$ $158 \sim 161$ $158 \sim 159$ $160 \sim 161$ 161 $162 \sim 173$ 162 $162 \sim 165$ $165 \sim 168$ $168 \sim 173$
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● 美通設定</li> <li>● 通常ぬい設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> <li>● 言語設定</li> </ul>	$154 \sim 157$ $158 \sim 161$ $158 \sim 159$ $160 \sim 161$ 161 $162 \sim 173$ $162 \sim 165$ $165 \sim 168$ $168 \sim 173$ 
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● ミシン設定モード</li> <li>● 規設定</li> <li>● 潮しゅうぬい設定</li> <li>● 言語設定</li> </ul>	$154 \sim 157$ $158 \sim 161$ $158 \sim 159$ $160 \sim 161$ 161 $162 \sim 173$ $162 \sim 165$ $165 \sim 168$ $168 \sim 173$ 173
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● 美通設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> <li>● 言語設定</li> <li>模様の形の調整(送り調整ねじ)</li> </ul>	$154 \sim 157$ $158 \sim 161$ $158 \sim 159$ $160 \sim 161$ $161$ $162 \sim 173$ $162 \sim 165$ $165 \sim 168$ $168 \sim 173$ $173$ $173$
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● 美通設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> <li>● 言語設定</li> <li>レッのお手入れ</li> </ul>	$154 \sim 157$ $158 \sim 161$ $158 \sim 159$ $160 \sim 161$ $162 \sim 173$ $162 \sim 165$ $162 \sim 165$ $165 \sim 168$ $168 \sim 173$ 173 173
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ オーレの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● 美通設定</li> <li>● 対しゅうぬい設定</li> <li>● 「請設定</li> <li>● 「請設定</li> <li>● 「請設定</li> <li>● 「「」</li> <li>● 「」</li> <li>● 「」&lt;</li></ul>	$154 \sim 157$ $158 \sim 161$ $158 \sim 159$ $160 \sim 161$ $161 \sim 161$ $162 \sim 173$ $162 \sim 165$ $165 \sim 168$ $168 \sim 173$ $173 \sim 174$
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ オーレージー</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● 単通設定</li> <li>● 通常ぬい設定</li> <li>● 一</li> <li>● 一</li> <li>● 一</li> <li>● 一</li> <li>● 一</li> <li>● 一</li> <li>● 大田の</li> <li>● 一</li> <li>● 小</li> <li>● 一</li> <li>● 一</li> <li>● 小</li> <li>● 一</li> <li>● 一</li> <li>● 一</li> <li>● 一</li> <li>● 小</li> <li>● 一</li> <li>● 一</li></ul>	$154 \sim 157$ $158 \sim 161$ $158 \sim 159$ $160 \sim 161$ 161 $162 \sim 173$ $162 \sim 165$ $165 \sim 168$ $168 \sim 173$ 173 173
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>●ミシン設定モード</li> <li>● 其通設定</li> <li>● 対しゅうぬい設定</li> <li>● 言語設定</li> <li>レゆうめい設定</li> <li>● 言語設定</li> <li>レッカお手入れ</li> <li>● かまと送り歯、糸切り部の掃除</li> <li>● 糸道の掃除</li> </ul>	$154 \sim 157$ $158 \sim 161$ $158 \sim 159$ $160 \sim 161$ $161$ $162 \sim 173$ $162 \sim 165$ $165 \sim 168$ $168 \sim 173$ $173$ $174$ $175 \sim 177$ $175$
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>●ミシン設定モード</li> <li>● 共通設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> <li>● 言語設定</li> <li>模様の形の調整(送り調整ねじ)</li> <li>● 対まと送り歯、糸切り部の掃除</li> <li>● 糸道の掃除</li> <li>● 糸案内カバーの掃除</li> </ul>	154 ~ 157 $158 ~ 161$ $158 ~ 159$ $160 ~ 161$ $161$ $162 ~ 173$ $162 ~ 165$ $165 ~ 168$ $168 ~ 173$ $173$ $175$ $175$ $$
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● 美通設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> <li>● 言語設定</li> <li>様様の形の調整(送り調整ねじ)</li> <li>● 大喜と送り歯、糸切り部の掃除</li> <li>● 糸峯内カバーの掃除</li> <li>● メッセージ画面一覧</li> </ul>	154 ~ 157 158 ~ 161 158 ~ 159 160 ~ 161 162 ~ 173 
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● ミシン設定モード</li></ul>	154 ~ 157 158 ~ 161 158 ~ 159 160 ~ 161 161 162 ~ 173 
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● 三語設定</li> <li>● 対しゅうぬい設定</li> <li>● 討話設定</li> <li>● 対しゅうぬい設定</li> <li>● 対しゅうぬいた</li> <li>● 対しゅうぬいた</li> <li>● 対しゅうぬいた</li> <li>● 対しゅうねいた</li> <li>● 対しゅうねいた</li> <li>● 対しゅうねいた</li> <li>● 対しゅういた</li> <li>● 対しゅういた</li> <li>● 対した</li> <li>● 対しゅうねいた.</li></ul>	154 ~ 157 $158 ~ 161$ $158 ~ 159$ $160 ~ 161$ $162 ~ 173$ $162 ~ 165$ $165 ~ 168$ $165 ~ 168$ $173$ $175 ~ 177$ $175 ~ 177$ $176$ $$
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● 三部設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> <li>● 討語設定</li> <li>レゅうぬい設定</li> <li>● 対しゅうぬい設定</li> <li>● 対しゅうぬい設定</li></ul>	154 ~ 157 158 ~ 161 158 ~ 159 160 ~ 161 162 ~ 173 
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>●ミシン設定モード</li> <li>●通常ぬい設定</li> <li>●刺しゅうぬい設定</li> <li>●詞としゅうぬい設定</li> <li>●言語設定</li> <li>模様の形の調整(送り調整ねじ)</li> <li>●対まと送り歯、糸切り部の掃除</li> <li>●糸室内カバーの掃除</li> <li>メッセージ画面一覧</li> <li>●USB メモリをフォーマットする</li> <li>模様一覧表</li></ul>	154 ~ 157 158 ~ 161 158 ~ 159 160 ~ 161 162 ~ 173 162 ~ 165 165 ~ 168 165 ~ 168 173 
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● 三語設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> <li>● 討語設定</li> <li>模様の形の調整(送り調整ねじ)</li> <li>● 対しゅうぬい設定</li> <li>● かまと送り歯、糸切り部の掃除</li> <li>● 糸案内カバーの掃除</li> <li>● メ案内カバーの掃除</li> <li>● 以SB メモリをフォーマットする</li></ul>	154 ~ 157 $158 ~ 161$ $158 ~ 159$ $160 ~ 161$ $162 ~ 173$ $162 ~ 165$ $165 ~ 168$ $165 ~ 168$ $173$ $173$ $174$ $175 ~ 177$ $175$ $176$ $176$ $$
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● 注意設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> <li>● 前詰設定</li> <li>● 林寒内カバーの掃除</li> <li>● 糸案内カバーの掃除</li> <li>● メモリをフォーマットする</li> <li>● 道常ぬい</li> <li>● 通常ぬい</li> <li>● 通常ぬい…</li> <li>● 通信</li> <li>● 回答</li> <li>●</li></ul>	154 ~ 157 $158 ~ 161$ $158 ~ 159$ $160 ~ 161$ $162 ~ 173$ $162 ~ 173$ $162 ~ 165$ $165 ~ 168$ $168 ~ 173$ $173 ~ 174$ $175 ~ 177$ $175$ $175$ $176$ $$
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● 三語設定</li> <li>● 刺しゅうぬい設定</li> <li>● 司話設定</li> <li>● 対しゅうぬい設定</li> <li>● 声話設定</li> <li>● かまと送り歯、糸切り部の掃除</li> <li>● 糸峯内カバーの掃除</li> <li>● 糸峯内カバーの掃除</li> <li>● 以SB メモリをフォーマットする</li> <li>● 道常ぬい文字</li> <li>● 却しゅう</li> </ul>	
<ul> <li>●模様データの保存</li> <li>●模様データの呼び出し</li> <li>★ 通常ぬい</li> <li>★ 刺しゅう</li> <li>★ ファイルの形式</li> <li>ミシンの設定</li> <li>● ミシン設定モード</li> <li>● 連常ぬい設定</li> <li>● かまと送り歯、糸切り部の掃除</li> <li>● 糸峯内カバーの掃除</li> <li>● 糸峯内カバーの掃除</li> <li>● シンの調子が悪いときの直し方</li> <li>● USB メモリをフォーマットする</li> <li>● 道常ぬい</li> <li>●通常ぬい文字</li> <li>●刺しゅう</li> <li>●刺しゅう</li> <li>●刺しゅう</li> </ul>	154 ~ 157 158 ~ 161 158 ~ 159 160 ~ 161 162 ~ 173 





 ゆう布を汚さないようにするため、針板付近の油やほこりなどの汚れを、乾いたやわらかい布で十分にふき 取ってください。
 試しめいたして、布が汚わないことを確認してから使用してください。

試しぬいをして、布が汚れないことを確認してから使用してください。

② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。



## ◇修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障が生じたりしたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(179~182ページ) によって、点検・調整を行ってください。



## ◎各部のなまえ

- ① 天板
- 糸立て棒
- ③ 糸こま押さえ (大)
- ④ タッチペンホルダー
- ⑤ 糸切り (下糸巻き用)
- ⑥ 押さえ圧調節ダイヤル
- ⑦ 糸巻き軸
- ⑧ 糸切りホルダー
- ⑨ 天びん
- ⑩ 押さえケース(前面)
- ① 画面(タッチパネル)
- 12 ニーリフト取り付け穴
- (3) 送り調整ねじ(ふた付)
- (1) 補助テーブル (アクセサリー入れ)
- ⑮ 針板開放レバー
- 16 スケール (センチ/ミリ)
- ⑰ 糸切り / 糸押さえ
- 18 面板
- 19 サーキュラーピボットピン取り付け穴
- ⑳ アーム糸案内
- 21 針止めねじ
- ② 針棒糸かけ③ 創 (11 至)
- 23 針 (14番)
- 24 基本押さえ A
- 25 針板
- <sup>26</sup> 角板開放ボタン
- ②角板
- 28 カッター(下糸切り用)
- 29 送り歯
- ③ 押さえホルダー
- ③ 押さえホルダー止めねじ
- 32 レバー
- 33 糸通しレバー
- 39 ボタンホール切りかえレバー
   35 糸ガイド
- 30 スタート/ストップボタン
   30 返しぬいボタン
   38 止めぬいボタン
   39 上下停針ボタン
   39 糸切りボタン
- ④ スピードコントロールつまみ



- ④ 手さげハンドル
- ④ はずみ車
- 44 通風口
- ④ 糸切りフットスイッチ接続端子
- ④ USB 差し込み口
- ④ 送り歯ドロップつまみ
- 48 プラグ受け
- ④ フットコントローラープラグ受け
- 50 電源スイッチ
- ⑤ 刺しゅうユニット取り付け部カバー
- ᡚ 刺しゅうユニット取り付け部
- ⑤3 押さえ上げ
- 9 刺しゅうユニット
- 55 キャリッジアーム
- 56 キャリッジレバー
- ※ ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。
- ※ 仕様や形状を予告なく変更する場合があります。



## ◎標準付属品と収納場所

● 刺しゅうユニットケース

### 【使い方】

刺しゅうユニットケースをあけ、補強板をひらきます。 図のように仕切り板を取り付けて、刺しゅうユニットをケー スの中に入れます。

仕切り板が、刺しゅうユニットを持ち運ぶときにケース の中で動くのを防ぎます。



### ● 標準付属品

- 基本押さえ A
- ※ミシンの押さえホルダーに付いています。
- ② ふちかがり押さえ M
- ③ サテン押さえ F
- ④ まつりぬい押さえG
- ⑤ ファスナー押さえ E
- ⑥ ボタンホール押さえ R
- ⑦ ボタンホール安定板
- ⑧ 三つ巻き押さえ D
- ⑨ フリーキルト押さえ PD-H
- 10 ボタンつけ押さえ T
- ① パッチワーク押さえ 0
- ⑫ 刺しゅう押さえ P
- サーキュラーピボットピン
   ※ ミシンの押さえケース(前面)に入っています。
- 1④ ボタン付けプレート
- 15 ボビン(5 個)
  - ※1つはミシンの内がまに付いています。
- 16 針ケース (針:HA × 1)
  - ブルー針〔11番〕(2本)
  - レッド針〔14 番〕(1 本)
  - パープル針〔14番〕(1本)
  - •2本針(1本)
- ① ドライバー
- 18 ミシンブラシ
- 19 シームリッパー
- 20 キルティングガイド
- ② 糸こま押さえ(大)(2 個)
  - ※1つはミシンの糸立て棒に付いています。
- 22 糸こま押さえ(小)(2個)
- 23 補助糸立て棒
- 24 はさみ
- 25 タッチペン
- 26 直線ぬい用針板
- ② かま用クリーナー
- 28 ニーリフト



### ● 標準付属品

- ① SQ14a 標準型刺しゅう枠(テンプレート付き)
- ② RE20a 大型刺しゅう枠(テンプレート付き)
- ③ FA10a 小型刺しゅう枠(テンプレート付き)
- ④ 刺しゅう布保持用マグネットクリップ(4個)
- ⑤ 電源コード
- ⑥ フットコントローラー※ モデルによってオプションになります。
- ⑦ 取扱説明書
- ⑧ 早見表
- ⑨ 説明 DVD
- 10 テンプレート CD
- ① 布ガイド
- 12 ミシンカバー
- (3) 刺しゅうユニットケース





### ● 標準付属品収納場所

押さえや付属品は、押さえケース(前面)や、補助テー ブルの中に収納できます。

## 【押さえケース(前面)】

前面のカバーを開きます。 各押さえケースは、前に傾けることができます。 ① サーキュラーピボットピン

- ① チェン し.② 基本押さえ A
- ③ ふちかがり押さえ M
- ④ 三つ巻き押さえ D
- ⑤ ファスナー押さえ E
- ⑥ サテン押さえ F

※他のアクセサリーは補助テーブルの中に収納できます。

### 【補助テーブル】

補助テーブル内のアクセサリー入れを使用する場合、補助テーブルの左側のくぼみに指をかけ、手前に引いて開 けます。

補助テーブルのカバーを開けると、押さえやボビンなど の小物が収納できます。

補助テーブルを外すと針板などが収納できます。

※ 針板は、左図のように表側が見えるように収納してく ださい。

裏側を上に向けて、針板ばねが上にくるように収納すると、ミシンに補助テーブルを取り付けたときにフリーアームの底に針板ばねがぶつかって損傷することがあります。



### ● 補助テーブル

補助テーブルを取り付けると、広いテーブルでぬうこと ができます。

また、フリーアームを使用するときは、横に引き簡単に 取り外すことができます。

#### 補助テーブルの外し方:

補助テーブルの下側に手をかけ、横に引いて外します。

#### 補助テーブルの取り付け方:

フリーアームに沿わせて、補助テーブルを突き当たるま で押し込んで取り付けます。

### フリーアームの使い方

補助テーブルを外すと、フリーアームになります。 そで口やすそなどをぬう場合や、袋物の口端の始末に利 用できます。





◎操作方法

### ● 電源のつなぎ方

🕂 警告

- 電源は、一般家庭用交流電源 100 V で使用してください。ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・火災の原因となります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
   ほこりなどが付着していると、湿気などによって絶縁不良となり火災の原因となります。

### ★ スタート/ストップボタンを使用する場合

- 電源スイッチ①を「OFF」(切)にします。
- 2 電源コードのプラグ2をプラグ受け3に差し込みます。
- ③ 電源プラグ④をコンセント⑤に差し込みます。
- ④ 電源スイッチ① を「ON」(入) にします。
- ※ 電源スイッチを入れると、ミシンの準備のための初期 設定が数秒間行われます。初期設定中は針などが動き ますので、ミシンに触れないでください。
- ※ 必ず付属の電源コードを使用してください。
- ※ 電源スイッチの「ON」(入)、「OFF」(切)の操作は 5 秒以上間かくをあけてください。
- ※ フットコントローラーを接続している場合、 スタート/ストップボタンは使用できません。

### ★ フットコントローラーを使用する場合

- 電源スイッチ①を「OFF」(切)にします。
- 2 電源コードのプラグ ② をプラグ受け ③ に差し込みます。
- ③ フットコントローラープラグ④をフットコントロー ラープラグ受け⑤に差し込みます。
- ④ 電源プラグ⑥をコンセント⑦に差し込みます。
- 5 電源スイッチ ① を「ON」(入) にします。
- ※ フットコントローラーのコードの取り出し方と収納方 法は 11 ページをごらんください。
- ※ フットコントローラーを接続している場合、スタート/ ストップボタンは使用できません。
- ※ フットコントローラーは、モデルによってオプション になります。





#### ● 速さの調節

ぬう速さは、スピードコントロールつまみやフットコン トローラーで調節します。

#### ★ スピードコントロールつまみ

スピードコントロールつまみは、スタート / ストップボ タン使用時のぬう速さを調節できます。

つまみの位置が右側になるほど速くなります。

フットコントローラー使用時は、フットコントローラーをいっぱいに踏み込んだときの最高速度を調節できます。

※ 最高速度は、模様のぬい目のあらさ、および模様の種 類によって変化します。

### ★ フットコントローラー

※ フットコントローラーは、モデルによってオプション になります。

フットコントローラーの踏みかげんで、ミシンの速さを 調節します。

フットコントローラーを深く踏むほど、ぬいの速度が速 くなります。

- ※ フットコントローラーを一番深く踏み込んだときのミシンの最高速度は、スピードコントロールつまみで調節します。
- ※ スピードコントロールつまみは、通常、いちばん右側 の位置(最高速)にして、踏みかげんで速さを調節し てください。
- ※ 細かいものをぬうときなどは、スピードコントロール つまみを低速側にしておくと、フットコントローラー をいっぱいに踏み込んでもスピードが出ないので使い やすくなります。
- ※ ミシンに大きな負荷がかかった場合、安全装置が働き 自動的に停止するしくみになっています。画面に表示 されるメッセージに従ってください。 (178 ページ参照)

## 1 警告

- フットコントローラーの上に物を置かないでください。けがや故障の原因となります。
- フットコントローラーを使用する場合、周辺に糸く ずやほこりがないことを確認してください。 動作不良を起こし、けがや故障の原因となります。

### 【コードの取り出し方と収納方法】

- 1 底のカバー①を外してコード②を取り出します。
- 2 コード②を収納する場合、底のカバー①を外してコードを巻き付けて収納します。
- 3 カバー 1 は、先に 2 カ所のつめ 3 を押し込んでから 取り付けます。



### ● 操作ボタン

#### ① スタート / ストップボタン

スタート/ストップボタンを押すと、ミシンはゆっくり 動きはじめてからスピードコントロールつまみでセット した速さになります。(スロースタート機能)

- もう一度押すとミシンは停止します。通常は針が下の位 置で停止します。
- ※ ぬい途中でこのボタンを長押しするとミシンは低速に なり、ボタンをはなすと止まります。
- ※ボタンのランプ色は、ミシン停止中は緑、運転中は赤 になります。
- ※ ボタンを押してスタートさせるときおよび停止させる とき、指をはなさないで押し続けているあいだは低速 で動きます。
- ※ ミシンを停止したとき、通常は針が下の位置で停止しますが、上の位置で停止にも設定できます。 (165ページ「針停止位置」参照)
- ※ 動きはじめの速度(スロースタート機能)は、変更することができます。 (166ページ「スロースタート調節」参照)
- ※ フットコントローラーを接続している場合、スタート / ストップボタンは使用できません。

#### ② 返しぬいボタン

• じつようぬいグループの模様 01 04 09 10 11 10<sup>1/4</sup> <sup>1</sup> <sup>7</sup><sup>m</sup>

#### 択されている場合:

《ミシン停止中》

(フットコントローラーを接続していないときのみ) ボタンを押しているあいだは低速で返しぬいをして、指 をはなすとミシンは停止します。 《ミシン運転中》

ボタンを押しているあいだは返しぬいをして、指をはな すと前進ぬいにもどります。

#### • その他の模様を選択している場合:

ぬい途中に返しぬいボタンを押すと、その位置でほつれ止めの止めぬいをして、ミシンは自動的に止まります。 ミシンが停止しているときに押した場合、運転再開後、 その位置でほつれ止めの止めぬいをしてミシンは自動的 に止まります。

\* じつようぬいグループの模様 4 、ボタンホールグ

ループの模様 **1** \* を選択した場合、返しぬいボタ 22 07 08 ンは特殊な使い方になります。

(41、55~56、60、62各ページを参照)

- ③ 止めぬいボタン
- ・じつようぬいグループの模様  $\downarrow_{01}^{\downarrow} \downarrow_{01}^{\downarrow} \downarrow_{01}^{\downarrow} \downarrow_{01}^{\downarrow} \downarrow_{01}^{\downarrow}$ 、キルトグ ループの模様  $\downarrow_{01}^{\downarrow} \downarrow_{01}^{\downarrow} \downarrow_{01}^{\uparrow} \downarrow_{01}^{\uparrow}$ 、つなぎもようグループの模様  $\downarrow_{1}^{\downarrow} \downarrow_{3}^{\downarrow} \downarrow_{1}^{\downarrow} \downarrow_{3}^{\downarrow} \downarrow_{2}^{\downarrow}$ 、かざりもよう2グループの模様 <sub>01 02 03</sub> が選 れている場合:

止めぬいボタンを押すと、その位置でほつれ止めの止め ぬいをして、ミシンは自動的に止まります。

ミシンが停止しているときに押した場合、運転再開後、 その位置でほつれ止めの止めぬいをして、ミシンは自動的 に止まります。

#### • その他の模様が選択されている場合:

ぬい途中に止めぬいボタンを押すと、押したときの模様 を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいをして、ミシ ンは自動的に止まります。

ミシンが停止しているときに押した場合、運転再開後、 ボタンを押したときの模様を完成させたあと、ほつれ止 めの止めぬいをして、ミシンは自動的に止まります。

- ※ ぬう前にボタンを押しておくと、模様を1つだけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいをして、ミシンは自動的に止まります。
- ※「通常ぬいオートストップ時の糸切り」を「ON」に設 定すると、ほつれ止めの止めぬいをしたあと、自動的 に糸を切ります。(167ページ参照)



### ④ 上下停針ボタン

ミシンが停止しているときにボタンを押すと針の位置が 上にあるときは下へ、下にあるときは上へ移動させるこ とができます。

#### ⑤ 針停止位置設定ランプ

針停止位置設定ランプが点灯している場合、ミシンを停止したときの針の位置が「下位置停止」に設定されています。(ミシン購入時の設定状態)

針停止位置設定ランプが消えている場合は、ミシンを停止したときの針の位置が「上位置停止」に設定されています。

※ ミシンを停止したときの針位置の設定は、165 ページ 「針停止位置」で変更できます。

### ⑥ 糸切りボタン

ぬい終わったあとボタンを押すと、上糸と下糸を自動的 に切ります。(自動糸切り)

糸を切ったあと、針は自動的に上の位置に移動します。 (40 ページ【ぬい終わり】参照)

糸切り後は下糸を針板の上に引きあげないで、そのまま の状態でぬうことができます。

糸切り中は、糸切りランプ⑦が点滅します。

※ 通常は、ぬい終わったあと糸切りボタンを押して上糸 と下糸を切りますが、「通常ぬいオートストップ時の 糸切り」を「ON」に設定すると、糸切りランプ⑦が 点灯し、糸切りボタンを使用しないで、ぬい終わると 同時に自動的に糸を切ることもできます。 (167ページ参照)

### <u>糸切りの注意事項:</u>

- ・30番および30番より太い糸や特殊な糸を切る場合、 2本針ぬいで糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切り/糸押さえを使用してください。
   (40ページ「面板の糸切り/糸押さえの使い方」参照)
- 糸残りが少ない糸こまは使用しないでください。
   糸がらみの原因となります。
- 糸切り部の掃除をときどき行ってください。
   糸切り部に糸くずがたまると故障の原因となります。
   (175ページ「かまと送り歯、糸切り部の掃除」参照)
- 糸が切れず糸がからんでしまった場合、ロックキー でミシンをロックしてから針板を外し、からんでい る糸を取り除いてください。

(175ページ「かまと送り歯、糸切り部の掃除」参照)

糸切りボタンを3回連続で押した場合、糸切りボタンは使用できません。



### ● 画面(タッチパネル)



画面のキーは付属のタッチペンか指で押してください。 画面を鉛筆、ドライバーなどの硬いものや先のとがったもので押さないでください。故障の原因となります。

#### ① **ホームキー**

※ もとの画面の上に重ねて表示されるウインドウ画面 (画面の中に × キーがある画面)の状態のときは使 用できません。

通常ぬいモードの場合は、現在表示されている画面から じつようぬいグループの模様選択画面の1ページ目にも どるときに使います。

刺しゅうモードの場合は、現在表示されている画面から 刺しゅうモードの初期画面(「模様・文字・新規編集」選 択画面)にもどるときに使います。

### ② 通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキー

通常ぬいを行うか、刺しゅうを行うかを切りかえます。

#### ③ ファイルオープンキー

ミシン本体や USB メモリに保存してある模様データを呼 び出します。(158 ~ 161 ページ参照)

#### ④ セットキー

ミシンの設定を変更できます。 共通設定(162 ~ 165 ページ参照)、通常ぬい設定 (165 ~ 168 ページ参照)、刺しゅうぬい設定(168 ~ 173 ページ参照)、言語設定(173 ページ参照)が あります。

#### ⑤ ロックキー

押さえや針などの部品交換時、糸のセットを行うときな どに使います。すべてのボタンやキーの操作ができなく なり、ミシンも動きません。

現在設定されている状態を保持したまま安全に押さえや 針の交換、糸のセットなどを行うことができます。 ロックを解除するにはもう一度ロックキーを押します。

### ⑥ **ページキー**

現在表示されている模様選択画面や設定画面の次または 前のページ(画面)を表示させるときに使います。

右側の - ホーを押すと次のページ、左側の - キーを押すと前のページに移動します。

押し続けると連続してページがかわります。

また、中央の帯状の Ⅲ□□□□ キーを押しながら右側にスラ イドさせると次のページ、左側にスライドさせると前の ページに移動することもできます。

#### ⑦ 模様選択キー

模様を直接選んでぬうことができます。

#### ⑧ 模様グループ名称とページ

選ばれている模様グループの名称とページが表示されます。

#### ③ 設定キー

選ばれている模様に設定されているぬい条件を変更したり、模様を組み合わせたり、取り消したり、模様データを保存するときなど、模様のいろいろな設定に使います。

#### 10 模様の名称

選ばれている模様の名称が表示されます。

#### ① 模様グループ選択キー

目的の模様が属している模様グループを選びます。 (29 ページ参照)

#### 12 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬう ときにその模様の最初からぬうことができます。 (77 ページ参照)

#### 13 ぬいイメージ表示部

選ばれている模様のぬいイメージが表示されます。

#### ⑭ 適正な押さえの表示

選択した模様の代表的なぬいに適した押さえが表示され ます。

※ ぬい目的によって、使用する押さえは異なります。

#### 15 適正な押さえ圧の数値

選ばれている模様に適した押さえ圧の数値が表示されます。(21ページ参照)

#### 16 送り歯の設定状態

現在の送り歯の設定状態(送り機能あり / なし)が表示 されます。(22 ページ参照)

#### ① 糸調子の設定状態

糸調子の設定状態が表示されます。 (34 ~ 35 ページ参照)



● 押さえの外し方、付け方



- ・押さえを交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックするか電源スイッチを切ってください。けがの原因となります。
- 押さえは模様に合ったものを使用してください。
   押さえが合っていないと針が押さえにあたり、けがの原因となります。

### 【押さえの外し方】

- 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。
   ロックキー②を押してミシンをロックします。
- 2 押さえ上げ 3 をあげます。

 ③ 押さえホルダー ④ のレバー ⑤ をうしろ側から手前に 押し、押さえ ⑥ を外します。



レバー ⑤ を上から押さないでください。 故障の原因となります。

### 【押さえの付け方】

交換する押さえのピン⑦を、押さえホルダーのみぞ⑧に 合うように真下へおきます。

押さえ上げをゆっくりさげ、押さえ ⑥ を取り付けます。 ロックキー ② を押して、ロック状態を解除します。

※ 押さえは、模様に合ったものを使用してください。 押さえには押さえ記号 ⑨ が付いています。



## ●押さえホルダーの外し方、付け方

フリーキルト押さえ PD-H や刺しゅう押さえ P などを使 用する場合、押さえホルダーを外します。

## <u> 注</u>意

押さえホルダーの取り付け、取り外しを行う場合、 必ずロックキーを押してミシンをロックするか電源ス イッチを切ってください。けがの原因となります。

### 【押さえホルダーの外し方】

 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。

ロックキー ②を押してミシンをロックします。

2 押さえ上げ ③ をあげます。

③ ドライバーで押さえホルダー止めねじ④を左にまわしてゆるめ、押さえホルダー⑤を外します。

### 【押さえホルダーの付け方】

※ 押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けて ください。押さえが付いていないと正常な取り付けが できません。

電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン ① を押し て針をあげます。

ロックキー ② を押してミシンをロックし、押さえ上げ ③ をあげます。

- 押さえホルダーのみぞ⑥を、うしろ側から押さえホ ルダー止めねじ④に合わせ、押さえホルダー⑤を仮 止めします。
- 2 押さえ上げ③をゆっくりさげます。はずみ車を手前 にまわし、針をいちばん下までさげます。
- ③ 押さえホルダー止めねじ④を一度少しゆるめてから、 押さえが針板に押し付けられた状態で押さえホルダー 止めねじ④を右にまわしてドライバーでしっかりし めます。
- ④ ロックキー ② を押して、ロック状態を解除します。





● フリーキルト押さえ PD-H の交換



押さえの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロック キーを押してミシンをロックするか電源スイッチを 切ってください。けがの原因となります。

 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。

ロックキー<br />
② を押してミシンをロックし、押さえ上<br />
げをあげます。

ドライバーで押さえホルダー止めねじ③ を左にまわ してゆるめ、押さえホルダーを外します。 (16ページ参照)

- ② 針と押さえ上げがあがっている状態で、フリーキルト 押さえ PD-H のピン ④ を針止め ⑤ の上にのせます。
   押さえのみぞ ⑥ を、うしろ側から押さえホルダー止め ねじ ③ に合わせ、ドライバーでしっかりしめます。
- ※ 取り付け後、押さえが傾いていないことを確認してく ださい。針が押さえにあたり、けがの原因となります。
- ③ ロックキー ② を押して、ロック状態を解除します。
- ※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロック キーを押してミシンをロックします。 針と押さえ上げをあげ、押さえホルダー止めねじをド ライバーでゆるめ、押さえを取り外します。

### ● 刺しゅう押さえ P の交換

刺しゅう押さえ P を押さえ棒のうしろから取り付けます。 (119 ページ参照)

押さえホルダー止めねじ ① をドライバーでしっかりとし めます。



● 針板の外し方、付け方



針板の交換を行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックするか電源スイッチを切ってください。 けがの原因となります。

※ 直線ぬい用針板を取り付けると、直線ぬい用針板でぬ えない模様は選択できなくなります。

### 【針板の外し方】

- 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。
   ロックキー②を押してミシンをロックします。
- 2 押さえ上げ ③ をあげます。
- ③ 補助テーブルを横に引いて外します。
   フリーアーム中央の下にある針板開放レバー④をさ げて針板⑤を外し、右側に抜き取ります。

## 【針板の付け方】

- 押さえ上げ③を普通にあげた位置よりさらにあげた 状態で、ミシンの針板取り付け部左側に針板の2つの ガイド⑥を入れます。
- ※ ミシンの電源スイッチが入っている場合、針板が外れているあいだ、針板が外れていることを示す警告メッセージ画面が表示されます。 針板を取り付けたとき、警告メッセージ画面が消えることを確認してください。消えない場合、もう一度取り付け直してください。
- ② 針板右側にある「◎」マーク⑦ が付いている場所を 「パチン」と音がするまで指でしっかりと押しつけて、 針板を固定します。
- ※ 針板を取り付け後、押さえ確認のメッセージ画面が表示されます。押さえを確認したあと、閉じるキー⑧を押します。はずみ車を手で手前にゆっくりまわして、 針が針板にあたらないことを確認してください。
- ※ メッセージ画面が消えたら、ロックキー②を押して ロックを解除します。

## <u> 注</u>意

ミシンの運転中、針板開放レバーは絶対に押さないで ください。







針の交換を行う場合、必ずロックキーを押してミシン をロックするか電源スイッチを切ってください。 けがの原因となります。

 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。
 ロックキー②を押してミシンをロックします。

押さえ上げをさげます。

をしっかり止めます。

 
 2 針止めねじ③ を手前に1~2回まわしてゆるめ、針 を外します。

③ 交換する針の平らな面④を向こう側に向け、差し込みます。
 差し込むとき、針を停止ピン⑤にあたるところまで押しあげます。針止めねじをドライバーでまわし、針

※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。

### 【針の調べ方】

針の状態を見るには、針の平らな面を針板などの平らな ものに乗せます。針と平らな面のすきま⑥が針先まで均 等に見えるのが良い針です。

針先が曲がったり、つぶれたりしているものは使わない でください。

#### ● 布に適した糸や針を選ぶ目安

※ 針は必ず、家庭用ミシン針(HA × 1)を使用してください。

#### 【通常ぬいの場合】

布の	種類	糸	針
薄い布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90 番	9番~ 11番 または ブルー針
シーチング 普通の布 ジャージー 一般ウール地	綿糸 60 番 ポリエステル、ナイロン 50 番〜 90 番	11 番〜 14 番 または ブルー針、レッド針、パープル針	
	シャーシー 一般ウール地	綿糸 50 番	14 番 または レッド針、パープル針
厚い布	デニム ツイード コート地	綿糸 40 番~ 50 番 ポリエステル 40 番~ 50 番	14 番〜 16 番 または レッド針、パープル針
		ポリエステル 30 番 綿糸 30 番	16番

※ ブルー針〔11番〕、レッド針〔14番〕、パープル針〔14番〕は、標準付属品の針ケースに入っています。

※ 一般的に、薄い布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に糸と針を選び、 試しぬいをしてください。

※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※ ブルー針(柄の部分が青色の針)およびパープル針(柄の部分が紫色の針)は、目とび防止の効果があります。

#### 【刺しゅうの場合】

布の種類	糸	針
薄い布	- - ミシン刺しゅう糸	11番
普通の布 ニット地		または ブルー針
厚い布		14 番 または レッド針

※ 刺しゅうには、刺しゅう専用の下糸を使用してください。

※ レッド針を使用して目とびしやすい場合、パープル(紫)針を使用してください。目とび防止の効果があります。



### ● 押さえ上げ

押さえ上げで、押さえのあげさげを行います。 押さえ上げを普通にあげた位置よりさらに高くあげるこ ともでき、厚い布を入れるときなどに利用できます。

- 押さえ上げをさげた位置: ぬうときなど
- ② 普通にあげた位置:
   布のセットや取り出し、上糸かけ、押さえの交換のときなど
- ③ さらにあげた位置(固定することはできません。): 厚い布を入れるときなど



### ● 押さえ圧調節ダイヤル

模様を選ぶと、画面にその模様に適した押さえ圧の数 値 ③ が表示されます。

一般的な模様では、普通地に適した数値が表示されます。 画面に表示されている数値に合わせて押さえ圧調節ダイ ヤル①を設定します。指示マーク②に数値を合わせて ください。

特殊なぬい方や布地の厚さによっては、数値を調節して ください。

小さな数字に合わせると、押さえ圧は弱くなります。

※一般的な模様で、押さえ圧が「5」と表示されている 場合、普通地・厚物地は「4」~「7」、薄物地や伸縮 性の布地は「1」~「4」の範囲で指示マークに数値 を合わせてください。





### ● 送り歯ドロップつまみ

送り歯ドロップつまみで送り歯を常時さげた状態にし、 布送り機能をなしにすることができます。

しつけぬいやボタンつけ、フリーキルティングなどを行 うときに使用します。

送り歯をさげるには、送り歯ドロップつまみを手前の方 向に引きます。

送り歯をあげるには、送り歯ドロップつまみを 〔送り歯をあげる位置〕にもどします。

- ※送り歯をさげた場合、ぬい終わったら送り歯ドロップ つまみを〔送り歯をあげる位置〕にもどし、はずみ車 を手で手前にまわして送り歯があがることを確認して ください。
- ※送り歯の設定状態が画面に表示されます。

※ 送り歯をさげてミシンをスタートさせると画面にメッ セージ画面が表示されます。送り歯を確認したあと、 閉じるキーを押してミシンをスタートさせると、送り 歯をさげた状態でぬうことができます。

### ● ニーリフト

ニーリフトを取り付けると、押さえ上げを使わないで、 ひざで押さえのあげさげができます。 手を使わずにひざの動作で行えるので、パッチワークや、 キルトをぬうときに便利です。

### 【ニーリフトの取り付け】

ニーリフト ① の凸部 ② をニーリフト取り付け穴の凹 部 ③ に合わせ、差し込みます。

### 【ニーリフトの角度調節】

ねじ④をゆるめて、ニーリフト①を出し入れし、角度 を調節します。 ねじ④をしめ、お好みの角度でニーリフト①を固定し てください。

### 【ニーリフトの使い方】

ひざを使ってニーリフトを右側に押すと押さえがあがり、 もどすと押さえがさがります。

※ ぬっている途中、ニーリフトには触れないよう注意してください。



## ◎ぬう前の準備

## ● 下糸の準備

### ★ ボビンの取り出し

押さえ上げをあげ、角板開放ボタン①を右へずらして角 板②を外します。

ボビン ③ を取り出します。

### <u>お願い</u>

- ボビンは当社専用のプラスチックボビンを使用してください。(お買い上げの販売店へご相談ください。)
- ナイロン透明糸およびメタリック糸を、下糸に使用 しないでください。
- 金属ボビンは使用しないでください。
   かまにマグネットが使用されているため、糸調子の
   不具合や、故障の原因となります。

## ★ 糸こまのセット

糸立て棒①をおこします。糸の端②が糸こま③の下から手前に出るように糸こま③を糸立て棒①に入れます。 糸こま押さえ(大)④を糸こま③にしっかりと押しつけ、 糸こまを押さえます。

- ※ 普通の糸こまには糸こま押さえ(大)④を、小さい糸 こまには、糸こま押さえ(小)⑤を使います。
- ※ 伸縮性のある糸を使用する場合、市販の糸こまネット ⑥ の使用をおすすめします。糸外れや糸のよじれ防止効果があります。糸こまネットは、糸こまの大きさに合わせて折り曲げるか、切って使用してください。

### ★ 補助糸立て棒の使い方

付属の補助糸立て棒①は、ミシンに付いている糸立て棒に糸こまをセットした状態のまま別の糸こまで糸巻きをするときや、2本針ぬい(114ページ参照)のときなどに使います。

補助糸立て棒① を補助糸立て棒取り付け穴② に差し込みます。正しい位置に差し込むと、補助糸立て棒① は回転せず、固定されます。

糸こま ③ を補助糸立て棒 ① に取り付け、糸こま押さえ(大) ④ で固定します。

※ 糸こまの向きや固定方法は、上記「糸こまのセット」 と同じです。



### ★ 下糸巻き

- ※ 下糸巻きのときは、スピードコントロールつまみを、 最高速(いちばん右側の位置)にしてください。 (11ページ参照)
- 糸こまから糸を引き出します。糸を両手で持ち、糸案内 カバーのすきま①に押し込みます。糸が突起の下を通 り手前の糸案内カバー②の下にあることを確認します。
- ② 糸案内(A) ③ と糸案内(B) ④ の順に糸をかけ、糸 案内カバー ② のうしろに糸をまわし、必ず強めに右 に引き出します。
- ※ 糸を補助ばね ⑤ の下へ確実に通すために、糸こま側の糸を左手で持ち、引き出した糸を右手で強めに引いてください。補助ばね ⑤ の下を通していないと、糸巻き不良の原因となります。
- ③ ボビンのみぞ ⑥ と糸巻き軸のばね ⑦ を合わせて、ボビン ⑧ を糸巻き軸 ⑨ に差し込みます。
- ④ 右に引き出した糸を左手で押さえ、右手で糸の端をボ ビンに右まわり(時計まわり)に4~5回巻きます。
- ⑤ ボビンに巻いた糸を糸切りホルダー ⑩ のみぞ ⑪ に入れて引き、糸を切ります。みぞ ⑪ は 3 カ所あり、中にカッターが内蔵されています。
- ⑥ ボビンをボビン押さえ ⑫ の方に押しつけます。
   画面が「糸巻き中」の表示になります。



〔警告表示画面〕

上記警告表示が出た場合、下糸巻きはできません。 ミシンがロック状態、または針板が外れている場合な どに表示される「警告メッセージ」中に表示されます。 ロックを解除、または警告メッセージを消したあとに 下糸巻きを行ってください。

- ※ 糸を巻く前に、糸巻き軸などボビン以外の箇所に糸が 巻き付いていないことを確認してください。
- ※ 補助ばねとボビンのあいだの糸のたるみを少なくして ください。
- フ ミシンをスタートさせます。
   下糸が巻き終わると、自動的に回転が止まります。
   ボビンを左側に押してもとの位置にもどします。
- ※ 下糸巻き中に糸切りホルダーの下に糸がからまってし まった場合、ミシンを停止して糸をほどいてください。 (182ページ参照)
- ※ 安全のため、ミシンは下糸巻きが始まってから約1分 30秒後に自動的に止まります。
- ※ ボビン(糸巻き軸)は必ずミシンを停止してからもと の位置にもどしてください。
- ⑧ 糸巻き軸 ⑨ からボビン ⑧ を外し、糸を糸切り(下糸 巻き用) 13 で切ります。



★ ボビンのセット



ボビンを内がまにセットする場合、必ずロックキーを 押してミシンをロックするか電源スイッチを切ってく ださい。けがの原因となります。

- 電源スイッチを入れた状態でロックキー①を押し、ミシンをロックします。
   針がさがっている場合、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
   ボビンから出る糸の端②が反時計まわりになるようにし、図のようにボビンを内がま③に入れます。
- ※ ボビンから引き出される糸の状態の図が角板 ④ に表 示されています。
- 2 ボビンが回転しないように、右手で押さえます。
   糸の端を内がまの手前のみぞ⑤ にかけます。
   糸を左に引き、つの⑥ の下をくぐらせます。
- ※ 糸を各部に確実にかけるため、手順 ④ が終わるまで 右手でボビンを押さえておきます。
- 3 つのの下をくぐらせた糸を、矢印1の方向に引きあげ て矢印1の右側のみぞ⑦に入れます。
- ※ 糸が内がまの左側のみぞ ⑧ から出ているのを確認し てください。
- ※ 手順 2 で、内がまの手前のみぞ 5 に糸がかかっていないと、内がまの板ばね 9 のあいだに糸が入らず、1と書いてある矢印の右側のみぞ 7 にボビンから直接通ってしまいます。(左図 B 参照)
   その場合は手順 2 からかけ直し、左図 A の状態になるようにしてください。
- ※ 糸が正しくかけられていないと、ぬい不良の原因となります。
- ④ みぞ ⑩ に沿って矢印 2 の方向に糸を通し、下側のカッ ター(下糸切り用) ⑪ にかけて右に水平に引いて糸 を切ります。
- ⑤ 角板④を左側から合わせ、下へ押してミシンに取り 付けます。
- ※ 通常は下糸を引き出さずにこのままぬい始めること ができます。
- ※ ぬい始めに下糸を針板の上に引き出す必要がある場合 は、28 ページをごらんください。



## ● 上糸かけ

※ はじめに、下記の【準備】を必ず行ってください。 ぬい不良の原因となります。



糸をかける場合、必ずロックキーを押してミシンを ロックするか電源スイッチを切ってください。 けがの原因となります。

- ※ 上糸かけは、必ず押さえ上げをあげて行ってください。 押さえ上げがあがっていないと糸が正しくかけられ ず、ぬい不良の原因になります。
- ※ 糸を各部に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引いてかけてください。
- ※ 糸こまのセット方法は、23 ページ「糸こまのセット」をごらんください。
- ※ 糸こまが外れるのを防ぐため、必ず糸こま押さえを使 用してください。

糸を1から2の順にかけます。

- 糸こまから糸を引き出します。糸を両手で持ち、糸案 内カバーのすきま②に押し込みます。糸が突起の下を 通り手前の糸案内カバーの下にあることを確認します。
- 2 右手で糸こま側の糸を押さえ、左手で糸案内(A) ③
   と糸案内(B) ④ に順に糸をかけ、みぞ⑤ にそって
   手前に「パチン」と音がするまで強めに引き出します。
- ③ 糸を右のみぞ ⑤ から糸案内板 ⑥ の下へくぐらせ、左 上に引きあげ左のみぞ ⑦ に通します。
- ④ 糸こま側の糸を押さえながら、天びんの右からうしろ へまわして手前に引き、ばね ⑧ を通過させて糸穴 ⑨ に入れ、まっすぐ下へおろします。
- ※ 糸がばね ⑧ を通過し、天びんの糸穴 ⑨ まで入ってい ることを確認してください。
- 5 糸をアーム糸案内 ⑩ に右からかけます。
- ⑥ 糸を針棒糸かけ ⑪ に右からかけます。
- ⑦ 糸通しを使い、針穴に糸を通します。 (27 ページ参照)





糸通しを使用する場合、必ずロックキーを押してミシ ンをロックするか電源スイッチを切ってください。 けがの原因となります。

- ※ 針は家庭用ミシン針(HA×1)の11~16番、糸は 50~90番を使用してください。
- ※ 30 番および 30 番より太い糸は使用しないでくださ
- ※2本針の場合、糸通しは使用できません。
- 1 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタン①を 押して針をあげます。 ロックキー ② を押し、ミシンをロックして押さえ上 げをさげます。
- 2 糸こま側の糸を押さえながら、糸ガイド③の上に糸 を通し、左に引きあげます。
- ※糸が糸通しのフック④(左図の赤い部分)の下と、 みぞうを通っていることを確認します。
- ③ 引き上げた糸を、面板についている糸切り / 糸押さ え⑥に手前側から向こう側にかけて切ります。 糸が糸押さえ⑦で保持されます。
- ④ 糸通しレバー ⑧ を止まるまでさげます。
- ※ 糸通しレバー ⑧ をさげるときに、糸を指ではさまな いように注意してください。
- ⑤ 糸通しレバー ⑧ を静かにもどすと、糸の輪 ⑨ が引きあ げられます。
- ⑥ 糸の輪 ⑨ を糸通しから外し、糸の輪を向こう側に引 いて、針穴から糸の端を引き出します。
- ※ 糸の輪 9 ができず、フックに引っかかってしまう場 合は、そのまま糸をうしろに引き出してください。



## ● 下糸を針板の上に引き出す場合

自動糸切り後やボビンを内がまにセットしたあとは、下 糸を引きあげずにぬいをスタートすることができます。 ただし、ギャザーやスモッキングなどをぬう場合に、ぬ い始めの下糸を長くする必要があるときは、下記手順で 下糸を針板の上に引き出します。

 電源スイッチを入れた状態で、ロックキー①を押し、 ミシンをロックします。

針がさがっている場合、はずみ車を手で手前にまわし て針をあげ、押さえ上げをあげます。

ボビンを取り出します。

ボビンをもう一度内がまに入れ、25ページの手順 1~3と同じ方法で下糸2を矢印1の方向に引き あげてみぞに入れたら、そのまま10 cm ほど向こう 側に引き出しておき、角板3を取り付けます。

- ※ 下糸はカッター (糸切り) ④ で切らないでください。
- 2 針に上糸⑤を通し、押さえ上げをあげた状態で、上 糸⑤の端を指で押さえます。

③ ロックキー ① を押しロックを解除します。
 上下停針ボタン ⑥ を押して針をさげ、もう一度押して針をあげます。

上糸 ⑤ を軽く引くと下糸 ② の輪が引き出されます。

 ④ 上糸 ⑤ と下糸 ② を押さえの下からうしろ側に 10 cm ほど引き出して、そろえておきます。



### ◎通常ぬい

### ● 通常ぬい模様

通常ぬいモードは以下4つの模様グループに分かれています。

① じつようぬい、ボタンホールと特殊模様

- ② 飾りぬい、キルト模様
- ③ 文字ぬい
- ④用途選択

模様グループ選択キーのアイコンキーを押し、模様グルー プを選びます。

# じつようぬい、ボタンホールと特殊模様 (30~63ページ参照)

じつようぬい、ボタンホールと特殊模様のグループを選 ぶことができます。

### ② 飾りぬい、キルト模様(64 ~ 69 ページ参照)

この模様グループには、以下の9個のグループがあります。

- アップリケ
- かざりもよう 1
- ・キルト
- サテン
- つなぎもよう
- かざりもよう 2
- ロングステッチ
- ワンポイント
- ・プレイ

③ 文字ぬい(81 ~ 86 ページ参照)

文字や文字の組み合わせをプログラムすることができま す。

### ④ 用途選択(87 ~ 112 ページ参照)

この模様グループでは、様々なぬい用途や布の種類に適したぬい模様を選ぶことができます。



#### 〔じつようぬい模様選択画面〕(2/2ページ)



## ◎じつようぬい

### ● じつようぬいの画面

電源投入時はじつようぬいグループの模様選択画面にな ります。

じつようぬい / ボタンホールキーまたはホームキーを押 すと、じつようぬいグループの模様選択画面になります。 じつようぬいグループには、18 個の模様があり、2 つの ページ(画面)に分かれています。(ページキーで選択) じつようぬいグループの画面は、模様選択キー・設定キー・ 模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい 情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、14 ページをごらん ください。

### ★ 設定キー(通常ぬいモード)

模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変 更します。

※ 選ばれている模様によっては、使用できない設定キー があります。

#### ① 調節キー

調節キーを押すと調節画面が表示されます。

調節画面では、ぬい目の幅(直線状模様の場合は針位置)、 ぬい目のあらさ、糸調子の設定値の変更や、布ガイドの 設定を行います。(31 ~ 38 ページ参照)

#### ② 2 本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行う場合に押します。(114~115ページ参照)

#### ③ 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬう ときにその模様の最初からぬうことができます。 (77 ページ参照) 〔じつようぬい模様選択画面〕(1/2ページ)

調節キー



#### 〔調節画面〕



#### ● じつようぬいの調節画面

模様選択画面の調節キーを押すと、調節画面が表示され ます。

ぬい目の幅(直線状模様の場合は針位置)①、ぬい目の あらさ②、糸調子③を変更できます。

変更したい項目の「+」もしくは「一」キーを押します。 初期化キー④を押すとオート値(電源を入れたときに自 動的に設定されている値)にもどります。

#### ① ぬい目の幅調節キー

ぬい目の幅(直線状模様の場合は針位置)を変更するこ とができます。

#### ② ぬい目のあらさ調節キー

ぬい目のあらさを変更することができます。

#### ③ 糸調子調節キー

上糸と下糸の糸調子のバランスを変更することができま す。

#### ④初期化キー

ぬい目の幅、ぬい目のあらさ、糸調子を変更した場合、オート値(電源を入れたときに自動的に設定されている値) にもどすことができます。

#### ⑤ 布ガイド設定キー

布ガイドを利用するときに設定します。 布ガイドを利用すると布端からお好みの位置に正確にぬ うことができます。(37 ~ 38 ページ参照)

#### ⑥ OK キー

布ガイド設定キーを除く上記 ① ~ ④ のキーで変更した 内容(画面に表示されている状態)を確定し、模様選択 画面にもどります。

#### ⑦ 閉じるキー

布ガイド設定キーを除く上記 ① ~ ④ のキーで変更した 内容(画面に表示されている状態)を確定しないで、模 様選択画面にもどります。設定は変更されません。





### 【ぬい目のあらさ調節キー】

ぬい目のあらさを変更することができます。

- 「+」キーを押すとぬい目があらくなります。
- •「一」キーを押すとぬい目が細かくなります。

OK キーを押すと変更内容が確定され、模様選択画面に もどります。

数値を変更しない場合は閉じるキーを押します。

- ※ 初期化キーを押すと、オート値(電源を入れたときに 自動的に設定されている値)にもどすことができます。
- ※ ぬい目のあらさは、布や糸によってかわります。 画面の数値は、ぬい目のあらさの目安が表示されてい ます。(単位:mm)
- ※ じつようぬい模様 ∮ の調節可能値は 0.0 ~ 2.5 です。
- ※ じつようぬい模様 for の調節可能値は 1.0 ~ 2.5 です。
- ※ じつようぬい模様 ≹ ≹ の調節可能値は 0.0 ~ 5.0 です。



### 【糸調子調節キー】

糸調子は選択した模様に合わせて、上糸と下糸がバラン スよくぬえるよう自動的に設定されています。

糸や布の種類、ぬい方などによって自動設定のままでは 糸調子のバランスがとれない場合、糸調子調節キーで調 節します。

- •「+」キーを押すと上糸の調子が強くなります。
- •「一」キーを押すと上糸の調子が弱くなります。

OK キーを押すと変更内容が確定され、模様選択画面に もどります。

数値を変更しない場合は閉じるキーを押します。

- ※初期化キーを押すと、オート値(電源を入れたときに 自動的に設定されている値)にもどすことができます。
- ※ 糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたな くなったり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。
- ※ 糸調子が自動設定の場合は「オート」、糸調子調節キー で調節されている場合は「マニュアル」と模様選択画 面に表示されます。
- ※ 模様ごとに自動セットされる糸調子(オート値)をす べての模様に対して全体的に強くしたり、弱くしたり できます。(165ページ「糸調子」参照)

### バランスのとれた糸調子

直線ぬいの場合、上糸と下糸が布のほぼ中央で交わりま す。

ジグザグぬいの場合、布の裏側に上糸が少し出るくらい になります。


### 上糸が強すぎる場合の調節

上糸が強すぎると下糸が布の表に引き出されます。
糸調子調節キーの「−」を押して数値を小さくします。
※ OK キーを押すと変更内容が確定され、模様選択画面にもどります。

### 上糸が弱すぎる場合の調節

上糸が弱すぎると上糸が布の裏に引き出されます。 上糸が布の表でたるんだり、輪になったりする場合もあ ります。

糸調子調節キーの「+」を押して数値を大きくします。

※ OK キーを押すと変更内容が確定され、模様選択画面 にもどります。

### 布地の裏がタオル地のようになる場合

図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル 地のようになるのは、上糸の調子が弱いか、上糸のか け方がまちがっています。 上記で上糸を調節するか、上糸を正しくかけ直してく ださい。(26ページ「上糸かけ」参照)



### ● じつようぬいの調整値の保存(お好みステッチ 調整)

調節した、ぬい目の幅(針位置)、ぬい目のあらさ、糸調 子など、選択した模様による設定内容をお好みのステッ チ調整値(FS)として保存することができます。 「ステッチの調整値を保存」を「ON」①(167ページ参 照)に設定すると、ぬい目の幅(針位置)、ぬい目のあら さ、糸調子などのオート値(電源を入れたとき、ミシン に自動的に設定されている値)をお好みの値に変更して 保存することができます。

オート値をお好みの値に変更して保存しておくと、その 模様を選ぶだけで、保存した値でぬうことができます。 ※ お好みステッチ調整は、文字ぬいモード時は使用でき ません。

### 変更した調整値の保存・削除方法 【保存する】

- 例:模様 ↔ の針位置の値を「4.5」から「7.0」、ぬい目 の のあらさを「2.40」から「3.00」に変更
- 1 セットキーで「ステッチの調整値を保存」① を「ON」 に設定します。(167 ページ参照)
- ※ 初期の(購入時の設定)状態は「OFF」に設定されて います。
- ② じつようぬい模様 か を選び、調節キー ② を押します。
   お好みステッチ調整キー (FS) ⑤ が調節画面に表示されます。
   ぬい目の幅調節キー ③ とぬい目のあらさ調節キー ④ で値を変更します。
   お好みステッチ調整キー (FS) ⑤ を押します。
- ③ もとの画面の上に重ねて保存・削除画面が表示されます。
   保存キー⑥を押し、お好みのステッチ調整値を保存します。
- ④ お好みステッチ調整で保存した調整値は、黄色 ⑧ で 表示され、初期の状態から変更されていることを示し ます。

### 【削除する】

保存した調整値を削除するにはお好みステッチ調整 キー(FS)⑤を押し、保存・削除画面で削除キー⑦を押 します。

調節画面の数値を囲む黄色枠が消え、オート値(電源を 入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値)が初 期の状態(購入時の設定状態)にもどります。

※ 調整値をオート値にもどす場合、初期化キー ⑨ を押 します。

### 【変更した調整値の一括削除】

変更した全模様の調整値を一括して初期の状態(購入時の設定状態)にもどす方法は、167ページ「ステッチの調整値を保存」をごらんください。









● 直線ぬい

### ★ 直線ぬい(中針位置)でぬう場合

模様:

押さえ: 押さえ圧調節ダイヤル:



### 【ぬい始め】

- 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布 を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前 にまわして最初のぬい位置に針をさします。
- 2 押さえ上げをさげてミシンをスタートさせ、ぬいます。
- ※ 下糸(ボビン)をセットした直後および糸切りボタン ①を使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸を針 板の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こ う側に引いて、押さえで押さえてください。
- ※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタン ② を押し ます。

### ぬい始めの糸の引き出し方

サテン押さえ F やボタンホール押さえ R などのよう に、押さえの向こう側(うしろ側)の底があがってい て、糸を押さえる部分がない押さえの場合、ぬい始め の上糸 ③ は横方向に引き出して押さえてください。 (イラストはサテン押さえ F)

### 【厚手の布端のぬい始め】

基本押さえ A の黒ボタン ① を押した状態で押さえをさ げると押さえが水平に固定されます。段差のある布をぬ うときや、布の折り返しをぬうときに便利です。

- 最初のぬい位置に針をさし、押さえを水平にして基本 押さえ A の黒ボタン①を押し込みます。
- ② 黒ボタン①を押したまま、押さえをさげます。
   押さえが水平に固定され、段差をスムーズにぬい始めることができます。
   黒ボタン①から手をはなし、ぬい始めます。
- ※ ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえはもとの自由 に動く状態になります。





### 【ぬい方向の変更】

- 1 布の方向をかえる位置でミシンを停止します。
- ② 布に針がささっていない場合、上下停針ボタン①を 押して針を布にさし、押さえ上げをあげます。
- ※ 通常はミシンを停止すると、針が布にささった状態 になっています。上の位置で停止にも設定できます。 (165ページ「針停止位置」参照)
- 3 針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さえをさげて ぬい始めます。
- ※ ぬい位置がずれずに、きれいにぬうことができます。

### 【ぬい終わり】

- ぬい終わりの位置で返しぬいボタン①を押して数針 返しぬいをして、ミシンを停止します。
- 2 糸切りボタン2を押して糸を切ります。
- ※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボタ ン②を押すと針は上の位置に移動します。
- ③ 布を向こう側に引き出します。
- ※ ぬい始めとぬい終わりのほつれ止めを自動的に行う自動返しぬい模様 な、自動止めぬい模様 でぬっている場合、ぬい終わりの位置にきたら、返しぬいボタン①を一度押すと、ミシンは返しぬいまたは止めぬいをして自動で止まります。(41ページ参照)

### 面板の糸切り / 糸押さえの使い方

- 30番および 30番より太い糸や特殊な糸を切る場合
   や、2本針ぬいで糸を切るときは、ミシンの面板に
   付いている糸切り/糸押さえ③を使用してください。
- 針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出して から手前に返すようにして糸を切ります。



### ● 直線ぬいの種類

★ じつようぬい模様 1: 直線ぬい(中針位置) ぬい合わせや三つ巻きぬいに使用します。

### ★ じつようぬい模様 2:自動返しぬい

ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止め(返し ぬい)を自動的に行うときに使います。

### • ぬい始め

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針返しぬいを行います。

### • ぬい終わり(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタン①を一度押します。 その位置から自動的に数針返しぬいをしてミシンが停止 します。

### • ぬい終わり(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタン①を一度押します。 ミシンを停止してから返しぬいボタン①を押した場合、 再度フットコントローラーを踏むと、その位置から自動 的に数針返しぬいをしてミシンが停止します。 運転したまま返しぬいボタン①を押した場合、その位置 から自動的に数針返しぬいをしてミシンが停止します。

### ★ じつようぬい模様3:自動止めぬい

ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め(止めぬ い)を自動的に行うときに使います。

### • ぬい始め

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針止 めぬいを行います。

•ぬい終わり(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタン①を一度押します。 その位置で自動的に数針止めぬいをしてミシンが停止し ます。

### • ぬい終わり(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタン①を一度押します。 ミシンを停止してから返しぬいボタン①を押した場合、 再度フットコントローラーを踏むと、その位置で自動的 に数針止めぬいをしてミシンが停止します。 運転したまま返しぬいボタン①を押した場合、その位置 で自動的に数針止めぬいをしてミシンが停止します。



### ★ じつようぬい模様 4: 直線ぬい(左針位置)

端ぬいや、薄物ぬいに使います。

### ★ じつようぬい模様 5:三重ぬい

伸縮性と強さの両方を合わせもつ丈夫なぬい目です。 厚い布や袋物、ズボンなどしっかりとぬい合わせたい場 所に使います。

### ★ じつようぬい模様 6、7:伸縮ぬい

布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目で、ニット地のぬい合わせなどに使います。 布のぬい縮みやひきつれを防ぐことができます。 ぬいしろをきれいに割りたい場合にも使用できます。

- ※ じつようぬい模様 っ ない た な か し た で の に 使 用 します。 通常は、 じつよう ぬい 模様 ん し た で 、 で の の
- ※ じつようぬい模様 ℓ は厚い布の場合に使用します。
- ※ じつようぬい模様 <sup>66</sup> 07 幅調節キーでの調節は、他の直線状模様と異なり、ぬい位置(針位置)ではなく、ぬい目の幅の調節になります。
- ※ ぬい目のイラストの右に書かれている「M」、「L」は、 ぬい目の幅を変更したときの基準位置です。 (32 ページ参照)







### ★ じつようぬい模様 8:しつけぬい

しつけぬいの模様は、ミシンをスタートさせても布は送 られずに、1針ぬって停止します。(フットコントローラー の場合も、踏み続けていても1針ぬって停止します。) ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても 針は上の位置で停止します。

お好みの間かくを、1 針ずつ手で布を移動させてぬうこ とができます。

- ※ フリーキルト押さえ PD-H の付け方は 17 ページ「フ リーキルト押さえ PD-H の交換」をごらんください。
- ※ ぬい方は 99 ページ「しつけ」の「マニュアル」の 項目をごらんください。

● 針板ガイド

針板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドが 表示されています。布端をガイドラインに合わせると、 布端から正確な位置をぬうことができます。 ガイドラインは角板およびミシンのフリーアームにも表 示されています。

針板手前にはそれぞれ 0.65 cm(1/4 インチ)、0.95 cm (3/8 インチ)、1.6 cm(5/8 インチ)のところにガイド ライン ① があります。

ガイドラインの数字は、ぬい位置(針穴の中央②)から ガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」 で表示しています。

コーナーリングガイド 1.6 cm(5/8 インチ)③ は布を直 角に回転させるのに便利です。 (下記「コーナーリングガイド」参照)

角度目盛り ④ はパッチワークをするときに便利です。 (68、107ページ参照)

### ● コーナーリングガイド

布端から 1.6 cm(5/8 インチ)のところで直角にぬい方向をかえるときに利用します。 ぬい方向をかえたあと布端から 1.6 cm(5/8 インチ)の 位置をぬうことができます。

- 布端がコーナーリングガイドのところにきたらミシン を停止します。
- ② 針を布にさした状態で押さえ上げをあげ、布を直角に 回転させます。
   布端が針板右側のガイドライン 1.6 cm(5/8 インチ)の位置に合います。
- ③ 押さえ上げをさげ、ミシンをスタートさせます。







### ● ふちかがりぬい

★ じつようぬい模様 11:トリコットぬい

合成素材や、布のぬい縮みやひきつれがおきやすい伸縮 性のある布の裁ち端の仕上げに使用します。

ぬいしろをすこし余分にとってぬいます。

ぬい終わったあとは、余分なところをぬい目の近くで切 り落とします。

### ★ じつようぬい模様 12:かがりぬい 1

ブロード、シーチングなどの伸びない普通地や平織り 2枚に適しています。

地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使 用します。

ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。

### ★ じつようぬい模様 13:ニットステッチ

ジャージー、ニット、トリコットなど伸びる布地の端を かがるのに使用します。

ふちかがり押さえ M を使用する場合、布端を押さえのガ イドにあててぬいます。

基本押さえ A を使用する場合、ぬいしろを少し多めに とってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落としま す。



### ★ じつようぬい模様 14:かがりぬい 2

リネンなどの普通の布や、布端がほつれやすい布のたち 目のほつれ止めに使用します。 オーバーロックのぬい目に似ています。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。





〔ボタンホールの模様選択画面〕



### ◎ボタンホール・特殊模様

### ● ボタンホール・特殊模様の画面

じつようぬい / ボタンホールキーまたはホームキーを押すと じつようぬいグループの模様選択画面になり、じつようぬ いの初期画面からページキー(右側)を2回押すと、ボタ ンホールグループの模様選択画面になります。

ボタンホールグループは、6種類のボタンホールと3種類の特殊模様の計9個の模様があります。

ボタンホールグループの画面は、模様選択キー・調節キー・ 模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情 報や設定状態が表示されています。

- ※ ぬい情報や設定状態の表示については、14 ページ をごらんください。
- ※ 調節キーを押すと、調節画面になります。調節画面の 基本的な使い方については、31 ~ 35 ページをご らんください。
- ※ 特殊模様の使い方については、このあとのそれぞれの 模様の説明をごらんください。
- ※ ボタンホールおよび特殊模様は、模様が完成するとほ つれ止めの止めぬいをしてミシンが自動的に止まりま す。
- ※ 模様頭出しキーの使い方は、77 ページをごらんく ださい。



● ボタンホールの種類と用途 ボタンホール1:スクエアボタンホール 普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホール です。

ボタンホール2:メモリーボタンホール (スクエアボタンホール) 自分でボタンホールの長さを決めてぬうボタンホールです。 2.5 cm 以上の長いボタンホールをぬうことができます。

ボタンホール3:片ラウンドボタンホール 薄い布から普通の布に使います。 ブラウス、子供服でよく使われます。

ボタンホール4:両ラウンドボタンホール 薄い布に使います。 薄手のブラウスでよく使われます。

ボタンホール 5:キーホールボタンホール 普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホール です。大きくて厚めのボタンに使います。

ボタンホール 6: ニットボタンホール 伸縮性のある布に使います。 飾りボタンホールとしても使われます。

- ※ 模様 0.0 ~ 0.0 のぬいかたはスクエアボタンホールと同様です。
- ※ 模様 👖 (メモリーボタンホール) を除くボタンホール

は、ボタンホール押さえ R にボタンをセットするだ けで自動的に最適な長さのボタンホールをぬうことが できます。ボタンホールの長さは、使用するボタンを ボタンホール押さえのボタン受け台にはさみ込むと自 動的に決まります。

- ※ ボタンの直径が 1.0 cm ~ 2.5 cm までのボタンホール ができます。
- ※ボタンホールは、模様が完成するとほつれ止めの止め ぬいをしてミシンが自動的に止まります。ミシン停止 時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の 位置で停止します。

### <u>ボタンホールの注意事項</u>

- 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼っ てください。
- 使用する布の切れ端などで試しぬいをして、正しく ぬえることを確認してください。
- ボタンホールをぬう場所に、必ずマーク(しるし) を付けてください。



● ボタンホール模様1:スクエアボタンホール

ボタンホールの長さは、ボタンホール押さえ R のボタン 受け台へ使用するボタンをはさみ込むと自動的に決まり ます。

ボタンの直径が 1.0 cm  $\sim$  2.5 cm までのボタンホールを ぬうことができます。

ボタンホール模様を選択すると、ボタンホール切りかえ レバーをおろすよう、画面(タッチパネル)にメッセー ジが表示されます。

- ※ 厚い布、特定の布や糸を使用してボタンホールをぬう ときなど、ボタンホールのサイズを変更する必要があ る場合があります。使用する布の切れ端などで試しぬ いをして、ボタンに合ったボタンホールになっている かを確認してください。
- ※ 自動的に設定されるボタンホールの幅は一般的なボタ ン用です。
- ※ 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼って ください。

### 【ボタンホールのぬい方】

- ボタンホール押さえ R のボタン受け台 ① を [A] の方 向へ引き、ボタンをのせます。
   ボタン受け台 ① を [B] の方向にもどしてボタンをき つくはさみ込みます。
- 2 押さえのピン②を押さえホルダーのみぞ③に入れて、 ボタンホール押さえ R を取り付けます。 (15 ページ参照)

ボタンホール押さえ R を取り付けるとき、押さえ上 げを高い位置まであげると付けやすくなります。

# ボタンホール長さの微調節方法 ボタンホールの長さの微調節ができます。 ・ボタンホールの長さを長くするには、調節ねじ④ を[C]の方向にまわして指示線⑤をL側にします。 ・ボタンホールの長さを短くするには、調節ねじ④ を[D]の方向にまわして指示線⑤をS側にします。 ・ぬい終わったら、ねじはもとの位置⑤(指示線を目)

• ぬい終わったら、ねじはもとの位置 ⑤(指示線を目 盛りの中央の位置)にもどしてください。



③ 押さえをあげて上糸⑥を押さえの穴⑦から下へ通し、 横に引き出します。

上糸 ⑥ を横に引き出した状態で布を入れ、布に付け たマーク ⑧ のぬい始めの位置 ⑨ に針をさし、押さえ をさげます。

- ※ 押さえをさげるとき、押さえ前部のストッパーを向こう側に軽く押しつけた状態でさげ、ストッパーと押さえスライダーにすきまがあかないように注意してください。(下記〔ぬい始める前の確認〕参照)
- ④ ボタンホール切りかえレバー(BH レバー) 10 を止ま るまでいっぱいに引きさげます。

<u>ぬい始める前の確認</u>

押さえスライダー ① とストッパー ② のあいだにすきま がないこと ③ を確認してください。すきまがあるとぬ い始めの位置 ⑭ と、ぬい終りの位置がずれる ⑮ こと があります。

⑤ 上糸⑦を左に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。ぬい始めから数針ぬったあと、糸から手をはなしてぬいます。

ボタンホールをぬい終わったところでほつれ止めの止 めぬいをしてミシンは自動的に止まります。

### ボタンホール切りかえレバーをさげないでぬった場合

ボタンホール切りかえレバーをさげずにミシンをス タートさせると、何針かぬったのちミシンは停止し、 画面にボタンホール切りかえレバーをさげるように メッセージが表示されます。 ボタンホール切りかえレバーを引きさげて、ミシンを 再スタートさせてください。



⑥ ボタンホールは下記の順番でぬいます。

- [1] 下ぬい<sup>1</sup><sup>6</sup>のあと、左側のラインタック<sup>1</sup><sup>7</sup>をぬいます。
- [2] 下ぬい <sup>18</sup> のあと、かんぬき <sup>19</sup> と右側のライン タック <sup>20</sup> をぬいます。
- [3] かんぬき 创 と止めぬいをしてミシンは自動的に 止まります。

ぬい終わるとメッセージが表示されます。

- ※ ボタンホールの重ねぬいをする場合、そのままミシン をスタートさせてぬいます。 重ねぬいをしない場合、押さえ上げをあげます。 (下記【ボタンホールの重ねぬい】参照)
- ⑦ ぬい終わったら、ボタンホール切りかえレバー⑥を 止まるまでいっぱいに押しあげてもどします。

⑧ かんぬき ⑲ の内側にまち針 ⑳ をわたし、シームリッパー ㉓ で左右のラインタック ⑰、⑳ の糸を切らないよう、ボタン穴をあけます。

### 【ボタンホールの重ねぬい】

ボタンホールを重ねぬいすると、より頑丈なボタンホー ルができます。

ボタンホールをぬい終わったあと、「押さえを上げてくだ さい。」とメッセージが表示されますが、押さえやボタン ホール切りかえレバーをあげずに、再度ミシンをスター トさせます。

ボタンホールの重ねぬいができます。

※ ボタンホールの重ねぬいで送りがつまるときには、ぬい目のあらさを大きくしてぬってください。



### ★ ボタンホールの調節画面

模様選択画面の調節キーを押すと、調節画面が表示され ます。

#### ① ボタン穴の幅調節キー

ボタン穴の幅(ボタンホールの穴の幅)を変更すること ができます。

#### ② ぬい目の幅調節キー

ボタンホール全体の幅を変更することができます。

#### ③ ぬい目のあらさ調節キー

ぬい目のあらさを変更することができます。

#### ④ 糸調子調節キー

上糸と下糸の糸調子のバランスを変更することができます。

※ 調節画面の基本的な使い方は、31~35ページを ごらんください。

#### ① ボタン穴の幅を変更する

- 「+|を押すとボタン穴の幅が広くなります。
- 「-- を押すとボタン穴の幅がせまく(細く)なります。
- ※ ボタンホールの穴の幅は 0.2~2.0 まで変更可能です。

### ② ぬい目の幅 (ボタンホールの幅)を変更する

「+|を押すとボタンホール全体の幅が広くなります。 「-- を押すとボタンホール全体の幅がせまくなります。 ※ ボタンホールの幅は 2.6 ~ 7.0 まで変更可能です。

### ③ ぬい目のあらさを変更する

「+」を押すとボタンホールのぬい目があらくなります。

- 「-- を押すとボタンホールのぬい目が細かくなります。
- ※ ボタンホールのぬい目のあらさは 0.30 ~ 1.00 まで 変更可能です。





### ● ボタンホール模様 2:メモリーボタンホール (スクエアボタンホール)

メモリーボタンホールは、ボタンホールの長さを自分で 決めてぬうボタンホールです。

- ※ ボタンホール切りかえレバーは、さげないでぬいます。
- ※ 2.5 cm 以上の長いボタンホールをぬう場合や、厚い 布の段差近くをぬう場合など、ボタンホール押さえ R を使用できないときはサテン押さえ F を使用してくだ さい。
- ※ ボタンホールは以下のはんいで調節できます。 (54 ページ参照)
- ボタンホール穴の幅:0.2 ~ 2.0 まで
- ボタンホールの幅: 2.6~7.0まで
- ボタンホールのぬい目のあらさ: 0.30 ~ 1.00 まで

【ぬい方(ボタンホール押さえ R の例)】

- ボタン受け台(ボタンホルダー)①を向こう側にいっ ぱいに引き出します。
   ミシンにボタンホール押さえ R を取り付けます。
   上糸を押さえの穴に通し、横に引き出した状態で布を 入れ、布に付けたマークのぬい始めの位置②に針をさ し、押さえをさげます。
- ※ ぬい始める前の上糸と布のセット方法はスクエアボタンホールと同じです。「ボタンホール1:スクエアボタンホール」の手順①~③(51~52ページ)をごらんください。(ボタンホール切りかえレバーはさげないでください。)
- ② 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。

左側のラインタック ③ を必要な長さ ④ までぬったら ミシンを停止し、返しぬいボタン ⑤ を押します。



③ ミシンをスタートさせると、下ぬい⑥を行います。
 ぬい始めの位置②にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタン⑤を押します。

 ④ ミシンを再度スタートさせると、かんぬき⑦ と右側 のラインタック ⑧ がぬわれます。
 必要な長さの位置④ にもどったらミシンを止め、返

しぬいボタン⑤を押します。

- ⑤ ミシンを再度スタートさせると、かんぬき ⑨ をぬい、 止めぬいをしてミシンは自動的に止まります。
   ボタンホールぬいが終わると、画面にメッセージが表示されます。
   ミシンは、手順 ② ~ ⑤ でぬったボタンホールのサイズを記憶しています。
  - 別の場所に同じサイズのボタンホールをぬう場合、
     この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンを再
     スタートさせます。
     画面上のメッセージが消え、同じサイズのボタンホー
     ルが自動的にぬわれます。
  - 同じ長さのボタンホールをぬう必要がない場合、閉じるキー ⑩を押してメッセージ画面を消すと、記憶しているボタンホールサイズは取り消されます。
- ※ ボタンホールの穴の開け方は 53 ページをごらんく ださい。





### ● 芯入りボタンホール

ぬい方はスクエアボタンホール↓と同じです。

(51~54ページ参照)

- ※ ボタンホールの穴の幅は 0.8 以上に設定しないでくだ さい。
- ※ 使用する芯糸の太さに合わせてぬい目の幅(ボタン ホールの全体の幅)およびボタン穴の幅(ボタンホー ルの穴の幅)を調節してください。(54ページ参照)
- ※ ボタン穴の開け方は 53 ページをごらんください。

## 模様

 ボタンホール押さえのボタン受け台にボタンをはさみ 込みます。

芯糸①の一方の端をボタンホール押さえ後部の左側の切り込み②に入れ、横に引いて金属の板③のあい だにはさみ込んで固定します。

芯糸は、押さえの下から前に引き、輪にして押さえ前 部のつの④にかけます。

- ② つの④にかけた芯糸を、押さえの下を通して押さえ 後部の右側の切り込み②に入れ、横に引いて金属の 板③のあいだにはさみ込んで固定します。
- ※ 芯糸 ① は、たるみのないように強く張ってください。
- ③ スクエアボタンホール ↓ と同じようにぬいます。 (51~54ページ参照)

 ④ ぬい終わったら芯糸を引いてたるみをなくし、余分な 芯糸を切ります。

### 芯糸が引けない場合

左右どちらの芯糸も引けない場合、芯糸の両側を切り ます。



● ボタンホール安定板の使い方

厚い布の段差や安定して布送りできない布などをぬう場合、ボタンホール安定板を使用すると、布をスムーズに 送ることができます。

 ボタンをはさみ込んだボタンホール押さえ R①の取り付け穴②に、ボタンホール安定板④のガイド③ 部分を差し込みます。

 

 「タンホール安定板④を組み付けたボタンホール押 さえ R①を、ミシンに取り付けます。
 押さえをあげ、上糸⑥を押さえの穴⑤から下へ通し、
 ボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだか ら横に引き出します。

 ③ 上糸 ⑥ を横に引き出した状態でボタンホール押さえ とボタンホール安定板のあいだに布を入れます。
 はずみ車をまわし、ぬい始めの位置に針をさします。
 ※ ぬいの手順はボタンホール 1:スクエアボタンホール と同じです。(51~54ページ参照)

### <u>布がボタンホール切りかえレバーに触れて、うまくぬ</u> <u>えない場合</u>

弾力性のある厚い布(フリースなど)をぬう場合、布 を送るときに浮きあがった布がボタンホール切りかえ レバー⑦ に触れて誤操作を起こし、正しい形にぬえ ないことがあります。 このような場合、布を送るときに布が浮きあがらない ようにまち針 ⑧ で固定し、ボタンホール安定板 ④ を 使用してぬってください。



```
● つくろいぬい(ダーニング)
```

- ※ 模様 ↓ は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬい す をしてミシンが自動的に止まります。 ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていて も針は上の位置で停止します。
- ボタンホール押さえ R を取り付け、ボタン受け台① をいっぱいに引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴 ② から下へ通し、横に引き出します。
- 3 ぬい始めの位置 3 に針をさし、押さえ上げをさげま す。
- ④ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。
- ※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約2cmの長さを ぬうことができます。(幅は約0.9cm) 2cmより短い長さでぬう場合は、下記「2cmより短 い長さでぬう場合」をごらんください。
- ⑤ 布の向きをかえてぬいを繰り返します。

### 【2 cm より短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さ ① までぬい、返しぬいボタン ② を押 します。

押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停 止するまでぬいます。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシン はぬった長さ(サイズ)を記憶しています。

※ 別の場所に同じ長さのものをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。

返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動 的にぬってミシンは停止します。

※ 同じ長さのものをぬう必要がない場合、閉じるキー③ を押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さ は取り消されます。



### 【形の整え方】

つくろいぬい(ダーニング)のぬい始め(左側)とぬい 終わり(右側)の高さがそろわない場合、調節キーを押 して調節画面を表示させ、高さ調節キー②(「-」、「+」) で調節値 ③ を変更します。

「1.0」~「9.0」の範囲で調節できます。(「5.0」はオート値)

- 左側が右側より低い場合、「-」キーを押します。 (「1.0」~「4.0」)
- 右側が左側より低い場合、「+」キーを押します。 (「6.0」~「9.0」)



### ▶ かんぬき止め

ポケットロなど、ぬい目に力がかかってほつれやすい部 分などを補強します。

- ※ 模様 な、模様が完成するとほつれ止めの止めぬい をしてミシンが自動的に止まります。 ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていて も針は上の位置で停止します。
- ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。
- 2 ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげます。
- ③ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。
- ※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 1.5 cm の長さのかんぬき止めをぬうことができます。
   1.5 cm より短い長さでぬう場合、下記「1.5 cm より短い長さでぬう場合」をごらんください。
- ※ ぬい目の幅やあらさは、調節画面のぬい目の幅調節 キーとぬい目のあらさ調節キーで変更することができ ます。ぬい目のあらさを変更すると、自動でぬえる最 大の長さ「1.5 cm」もかわります。
- 【1.5 cm より短い長さでぬう場合】 最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタン①を押しま す。 押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停 止するまでぬいます。 ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。 ミシンはぬった長さ(サイズ)を記憶しています。
- ※ 別の場所に同じ長さのものをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。

返しぬいボタン①を押さなくても同じ長さのものを 自動的にぬってミシンは停止します。

- ※同じ長さのものをぬう必要がない場合、閉じるキー② を押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さ は取り消されます。
- ※ かんぬき止めの長さが 0.7 cm、1 cm、1.2 cm の固 定値の場合は、用途選択の模様から選ぶと、返しぬい ボタンを押さなくても自動的にぬうことができます。 103 ページの「かんぬき止め」をごらんください。



### ● アイレット

アイレットはベルトの穴などに使用します。

※ 模様 ● は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬい 09 をしてミシンが自動的に止まります。 こいい気は 味の気 佐爾部ウボエ佐爾底はにた。 ていて

ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていて も針は上の位置で停止します。

### 【ぬい始め】

ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきま す。

ぬい始めの位置① に針をさし、押さえ上げをさげます。 ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。 ※ ぬい目の内側は、ポンチ(市販品)などで穴を開けま す。ポンチの穴の大きさは、直径 0.25 cm 以下のも のを使用してください。

### 【形の整え方】

布によってアイレットの形がくずれる場合、調節キーを押して調節画面を表示させ、形状調節キー②(「–」、「+」)で調節値③を変更します。

「S1」と「S3」で調整できます。(「S2」はオート値)

- ぬい目にすきまがある場合、「-」キーを押して「S1」 にします。
- ぬい目が重なっている場合、「+」キーを押して「S3」 にします。



### ◎飾りぬい

### ● 飾りぬいの画面一覧

飾りぬいキーを押すと、飾りぬいの模様グループを選ぶ 模様グループ選択画面が表示されます。

模様グループ選択画面は2つの画面(ページ)に分かれていて、ページキーで選択できます。

飾りぬいの模様グループには、9 個のグループ(① ~ ⑨) があります。これらの模様で、組み合わせ模様をつくるこ とができます。

### ① アップリケグループ

「アップリケ」キーを押すと、アップリケなどに使用する 模様のグループの模様選択画面になります。

アップリケグループには、12 個の模様とスペース模様お よび自動止めぬい模様があります。

- ※ アップリケのぬい方は、104 ページの「アップリケ」 をごらんください。
- ② かざりもよう 1 グループ:2 画面

「かざりもよう 1」キーを押すと、伝統的な飾り模様の模 様選択画面になります。

かざりもよう 1 グループは、23 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。



#### ③ キルトグループ:4 画面

「キルト」キーを押すと、パッチワークやキルトなどに使 用する模様の模様選択画面になります。

キルトグループは、46 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(68、108~112ページ参照)

### ④ サテングループ

「サテン」キーを押すと、サテン(ぬい目を密着させた) 模様のグループの模様選択画面になります。

サテングループは、12 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

サテングループの模様は模様の長さ調節機能(エロンゲー ション機能)を使用すると、ぬいのあらさはそのままで 模様の長さを2~5倍に変更することができます。 (69ページ参照)

### ⑤ つなぎもようグループ

「つなぎもよう」キーを押すと、模様と模様を直線ぬいで つなぐ(間かくをあける)ためのつなぎ模様グループの 模様選択画面になります。

つなぎもようグループは、7個の模様とスペース模様お よび自動止めぬい模様があります。

※ 模様のとなりにある数字は、模様と模様をつなぐ直線

ぬいの数です。模様 🙀 と 🧌 は組み合わせ模様の

とき、前に入力した模様の基線とぬい目のあらさを引き継ぎます。(74ページ参照)

### ⑥ かざりもよう 2 グループ:4 画面

「かざりもよう 2」キーを押すと、装飾的な飾り模様グルー プの模様選択画面になります。 かざりもよう 2 グループは、53 個の模様とスペース模 様および自動止めぬい模様があります。

### ⑦ ロングステッチグループ

「ロングステッチ」キーを押すと、1つの模様の長さが長い飾り模様グループの模様選択画面になります。

ロングステッチグループは、7個の模様とスペース模様 および自動止めぬい模様があります。

衣服の飾りやボーダー飾りに最適です。

### ⑧ ワンポイントグループ

「ワンポイント」キーを押すと、具象的な飾り模様グルー プの模様選択画面になります。

ワンポイントグループは、7個の模様とスペース模様お よび自動止めぬい模様があります。

### ⑨ プレイグループ

「プレイ」キーを押すと、遊び心が入った飾り模様グルー プの模様選択画面になります。

プレイグループは、6個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

### 〔キルトグループ模様選択画面〕(2/4 ページ)



#### ● 飾りぬいの模様選択画面

模様グループ選択画面で、グループを選択し、それぞれ の模様選択画面を表示させます。

飾りぬいキーを押すと、飾りぬいの模様グループを選ぶ 模様グループ選択画面が表示されます。

模様グループ選択画面は2つの画面(ページ)に分かれていて、ページキーで選択できます。

飾りぬいの模様グループの画面は、模様選択キーや調整 キーなどのキーの他に、選ばれている模様に関するいく つかのぬい情報や設定状態が表示されています。 (14 ページ参照)

### ★ 設定キー(通常ぬいモード)

模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変 更します。

※ 選ばれている模様によっては、使用できない設定キー があります。

#### ① 調節キー

調節キーを押すと調節画面が全体表示されます。調節画 面では、ぬい目の幅(直線状模様の場合は針位置)、ぬ い目のあらさ、糸調子の設定値の変更などができます。 (31 ~ 35 ページ参照)

#### ② 模様組み合わせキー

お好みの模様を組み合わせてぬう場合に押します。 模様組み合わせモードとなります。(70ページ参照)

### ③ 左右反転キー

選択した模様を左右反転させてぬうことができます。 (72 ~ 73 ページ参照)

### ④上下反転キー

選択した模様を上下反転させてぬうことができます。 上下反転できない模様のキーは選択できなくなります。 (72 ~ 73 ページ参照)

#### ⑤ 2 本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用して2本針ぬいをする場合に押します。(114~115ページ参照)

### ⑥ 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬう ときにその模様の最初からぬうことができます。

ー度押すと現在ぬいかけの模様を最初からぬい直します。 二度押すと現在ぬっている組み合わせ模様の先頭の模様 からぬい直します。(77 ページ参照)











### ● キルトグループ ★ キルティングガイドの使い方

キルティングガイド①を使用すると、前にぬったぬい 目と平行に等間かくでぬうことができます。

押さえホルダーのうしろの取り付け穴② にキルティン グガイド① を差し込みます。

針位置とキルティングガイド ① のガイド部分 ③ までの 距離がぬう間かくになります。

キルティングガイドをスライドさせて、お好みの距離に 調節してください。

既にあるぬい目にキルティングガイド① を沿わせなが ら平行な直線をぬいます。

★ キルト模様1~3

模様 ch ch ch はパッチワークの地ぬいに使用します。 01 02 03

模様 ch ch はパッチワーク押さえ O を使用すると、1/4 02 03

インチ(0.65 cm)、7 mm のぬいしろが正確にぬえます。 パッチワークに使用する布を中表②に合わせ、布端をガ イド①に合わせてぬいます。

### ★ 針板角度目盛りの使い方

針板の角度目盛りを使用すると、布に印をつけずにお好 みの角度で簡単にぬえます。

針板の角度目盛りには、45、60、90、120度の目盛り がついています。

パッチワーク押さえ O を使用する場合、図の様に点線 ① の角度目盛りに合わせてください。

※ 基本押さえ A を使用する場合、模様 🕂 を選びます。

布は実線 ② の角度目盛りに合わせ、布の端は針板の 1/4 インチガイドライン ③ に合わせます。

### ★ キルト模様 43 ~ 46:手ぬい風キルトぬい

上糸に透明なナイロン糸、下糸に普通の糸を使用します。 針は 14 ~ 16 番を使用します。

下糸が布の表に引き出され、手ぬい風のステッチになり ます。





### ◎模様組み合わせモード

飾りぬいと文字ぬいは模様を組み合わせてぬうことがで きます。模様組み合わせキーを押すと、通常モードの模 様選択画面から模様組み合わせモードの模様選択画面に かわります。

### 模様組み合わせモードに設定すると…

- 通常モードでは選んだ模様1つだけを、繰り返し連続 してぬいますが、模様組み合わせモードではお好みの 模様を組み合わせてぬうことができます。
  - 模様は最大 100 個まで組み合わせることができます。(組み合わせる模様で異なります。)
  - 組み合わせができる模様は、飾りぬいの模様グルー プと文字ぬいの模様グループです。
  - ※ 文字ぬいの模様グループは、81 ページをごらん ください。
- 編集機能を使用すると、組み合わせた模様の内容を変更できます。(75~76ページ参照)
- 組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存できます。(154 ~ 157 ページ参照)

### ● 模様組み合わせモードの画面

通常モードから模様組み合わせモードに切りかえると、 2本針ぬい切りかえキーがなくなり、削除キー④、保存 キー⑤および組み合わせた模様を確認・選択するための カーソル移動キー⑥が画面上に追加されます。

※ 模様組み合わせモードでは、2本針ぬいはできません。

### ① 模様組み合わせキー

通常モードと模様組み合わせモードを切りかえます。

### 2 左右反転キー

選んだ模様の形を左右反転させます。

### ③ 上下反転キー

選んだ模様の形を上下反転させます。

### 削除キー

カーソルの付いている模様を削除することができます。 模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の下 側にある場合、最後の模様を削除することができます。 (75ページ参照)

### ⑤ 保存キー

組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存できます。(154 ~ 157 ページ参照)

### ⑥ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更したい模様(場所)を選ぶことができます。 (76ページ参照)

### ⑦ ぬいイメージ表示部

組み合わせた模様が表示されます。 模様のすべてを一覧表示させたい場合、ぬいイメージ表 示部を押すとぬいイメージが全体表示されます。 (78 ページ参照)




## ● 反転キーの使い方

左右反転キー①または上下反転キー②で、選んだ模様の形を左右または上下反転した形でぬうことができます。 左右反転と上下反転を組み合わせることもできます。 通常モードおよび模様組み合わせモードのどちらでも使用できます。

※ 上下反転できるのは、一部の模様のみです。 ミシン天板の早見板で、薄く塗られている模様が上下 反転可能な模様です。

上下反転キーが押された状態で、上下反転できない模様を選ぶと、上下反転機能はキャンセルされ、上下反転機能はキャンセルされ、上下反転キーの選択が解除されます。

※ 通常モードで反転できない模様を選択した場合、左右 反転キー①または上下反転キー②は選択できません。

## ★ 左右・上下反転のぬい方(組み合わせモード時)

- **例**: サテン模様 を、通常の形と左右反転の形で交互 にぬう場合
- ② 左右反転キー①を押すと、左右反転マーク②が表示 されます。

## サテン模様

- ※ 反転をキャンセルする場合、左右反転キー ① をもう 一度押します。
- ※ 組み合わせた模様の全体を見るには、カーソル移動 キー ③ を押して組み合わせ模様をスクロールさせる か、ぬいイメージ表示部 ④ を押し、ぬいイメージを 全体表示させて確認(プレビュー)できます。(78 ページ参照)
- 3 ミシンをスタートさせると、基本の形の模様と左右反 転された模様を交互にくり返しぬいます。
- ※ ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、 その模様を完成させたあとほつれ止めの止めぬいをし てミシンは自動的に止まります。 止めぬいボタンの使い方は 12 ページをごらんくだ さい。



★ 左右・上下反転のぬい方(通常モード時)
 ① 模様を選びます。(例ではワンポイント模様 20)
 ② 模様を左右反転した形でぬう場合、左右反転キー①を押します。
 画面に左右反転マーク②が表示され、左右反転した形でぬうことができます。
 ぬいイメージ表示部③には左右反転されたぬいイメージが表示されます。

- ※ 左右反転キー① をもう一度押すと左右反転マークが 消え、もとの形にもどります。
- ③ 模様を上下反転した形でぬう場合、上下反転キー④ を押します。
   画面に上下反転マーク⑤が表示され、上下反転した 形でぬうことができます。
   ぬいイメージ表示部③には上下反転されたぬいイ メージが表示されます。
- ※ 上下反転キー④をもう一度押すと上下反転マークが 消え、もとの形にもどります。
- ④ 左右反転と上下反転を組み合わせた形で模様をぬう場合、左右反転キー①と上下反転キー④を押します。
   画面に左右上下反転マーク⑥が表示され、左右および上下反転した形でぬうことができます。
   ぬいイメージ表示部③には左右と上下が反転されたぬいイメージが表示されます。

#### 反転機能のご注意

- 通常モードおよび組み合わせモードで左右および上下反転キーを押すと、反転キーをもう一度押して反転を取り消すまで反転機能の設定は継続し、次の模様を選んでも反転した形になります。
- ただし、上下反転機能の場合、上下反転キーが押された状態で上下反転できない模様を選ぶと、上下反転機能の設定が取り消されます。

	● つなぎもようグループの使い方
【模様選択画面 / つなぎもようクループ】 つなぎもょう 2 読	つなぎもようグループの模様は、模様と模様の間かくを 直線ぬいを使ってあけるときに使います。 つなぎもようグループの模様の右側の数字①(「1」、「2」、 「3」)は、つなぎ模様を1つ組み合わせたときの模様(直 線ぬい)のぬい目の数を示します。
	<ul> <li>※ 模様 は は は は は ( 計 は は 、 針位置やぬい目のあらさのオー of 02 03 04 06     </li> <li>ト値(電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定され ている値) が設定されていて、オート値はぬい目の幅 調節キーとぬい目のあらさ調節キーで変更することが できます。     </li> <li>※ 模様 4 12 112 は、 針位置やぬい目のあらさのオート値が     </li> </ul>
<ul> <li>↓</li> <li>↓<td>設定されていません。針位置やぬい目のあらさはつな ぎ模様の1つ前の模様と同じ値になり、ぬい目の幅調 節キーとぬい目のあらさ調節キーで変更することはで きません。針位置は、前の模様のぬい終わりの針位置 になります。</td></li></ul>	設定されていません。針位置やぬい目のあらさはつな ぎ模様の1つ前の模様と同じ値になり、ぬい目の幅調 節キーとぬい目のあらさ調節キーで変更することはで きません。針位置は、前の模様のぬい終わりの針位置 になります。
$ \begin{array}{c} \bullet \\ \blacksquare \\ \blacksquare \\ \blacksquare \\ \bullet \\ \bullet \\ \bullet \\ \bullet \\ \bullet \\ \bullet \\$	の模様 🗘 のあいだに、つなぎもようグループの 模様 🔓 を組み合わせて、間かくをあける場合
・     ・<	<ol> <li>              ば、             ば、</li></ol>
(A) (A)	③ ミシンをスタートさせると、模様 \$ の間かくがあい た状態でくり返しぬいます。
	※ 模様と模様のあいだに、中針位置の直線のぬい目が 2つ入ります。
	<u>ぬい目のあらさが細かい模様につなぎ模様を使う場合</u>
い目のあらさが 0.4 mm と細かいため、ほとん ど間かくがあかない。 (B)	<ul> <li>・例えば、サブングルークの模様 ● のように、 ゆむ 百 06</li> <li>の細かい模様の次につなぎもよう <sup>2</sup> <sup>1</sup>/<sub>05</sub> <sup>2</sup> を使用する</li> </ul>
模様 のぬい 06 つなぎもよう 3 ※ 直線のぬい目が1つしか入っていないが、	<ul> <li>と、つなぎ模様のぬい目のあらさは1つ前の模様の ぬい目のあらさと同じになるため、つなぎ模様のぬ い目も細かくなって、模様の間かくがほとんどあき ません。(図 A)</li> <li>ぬい目のあらさが細かい模様のあとにつなぎもよう</li> </ul>
模様 ↓ のぬい目のあらさが 2.5 mm あるため、	で間かくをあけたい場合、つなぎもよう 中 中 01 02 03



## ● 模様の編集機能

模様組み合わせモード設定中、編集機能を使用すると、 模様を組み合わせたあとでも、ぬったあとでも、組み合 わせた模様の一部を削除したり、別の模様を追加したり、 模様の形を反転させたり、模様のぬい目の幅やあらさな どの設定値を変更したりすることができます。

## 【模様の削除】

例:模様組み合わせモードの状態で、かざりもよう2

グループの模様 😵 😣 を組み合わせた直後 12 13 14

カーソルの付いている模様(赤色の模様)は削除キーを 押して削除することができます。

カーソルが、組み合わせた模様の最後の模様の下側にあ る場合は、最後の模様を削除することができます。

- 1 途中の模様を削除したい場合、カーソル移動キー
  - を2回押し、画面のぬいイメージの模様
     カーソルを合わせます。
     選択された模様が赤色にかわります。
- ※ カーソルを模様の先頭側に移動する場合は
   キー、模様のうしろ側(下側)に移動する場合は
   ▼ キーを押します。

2 削除キーを押して削除します。

カーソルの付いている模様

は次の模様 %に移動します。







## ● 模様頭出しキーの使い方

模様頭出しキーを使用すると、模様をぬっている途中で ミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初か らぬうことができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用 できます。

模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初 または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうこと ができます。

例: 模様組み合わせモードでかざりもよう2の



#### 【ぬいかけた模様を最初からぬう場合】

- 組み合わせ模様のうち、ミシンが現在ぬっている途中 の模様をぬい直したい場合、模様頭出しキーを押しま す。
- ※ 組み合わせ模様の最初の模様でミシンを止めて模様頭 出しキーを押すと、模様の一番最初からのぬい直しと なるため、三角形の上のバーの数はかわりません。
- ② 模様頭出しキーの表示が ┣ にかわります。

ミシンをスタートさせると、途中で停止した模様 (3番目の模様)の最初からぬい直します。

※ 模様頭出しキーの表示が Ⅰ (三角形の上のバーが 2本)の場合、ぬい途中の模様の最初からぬいます。

## 【組み合わせた模様の最初からぬう場合】

- ③ 上記の手順 ① で模様頭出しキーを押すと表示が にかわるので、もう1回模様頭出しキーを押します。
- ※ 模様頭出しキーを2回続けて押すと表示が ▶ にかわります。
- ④ ミシンをスタートさせると、組み合わせた模様の最初 (1番目の模様)からぬいます。
- ※ 模様頭出しキーの表示が ⅠⅠ (三角形の上のバーが 1本)の場合、組み合わせ模様の最初の模様からぬい 直します。
- ※ 自動糸切りをすると、ミシンは組み合わせ模様の最初 の模様からぬい直します。



## ● プレビュー機能

模様組み合わせモード設定中は、模様のぬいイメージ表 示部がキーになります。

模様のぬいイメージ表示部を押すと、組み合わせた模様 のぬいイメージの全体を確認(プレビュー)できます。

- ※ すべての模様が1ページ(1画面)で表示されない場合、次ページキーを押して次のページ(画面)に切りかえます。
- ※ 確認が終わったら、閉じるキーを押して模様選択画面 にもどします。



## ● 組み合わせ模様の長さの確認

模様組み合わせモード中、模様を1つだけぬったときま たは組み合わせた模様をぬったときの全長(目安)を確 認することができます。

模様をぬったときの全長は、布の種類や厚さ、ぬいの速 さ、および模様の種類などのぬい条件で異なります。

同じようなぬい条件で一度試しぬいをして表示の数値を 補正しておくと、次回確認するときに実際のぬい長さに、 より近い表示になります。

※一度補正すると、その補正値は、他の模様や他の組み 合わせ模様(文字ぬいを含む)にも適用されます。 また、ミシンの電源スイッチを切っても記憶されてい ます。 補正後に、ぬい条件が大きく異なるぬいで模様の全長

を知りたい場合、再度、同じような条件で試しぬいを して数値を補正し直してください。

## 【模様全長表示機能の使い方】

- 例: 模様組み合わせモードの状態で、かざりもよう2
  - グループの模様 🔯 🙁 🖧 😳 を組み合わせた場合
- 1 模様組み合わせモードの状態で調節キーを押し、調節 画面を表示させます。
- ※ 模様の最後に自動止めぬい模様が入っている場合、 調節キーを押す前に、ぬいイメージが表示されている 画面のカーソルを自動止めぬい模様以外の模様に移動 してください。 模様のうしろ側(下側)または自動止めぬい模様にカー ソルがある場合、調節画面が表示されません。
- 2 調節画面の組み合わせ長さキーを押します。
- ③ 模様の全長表示画面が表示されます。 この画面で自動止めぬい模様を含めて4つの模様の全 長の目安(例では30mm)を確認することができます。



④ 画面のメッセージにしたがい、同じぬい条件で試しぬ いをします。

自動止めぬい模様を含む4つの模様の実際の全長(例では24mm)を「+」または「-」キーで入力し、 OKキーを押して確定します。

※ 補正した値を登録すると、他の模様や他の組み合わせ 模様(文字ぬいを含む)にも適用されます。

- ⑤次回からは、同じ模様の場合でも、別の組み合わせ模様の場合でも、模様の全長表示画面を表示させると、実際のぬいにより近い全長(目安)が表示されます。
   このとき模様の全長表示画面は、補正されていることを示すためにメッセージの表示がありません。
   左の画面例は、別の組み合わせ模様で全長表示画面を表示させた場合の例です。
- ※ 補正前の初期の状態(購入時の設定状態)にもどす場合、初期化キーを押して OK キーを押します。

#### 〔じつようぬい模様選択画面〕(1/2ページ)



#### 〔書体選択画面〕



## ◎文字ぬい

#### ● 文字ぬいの画面

文字ぬいでは、文字やアルファベットを組み合わせてぬ うことができます。

模様選択画面の文字ぬいキーを押すと、書体選択画面に なります。

以下の書体キーを押し、お好みの書体を選びます。

#### ① 明朝体 (9 mm) キー

明朝体(ひらがな・カタカナ、およびスペース模様 2 個) の模様選択画面が表示されます。 明朝体(9 mm)グループは、3 つのページ(画面)に分 かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ(高さ)は最大9mmです。

#### ② まるもじ (9 mm) キー

まるもじ(ひらがな・カタカナ、およびスペース模様 2 個) の模様選択画面が表示されます。 まるもじ(9 mm)グループは、3 つのページ(画面)に 分かれていて、ページキーで選択できます。 ※ 文字のサイズ(高さ)は最大 9 mm です。

#### ③ ブロックキー

ブロック体(英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個)の模様選択画面が表示されます。 ブロック体グループは、5つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大 9 mm で、個々の文 字サイズ(高さ)は 9 mm より小さくなります。



#### ④ スクリプトキー

スクリプト体(英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、お よびスペース模様3個)の模様選択画面が表示されます。 スクリプト体グループは、5つのページ(画面)に分か れていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大9mmで、個々の文字サイズ(高さ)は9mmより小さくなります。 (上記ブロック体グループと同じ)

#### ⑤ ブロック (9 mm) キー

ブロック体(英字の大文字・数字・記号、およびスペー ス模様3個)の模様選択画面が表示されます。 ブロック体(9mm)グループは、3つのページ(画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。 ※ 文字のサイズ(高さ)は最大9mmです。



〔模様選択画面 ブロック〕(1/5ページ)



#### ★ 模様選択画面

書体選択画面で書体を選ぶと、選んだ書体の模様選択画 面になります。

模様選択画面が2つ以上のページ(画面)に分かれてい る場合、ページキーで選択できます。

模様選択画面はじつようぬい模様や飾りぬい模様の画面 と同様、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなど のキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表 示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、14 ページをごらん ください。

## 【設定キー】

模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変 更します。

※ 選ばれている模様によっては、使用できない設定キー があります。

#### ① カーソル移動キー

カーソルを上下へ動かします。

② ぬいイメージ表示部

ぬいイメージ表示部を押すと、組み合わせた文字の全体が 表示されます。

#### ③ 調節キー

調節キーを押すと調節画面が表示されます。

- ※ 調節画面の基本的な使い方は、31 ~ 35 ページ 「じつようぬいの調節画面」をごらんください。
- ④ 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約 2/3 にし、文字を小さく(低く)するこ とができます。

## ⑤ ひらがな・カタカナ切りかえキー

ひらがなとカタカナを切りかえます。 画面の模様選択キーの表示も同時に切りかわります。 明朝体(9 mm)、まるもじ(9 mm)を選択した場合に 表示されます。

#### ⑥ 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえます。 明朝体(9 mm)、まるもじ(9 mm)を選択した場合に 表示されます。 ※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

#### ⑦ 削除キー

選択した文字やワンポイントを削除します。

#### ⑧ 保存キー

組み合わせ文字を保存します。

#### ⑨ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。画面の模様選択キーの 表示も同時に切りかわります。

※ 削除キー⑦、保存キー⑧、模様頭出しキーの使い方、 プレビュー機能、編集機能、調節画面にある模様全長 表示機能など飾りぬいと同じです。 (70~80ページ参照)

### ● 文字ぬいの例

- 文字ぬいは、飾りぬいの模様組み合わせモードと同様、 お好みの模様を組み合わせてぬうことができます。
- 模様は、最大 100 個まで組み合わせることができます。 (組み合わせる模様で異なります。)
- 組み合わせができる模様は、文字ぬいの模様グループ と飾りぬいの模様グループです。
   ※飾りぬいの模様グループは、64 ページをごらん ください。
- 文字を1つだけまたは複数の文字を組み合わせてぬった場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)
   ぬわれた文字のぬい始めとぬい終わりには、ほつれ止めの止めぬいが入っています。
  - ※ 文字と飾りぬい模様を組み合わせてぬった場合、 組み合わせた模様の最後が文字の場合、最後の文 字をぬって自動的にミシンは停止します。 組み合わせた模様の最後が文字以外の模様の場合、 組み合わせた模様をくり返しぬいます。
- 編集機能を使用すると、組み合わせた模様の内容を変更することができます。(75~76ページ参照)
- 組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存する ことができます。(154 ~ 157 ページ参照)

#### <u>文字ぬいの注意事項</u>

- 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
- ・針は付属のブルー針(柄の部分が青色の針)、押さ えはサテン押さえFを使用してください。
- 伸びる布地、薄手の布地などにぬう場合、布の裏に 市販の芯地を貼るか、トレーシングペーパーや薄い 紙を布の下に敷いてぬってください。
- 文字や記号を組み合わせた場合、隣り合う模様に よっては間かくがせまくなったり、広くなったりす ることがあります。気になる場合はスペース模様で 調節してください。(86ページ参照)



#### 例:明朝体の横書きで文字「ししゅうミシン」をぬう

- 「明朝体(9 mm)」キーを押して明朝体の模様選択画 面を表示させ、横書き・縦書き切りかえキー①が横 書きの状態()
   )で、文字「し」を二度選びます。
- ※ 縦書きの場合、最初の文字を選ぶ前に、横書き・縦書 き切りかえキー①を押して、キーの表示を 2000 にし ます。
- 次ページキー②で2/3ページを表示させ、文字「ゅ」 を選びます。
- ③ 前ページキー ③ で 1/3 ページを表示させ、文字「う」
   を選びます。

- ④ 次ページキー ② で 2/3 ページを表示させ、ひらがな・ カタカナ切りかえキー ④ を押し、キーの表示を
   ▶ から 𝒯 にかえ、文字「ミ」を選びます。
- ※ ひらがな・カタカナ切りかえキー④を押すと、画面の模様選択キーの表示もカタカナに切りかわります。
- 5 前ページキー ③ で 1/3 ページを表示させ、文字「シ」 を選びます。
- ⑥ 次ページキー ② で 2/3 ページを表示させ、文字「ン」を選びます。
   ミシンをスタートさせると、「ししゅうミシン」をぬったあと自動的にミシンは停止します。





## ● 文字ぬい時の糸調子

糸調子は自動で調節されますが、ぬい条件によっては、 手動で糸調子の調節をする必要がある場合があります。

### ★ 文字ごとに糸調子調節を行う

- それぞれの文字の糸調子を個別に変更したい場合、糸 調子を変更したい文字をカーソル①で選択します。
   調節キー②を押し、調節画面を表示させます。
- ② 糸調子調節 ③ の「+」もしくは「一」キーを押し、 各文字の糸調子を調節します。
- ※ 画面のアイコン表示が「オート」から「マニュアル」 にかわります。
- ※ 調節した糸調子の値は選択された各文字にそれぞれ適 用されます。

#### ★ 全ての文字に同じ糸調子の値を適応する(統一糸調子)

すべての組み合わせ模様の糸調子をオート値(電源を入 れたとき、ミシンに自動的に設定されている値)と異な る別の統一した値に設定したい場合、飾りぬいでは、調 節画面の糸調子調節キーで模様ごとに設定する必要があ ります。

文字ぬいでは、統一糸調子機能によって、組み合わせ模様(文字)ごとではなく、一括して統一した糸調子に設定することができます。

- 1 調節キー①を押し、調節画面を表示させます。
- 2 調節画面で統一糸調子キー②(赤色)を押します。
   統一糸調子キー②が黄色で表示されます。
- ③ 糸調子調節 ③ の「+」もしくは「一」キーを押し、
   糸調子を調節します。(例では「3.0」に変更)
   OK キー ④ を押します。
  - 組み合わせた「ABC」すべての文字を糸調子「3.0」 でぬうことができます。
  - ・ 画面のアイコン表示が「オート」から「マニュアル」
     (黄色)にかわります。
- ※ 統一糸調子を解除する場合、調節画面で統一糸調子 キー②を押してキーの色を黄色から赤色にもどし、 OK キー④を押します。
- ※以下の場合も統一糸調子機能は解除されます。
  - 組み合わせた文字をすべて削除したとき
  - 文字ぬい以外の模様グループの模様を選んだとき



### ● スペース模様

明朝体とまるもじの模様選択画面 2/3 ページにある 🔢

□、ブロック体とスクリプト体の模様選択画面 1/5 ペー

ジおよびブロック体(9 mm)の模様選択画面 1/3 ペー

ジにある 🏭 🖬 🖽 は、スペース模様です。

文字と文字の間かくをあけてぬうときに使います。 文字と文字のあいだに組み合わせてください。

① スペース模様

- 小サイズのスペース(約 2.5 mm)
- ③ 中サイズのスペース(約3.5 mm)※ 明朝体、まるもじにはなし
- ④ 大サイズのスペース(約 5 mm)
- ※ 上記スペースのサイズは、電源投入時の値です。 調節画面のぬい目のあらさ調節キーで設定値を変更す ると、スペースのサイズはかわります。 (33 ページ参照)



## ◎用途選択

## ● 用途選択の模様選択画面

模様選択画面で用途選択キーを押すと、ぬいの用途に適 した模様が直接選べる用途選択画面になります。

用途選択画面は2ページ(画面)で構成されており、ページキーでページを切りかえます。

「地ぬい」、「まつりぬい&シェルタック」、「ファスナー」、 「キルティング」の項目は、2段階の用途選択画面で構成 されています。

- ※ 用途選択によって選んだ模様に設定されている「ぬい 目の幅・ぬい目のあらさ・糸調子」などの値は、ぬい の用途に適した値になっています。
- ※ 模様選択画面のもどりキーを押すと、1 つ前の用途選 択画面にもどります。 用途選択のぬいが終わって、他の模様グループを選ぶ 場合は、模様選択画面の模様グループ選択キーで目的 の模様グループを選んでください。 じつようぬい/ボタンホールグループは、ホームキー

でも選べます。



## ● 用途選択の種類

以下 12 種類のぬいの用途に適した模様を選ぶことができます。

- ① 地ぬい(89ページ参照)
- ふちかがり(90ページ参照)
- ③ **まつりぬい & シェルタック**(91~93ページ参照)
- ④ 三つ巻き(94ページ参照)
- ⑤ **ファスナー**(95~97ページ参照)
- ⑥ ギャザー (98 ページ参照)



- ⑦ しつけ (99 ページ参照)
- ⑧ ボタンつけ (100~102ページ参照)
- ⑨ かんぬき (103 ページ参照)
- 10 **アップリケ**(104~105ページ参照)
- パッチワーク(106~107ページ参照)
- 12 **キルティング**(108~112ページ参照)



## ● 地ぬい

用途選択画面の「地ぬい」キーを押すと、4 種類の地ぬ いの用途選択画面になります。

4 種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に 適した地ぬいの模様選択画面になります。

地ぬいに適した 12 種類の模様が選択できます。

※ ぬい方は、39~40ページの「直線ぬい」をごらんください。

#### ① 伸びない布地 (地ぬい 1)

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない 布地に適した5種類の模様が選べます。 伸びない布地(地ぬい1)画面は2ページ(画面)で構 成されており、ページキーでページを切りかえます。 もどりキーを押すと、1つ前の用途選択画面にもどりま す。

2 伸びる布地 (地ぬい 2)

ジャージー、ニット、トリコットなど伸縮する布地に適 した3種類の模様が選べます。

③ 円弧ぬい (地ぬい 3)

円弧ぬい(曲線のぬい合わせ)に適した3種類の模様が 選べます。

④ トップステッチ(地ぬい4)トップステッチに適した模様が選べます。







(2)

# 



## ● ふちかがり

用途選択画面の「ふちかがり」キーを押すと、以下4種類の模様が選択できます。

ぬい方は、46~47ページの「ふちかがりぬい」をご らんください。

## ① 普通地

普通地、平織り2枚に適しています。地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使用します。ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。

## ② 伸びる布地

伸縮性布地(ニット地など)のかがりぬいに使います。 基本押さえ A を使用する場合、布から適切なぬいしろを とってぬったあと、切りそろえるとよりきれいに仕上が ります。(46 ページ参照)

## ③ 普通地

布端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用しま す。オーバーロックのぬい目に似ています。

## ④ 厚地

普通の布や厚い布およびほつれやすい布のたち目のほつ れ止めに使用します。



## ● まつりぬい

用途選択画面の「まつりぬい&シェルタック」キーを押し、 「まつりぬい」キーを押すと2種類の用途選択画面にな ります。

以下の2種類のまつりぬいから選択できます。

#### ① 普通地

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない 普通布をまつります。

#### 2 伸びる布地

ジャージー、ニット、トリコットなどの伸びる布地をま つります。



スカートやワンピースなどの裾のまつりができます。 ※ 生地と同じ色の糸を使用してください。

まつりぬい押さえ G を付けます。

- 図のように布を折ります。
   布を折るときは、裏を表にして下に折り込み、布端を 0.4 cm ~ 0.7 cm ほどはみださせます。
- ※ ほつれやすい厚い生地は、たち目かがりで布端を処理 してください。

② 折り山③をガイド④に合わせてぬいます。

※ 針が折り山から外れない、また必要以上に針が折り山 にかかりすぎないように、左針位置調節キーまたはぬ い目の幅調節キーで左針位置(折り山側の針位置)を 調節してください。 (92 ページ【針位置を調節する】参照)

③ ぬい終わったら布を表に広げます。



## 【針位置を調節する】

左針位置調節キーおよび右針位置調節キーは、調節キー を押して表示される調節画面にもあります。 どちらを使用しても同じ設定ができます。 調節画面の基本的な使い方は、31 ~ 35 ページをご らんください。

## 左針位置の調節

左側の針位置(折り山側の針位置)① をかえます。 右側の針位置は固定なので、左に模様の幅が変化します。

- 左針位置調節キーの「+」キーを押すと左針位置が 左へ移動、「-」キーを押すと右へ移動します。
- 画面の数値は、押さえのガイドから左針位置 ① までの距離 ② を表示しています。(単位:mm)

## 右針位置の調節

右側の針位置③をかえます。左側の針位置は固定なので、 右に模様の幅が変化します。

- 右針位置調節キーの「+」キーを押すと右針位置が 右へ移動、「-」キーを押すと左へ移動します。
- 画面の数値は、押さえのガイドから右針位置 ③ までの距離 ④ を表示しています。(単位:mm)

## 模様の位置の調節(針位置調節)

模様の幅 ⑤ をかえずに左側の針位置(折り山側の針位置) をかえます。

- ぬい目の幅調節キーの「+」キーを押すと、針位置 が左に移動します。(模様全体が左に移動)
- •ぬい目の幅調節キーの「一」キーを押すと、針位置 が右に移動します。(模様全体が右に移動)
- 画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの 距離⑥(折り山側の針位置)を表示しています。 (単位:mm)
- ※ 変更した値をオート値(電源を入れたとき、ミシンに 自動的に設定されている値)にもどす場合、調節画面 の初期化キーを押して OK キーを押してください。



## ● シェルタック

用途選択画面の「まつりぬい&シェルタック」キーを押し、「シェルタック」キーを押すと、シェルタックの模様選択 画面になります。
以下の3種類のシェルタックに適した模様から選択できます。
小
細かいサイズのシェルタックです。
② 中
中くらいのサイズのシェルタックです。
③ 大
普通のサイズのシェルタックです。



薄い布に使用します。

- ① 布をバイアスに2つ折りにします。
- ② 右の針位置が布の折り山のきわ(布の外側)に落ちる ようにしてぬいます。
- ※ シェルタックをいくつか並べてぬう場合、1.5 cm 以 上あいだをあけてください。

## 【シェルタックの位置を調節する】

模様位置調節キー ② および右針位置調節キー ③ は、模様選択画面と、調節キー ① を押して表示される調節画面にあります。どちらの画面を使用しても同じ設定ができます。

調節画面の基本的な使い方は、31 ~ 35 ページをごらん ください。

## 模様の位置の調節

模様の幅を変更せず、模様のぬい位置を左右に移動させ ます。

 ・模様位置調節キー②の「+」キーを押すとシェルタックが右へ移動、「-」キーを押すと左へ移動します。

## 模様の幅の調節(右針位置調節)

右側の針位置をかえます。左側の針位置は固定なので、 右に模様の幅が変化します。

- 右針位置調節キー③の「+」キーを押すと右針位置 が右へ移動し、シェルタックの幅が広くなります。
- 右針位置調節キー③の「-」キーを押すと左へ移動し、シェルタックの幅がせまくなります。



## ● 三つ巻きぬい

用途選択画面の「三つ巻き」キーを押すと、三つ巻きぬ いの模様選択画面になります。以下の3種類の三つ巻き ぬいに適した模様から選択できます。

#### 1 直線三つ巻き

直線で三つ巻きぬいをします。

② ジグザグ三つ巻き

細いジグザグぬいで三つ巻きぬいをします。

③ **直線三つ巻き(4 mm & 6 mm)** 別売り(オプション)の D1、D2 押さえを使用した三つ 巻きぬいです。



- 三つ巻き押さえ D を付けます。
   布端約 6 cm の長さを、約 0.3 cm の幅で三つ折りにします。
- ※ 折り目がつきにくい布は、アイロンで折り目をつける とぬいやすくなります。
- ② ぬい始めの位置に針をおろし押さえをさげます。
   上糸と下糸をそろえて向こう側に引っ張りながら
   1 cm ~ 2 cm ぬってミシンを止めます。
   針が布にささった状態で押さえをあげ、布の三つ折りの部分を開いて、布端を押さえのうず④の中に巻き込みます。

3 押さえをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持 ちあげながらぬいます。

#### 布端の始末

三つ巻きぬいの重なる角の部分は、厚みを薄くするため図のように布端を切り落として折り合わせます。



## ● ファスナー付け

用途選択画面の「ファスナー」キーを押すと、2種類のファ スナー付けの用途選択画面になります。

2種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に 適した模様選択画面になります。

#### ① ファスナー付け

ファスナー押さえEを使用してファスナーを付けます。

② コンシール ® ファスナー付け

別売り(オプション)のコンシール®ファスナー押さえ Zを使用してファスナーを付けます。

※ コンシールは YKK 株式会社の登録商標です。

#### 【ぬい方:左脇あきのぬい方例】

キーを押し、模様選択画面を表示させます。

手順ごとにキーを押すと、手順に合わせて自動的にミシ ンの設定がかわります。

1 ファスナーのあき寸法を確かめます。 あき寸法は、ファスナー寸法に1cmプラスした寸法

を選び、基本押さえAを付けます。

布を中表に合わせ、2 cm のぬいしろであき止まりま で地ぬいをします。

は自動返しぬいです。 自動返しぬいのぬい方は、41ページをごらんくださ を選び、あき部分のしつけぬいをします。



 ④ ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを 0.3 cm 出して アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあて ます。

5 模様 を選び、ファスナー押さえ E を付けます。

左側をぬう

むしのきわを押さえの右側面にあて、あき止まりから ファスナーの左側をぬいます。

※ ぬい始めに数針、ほつれ止めの返しぬいをしてください。

## <u> 注</u>意

ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに あたらないように注意してください。 針があたると、けがの原因となります。

- 「日、ファスナーの端から約5 cm 手前でミシンを止めます。

   針を布にさした状態で押さえをあげ、スライダーを押さえの向こう側にずらしファスナーを開きます。

   押さえをさげて残りの部分をぬいます。
- ※ ぬい終わりは数針、ほつれ止めの返しぬいをしてくだ さい。
- ファスナーを閉じ、スライダーを上にたおし、上の布 をファスナーの上にかぶせます。

模様

かぶせた布と台布をしつけぬいで止めます。



⑧ 模様 を選び、ファスナー押さえ E を付けます。

上の布のあき止まりを約1 cm 返しぬいして、むしの きわを押さえの左側面にあて、ファスナーの右側をぬ います。



ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに あたらないように注意してください。 針があたると、けがの原因となります。

- ファスナーの上側を約5 cm 残したところでミシンを 止めます。
   針を布にさした状態で押さえをあげ、手順3 でぬっ たしつけぬいの糸をほどきます。
   ファスナーを開き、スライダーを押さえの向こうにず らします。





## ● しつけ

用途選択画面の「しつけ」キーを押すと、しつけの模様 選択画面になります。

しつけに適した2種類の模様が選択できます。

## ① オート

ぬい目のあらさが最大値(約 0.5 cm)の直線ぬいです。 あとで糸をほどきやすいように、糸調子が弱く設定され ています。

## ② マニュアル

ミシンをスタートさせても、布は送られずに1針ごとに 停止します。1針ずつ手で布を移動させてお好みの間か くでぬうことができます。

※ フットコントローラーを使用している場合も、踏み続けていても布は送られずに1針ごとに停止します。

## 【ぬい方:マニュアル

フリーキルト押さえ PD-H を取り付け(17 ページ参照)、 送り歯をさげます。(22 ページ参照)

押さえ上げをさげ、布を前後にピンと張ってぬいます。 1 針ぬってミシンが停止したら、ぬい目をつまんで布を 向こう側に必要な長さだけ引き出し、繰り返しぬいます。

## <u>フットコントローラーの利用</u>

しつけぬいは、フットコントローラーを使用すると両 手が使えて便利です。

※ フットコントローラーは、モデルによってオプションになります。





## ● ボタンつけ

用途選択画面の「ボタンつけ」キーを押すと、ボタンつけの模様選択画面になります。

ボタンつけに適した2種類の模様が選択できます。

- ※「ボタンつけ」キーを押すと、「送り歯を下げてください。」のメッセージ画面が表示されます。
- ※ 送り歯をさげて、布送り機能がない状態でぬいます。 (22 ページ参照)



必ず針がボタンの左右の穴におりることを確認してく ださい。ボタンに針があたると針が折れ、けがの原因 となります。

- 【ボタンつけ押さえ T を取り付ける】
- ※ ロックキーを押してミシンをロックして押さえを交換 します。

- 押さえのうしろのピン①を、押さえホルダーのうしろのみぞ②にかけます。
- 2 押さえのうしろを軽くささえながら押さえ上げをさげ て取り付けます。
   ロックキーを押してロックを解除します。
- ※押さえの外し方は、15ページをごらんください。



#### ★ 普通のボタンつけのぬい方

模様 👷 はぬいが終了するとミシンが自動的に止まり

ます。ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になって いても針は上の位置で停止します。

ボタンつけ押さえ T を取り付け(100 ページ参照)、送 り歯をさげます。(22 ページ参照)

- ①「普通のボタンつけ」キー①を押します。
- ② ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の 間かく調節キー②で、画面の数値を間かくと同じ値 に設定します。
- ※ 1.0 mm ~ 7.0 mm(0.5 mm 単位)で調節できます。
- ※ 間かく調節キー ② は、調節キー ③ を押して表示される調節画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。

 ③ ボタンを押さえの下へ置き、はずみ車を手で手前にま わしてボタンの左の穴に針をさします。
 ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえを さげます。

はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンにあたらな いで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。

- ※ 針がボタンにあたる場合、間かく調節キー② で調節 してください。左側の針位置は固定で、右側の針位置 が移動します。
- ④ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと 自動的にミシンは停止します。
   押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 cm ~ 20 cm 残して切ります。
- ※ 糸切りボタンで切らないでください。
- ⑤ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。 ぬい終わりの上糸と下糸は、下糸を引いて上糸を布の

ぬい終わりの上糸と下糸は、下糸を引いて上糸を布の 裏側に引き出し、上糸と下糸を結んでから切ります。



#### ★ 根巻きボタンつけのぬい方

根巻きボタン付けは、付属のボタン付けプレートを使用 してぬいます。

- 根巻さ ポタンつ(

※ 模様 😔 はぬいが終了するとミシンが自動的に止ま

ります。ミシン停止時の針位置設定が下位置停止に なっていても針は上の位置で停止します。

※ ボタンが厚すぎる場合、ボタンつけプレートは使用で きません。

ボタンつけ押さえ T を取り付け(100 ページ参照)、送 り歯をさげます。(22 ページ参照)

- 1 「根巻きボタンつけ」キー①を押します。
- ② ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の 間かく調節キー ② で、画面の数値を間かくと同じ値 に設定します。
- ※ 1.0 mm ~ 7.0 mm (0.5 mm 単位) で調節できます。
- ※ 間かく調節キー②は、調節キー③を押して表示される調節画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。
- ③ ボタンを押さえの下へ置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。 ボタンの下へボタンつけプレートを差し込み、ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえをさげます。
- ※ ボタンつけプレートはみぞの部分がボタン穴の下になるように差し込みます。
- ※ ボタンつけプレートは、厚い方が 4.5 mm、薄い方が 3 mm になっています。用途に合わせて選んでください。

はずみ車を手前にまわして針を右側に移動させます。 間かく調節キー②(「+」もしくは「-」ボタン)で 針がボタンの右穴に入るように調節します。

左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。 ボタンの左右の穴の間かくは最大 7.0 mm、0.5 mm 単位で調節できます。

ミシンが自動的に止まるまでぬいます。 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 cm ~ 20 cm 残して切ります。

- ※糸切りボタンで切らないでください。
- ④ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみを 使って切ります。

ぬい終わりの上糸と下糸は、上糸をボタンと布のあい だに引き出し、次にその上糸を引いて下糸をボタンと 布のあいだに引き出します。

上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に 数回巻き付けて結びます。



## ● かんぬき止め

かんぬき止めはポケットロなど、ぬい目に力がかかって ほつれやすい部分などを補強します。

用途選択画面の「かんぬき」キーを押すと4種類(3種 類のオートかんぬき止めとマニュアルかんぬき止め)の 模様選択画面になります。

※ 模様選択画面は 2 つのページ (画面) に分かれていて、 ページキーで選択できます。

サテン押さえ F を取り付けます。

## 【自動かんぬき止め】

は、かんぬき止めの長さがそれ

ぞれ 1 cm、0.7 cm、1.2 cm の固定値になっています。 ぬい始めの位置に針をおろし、ミシンをスタートさせます。 選択した長さがぬわれ、終わると自動的に止まります。

## 【マニュアルかんぬき止め】

模様 🜆 📑 は、お好みの長さ(最大 1.5 cm)のかんぬき

止めができます。

ミシンをスタートさせ、必要な長さまでぬい、返しぬい ボタン ① を押します。

- これでかんぬき止めの長さが決まります。
- ミシンが自動的に止まるまでぬいます。
- ※ マニュアルでぬえるかんぬき止めの長さは、最大 1.5 cm です。
- ※ ぬい目の幅やあらさは、調節画面のぬい目の幅調節 キーとぬい目のあらさ調節キーで変更することができ ます。ぬい目のあらさを変更すると、自動でぬえる最 大長さ「1.5 cm」もかわります。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシン はぬった長さ(サイズ)を記憶しています。

別の場所に同じ長さのかんぬきをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。

返しぬいボタン ① を押さなくても同じ長さのかんぬ きを自動的にぬってミシンは停止します。

違うサイズでぬう場合、閉じるキー②を押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。



## ● アップリケ

ケックガサ

用途選択画面の「アップリケ」キーを押すと、アップリ ケの模様選択画面になります。

アップリケに適した6種類の模様が選択できます。

※ 模様選択画面は 2 つのページ (画面) に分かれていて、 ページキーで選択できます。

画面の模様選択キーに表示されている「M」、「R」は、ぬい目の幅を変更したときの基準位置です。

模様		www.=	の「M」はぬい目の幅を変更したときに
----	--	-------	--------------------

中針位置(中央)を基準(固定)に左右に幅が変化します。

模様 **100** の [R] はぬい目の幅を変更したときに、

右針位置を基準(固定)に左に幅が変化します。

アップリケの基準位置は、調節キー①を押して表示され る調節画面の針位置調節キー②(「+」「ー」キー)で調 節できます。ぬい幅はかわりません。

- ※ アップリケに使用できる模様は、飾りぬい模様グルー プのアップリケグループにもあります。 アップリケグループの模様選択キーに表示されている 「L」は、上記同様、ぬい目の幅を変更したときに、左 針位置を基準(固定)に右に幅が変化します。
- ※ 飾りぬい模様グループは、64 ページの「飾りぬい」 をごらんください。





## ● パッチワーク

## パッチワークのピーシング(ぬい合わせ)

用途選択画面の「パッチワーク」キーを押すとパッチワー ク(ピーシング)に適した3種類の模様が選択できます。 ※ 模様選択画面は2つのページ(画面)に分かれていて、 ページキーで選択できます。

ぬい目のあらさはパッチワークのぬい合わせに最適な 1.8 mm に設定されていますが、模様選択画面のぬい目 のあらさ調節キー②(「+」、「-」キー)で変更できます。 また調節キー①を押して表示される調節画面でも変更で きます。どちらを使用しても同じ設定ができます。

- ※3種類の模様は、パッチワーク押さえOを使い、
   0.65 cm(1/4 インチ)のぬいしろを正確にぬうことができます。
- \* **\*** 、 の模様はぬい始めと終わりに返しぬい

および止めぬいを行います。(41ページ参照)

- ※ ピーシング用の模様は、飾りぬい模様グループのキル トグループにもあります。(模様 中 中)
  - キルト模様 (+)は、パッチワーク押さえ O を使用する 2 と、1/4 インチのぬいしろを正確にぬうことができます。 キルト模様 (+)は、パッチワーク押さえ O を使用する 03
  - と、7 mm のぬいしろを正確にぬうことができます。
- ※ 飾りぬい模様グループは、64 ページの「飾りぬい」 をごらんください。



パッチワーク押さえ Ο を付けます。

- 1 「自動止めぬい」 キー ① を押します。
- ② 布を中表に合わせ、押さえの下へ置き、布端 ② をガ イド ③ に沿わせてぬいます。
   ぬい始めの位置 ④ からミシンをスタートさせ、ぬい 終わりの位置 ⑤ でミシンを停止します。
- ③ 返しぬいボタン ⑥ を一度押します。
   その位置でほつれ止めの止めぬいをしてミシンは自動的に止まります。




 ④ ミシンを止めると、画面にメッセージが表示されます。
 OK キー⑦を押します。
 ぬった長さ(サイズ)が記憶され、ミシンをスタート させるだけで、返しぬいボタンを押さなくても同じ長 さを自動的にぬってミシンは停止します。

違うサイズでぬう場合、閉じるキー⑧を押します。

 ⑤ 記憶した長さでぬったあと、画面にメッセージが表示 されます。
 繰り返し同じ長さでぬう場合、ミシンをスタートさせ ます。

違うサイズでぬう場合、閉じるキー⑨を押します。

### ★ 針板角度目盛りの使い方

パッチワーク布(ピース)の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしで 0.65 cm(1/4 インチ)のぬい始めの位置を決めることができます。

## 例:レモンスター

パッチワーク押さえ O をセットし、用途選択のパッチ ワーク 3 種類の模様、またはキルトグループの模様 を選びます。

- 1 ピースの対角線 ① に折り目を付けます。
- ② ぬい始め ② は、布端をパッチワーク押さえのガイド ④ および角度目盛り「45」度〈点線〉 ⑤ に合わせて布を 置きます。
- ③ ぬい終わり ③ は対角線までぬいます。
- ※ パッチワーク押さえ O を使わず基本押さえ A などを 使用する場合、キルトグループの模様 の の直線)を選び、布端を針板の 1/4 インチガイドライン ⑦ および角度目盛り「45」度〈実線〉⑥ に合わせ て布を置きます。



# ● キルティング

用途選択画面の「キルティング」キーを押すと、以下の 5種類の用途選択画面になります。

- ①直線ぬい
- ② とじぬい
- ③ フリーキルト
- ④ 刺し子風ステッチ
- ⑤ 手ぬい風キルトぬい

5 種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に 適したキルティングの模様選択画面になります。 キルティングに適した 17 種類の模様が選択できます。



### ★ 直線ぬい

キルティングの用途選択画面(上図参照)の「直線ぬい」 キーを押すと、3種類の直線ぬいの模様が選択できます。 ※ ぬい方は、41ページの「直線ぬいの種類」をごら んください。

# 【キルティングガイドの使い方】

キルティングガイドを使用すると、前にぬったぬい目と 平行に等間かくでぬうことができます。

- 押さえホルダーのうしろの取り付け穴にキルティング ガイドを差し込みます。
   針位置とキルティングガイドのガイド部分までの距離 がぬう間かくになります。キルティングガイドをスラ イドさせて、お好みの距離に調節してください。
- ② 既にあるぬい目にキルティングガイドを沿わせながら
   平行な直線をぬいます。



# ★ とじぬい

キルティングの用途選択画面の「とじぬい」キーを押すと、 4 種類のとじぬい模様が選べます。

厚みのあるキルト綿をとじるときに使います。

※ とじぬい模様は 1 つの模様が完成すると、ほつれ止め の止めぬいをしてミシンは自動的に止まります。

サテン押さえ Fを使用します。



ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。



# ★ フリーキルト

キルティングの用途選択画面の「フリーキルト」キーを 押すと、3種類のフリーキルティング模様が選べます。

- ※ フリーキルトを選択すると、送り歯があがっている場合、メッセージ画面が表示されます。 送り歯ドロップつまみで送り歯をさげてください。 (22 ページ参照)
- ※ フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐ ため、パープル針を使用してください。

【ぬい方:模様

両手で布を案内しながら中速でぬいます。

1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

- ※ フリーキルト押さえ PD-H の取り付けは、17 ページ をごらんください。
- 布をセットし、上糸①の端を針からはなれたところ で持ちます。 上糸①は押さえの穴③に入れないでください。
- ミシンをスタートさせます。
   ミシンは1針ぬって停止します。
- ③ 上糸 ① を上に引いて、下糸 ② を引き出します。
- ※ 下糸 ② を布の裏側でぬい込まないために、布の上に 下糸 ② を引き出します。



 ④ 引き出した上糸①と下糸②を押さえの穴③から下 へ通します。
 布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。

- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
   図案に沿って両手で布を案内しながらキルティングします。
- ※ フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐ ため、パープル針を使用してください。
- ※ フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強 く引っぱらないでください。針折れ、けが、故障の原 因となります。

- ★1針停止キーの使い方
- フリーキルティング模様を選んだ直後、模様選択画面の1針停止キー①の表示は になっています。

ミシンは1針ぬって停止し、キーの表示が 🗾 にか

わります。

この表示の状態でミシンを再スタートさせると連続してぬいます。

- 最初から連続してぬいたい場合、1 針停止キー ① を押してキーの表示を にかえてください。
  - ※ 1 針停止キー ① は、押すごとに 2 つの表示が切り かわります。
- フリーキルト模様をぬったあと、そのまま同じ模様を 別の場所にぬう場合、ミシンをスタートさせてから自 動的に1針ぬって停止したいときは、1針停止キー①
   を押してキーの表示を 「」 にかえてください。





## ★ 刺し子風ステッチ

キルティングの用途選択画面の「刺し子風ステッチ」キー を押すと、3種類の刺し子風ステッチの模様が選べます。 アウトラインを目立たせるためのステッチです。

### ★ 手ぬい風キルトぬい

キルティングの用途選択画面の「手ぬい風キルトぬい」 キーを押すと、4種類の手ぬい風キルトぬいの模様が選 べます。

※ 手ぬい風キルトぬいの模様は、キルトグループの 4/4

(65、68ページ参照)



上糸に透明なナイロン糸を使用し、下糸には通常の糸を 使用します。下糸が布表に引き出されて手ぬいのような ぬいになります。

※ 針は家庭用ミシン針(HA × 1)の 14 ~ 16 番を使用 します。



## ● サークルぬい

付属のサーキュラーピボットピンを使用すると、模様を 円形にぬうことができます。

円の大きさは、半径約 8.5 cm と約 10 cm の 2 通りをぬ うことができます。

お好みの密着模様や飾り模様でぬいます。

 布をセットします。
 ミシンのフリーアームにあいているサーキュラーピ ボットピン取り付け穴②に、サーキュラーピボット ピン①を布の上から差し込みます。

- 2 サーキュラーピボットピン①を中心に、布を回転さ せるように案内してぬいます。
- ※ 薄地から普通地の生地をぬう場合、サークルやカーブ を正しくぬうために芯地を貼ってください。
- ※ ぬっている途中で、サーキュラーピボットピン① が 浮いてきたときは、再度差し込んでください。







# ◎刺しゅう

● 刺しゅうの準備



刺しゅう枠を自由に動かせる十分なスペースをとって ください。

左図で示した範囲に物を置かないでください。 故障やけがの原因となります。

# ★ 刺しゅうユニットの取り付け方

- 電源スイッチ①を切ります。
   刺しゅうユニット取り付け部カバー②を外します。
- ※ フリーアーム刺しゅう枠(FA10a)を使用するとき以 外は、必ず補助テーブル ③ をミシンに付けてくださ い。

② 刺しゅうユニット④を両手で持ち、図のようにミシン本体と刺しゅうユニットのマーク⑤同士を合わせます。

- ③ マーク ⑤ を合わせた状態で、刺しゅうユニット ④ を 矢印方向にスライドさせ、ミシン本体に取り付けます。
  - ※ ミシン本体のコネクター ⑥ にしっかり入るまで 刺しゅうユニットをスライドさせてください。







### ★ 針の交換

刺しゅうの場合、針はブルー針に取りかえます。 (19 ~ 20 ページ参照)

### ★ 針板の交換

刺しゅうの場合、針板は直線ぬい用針板を使用します。 (18ページ参照)

〔刺しゅうぬい設定画面〕 (5/6 ページ)
刺しゅうぬい設定 (5/6) <b>、</b>
糸選択 オリジナル JANOME JANOME
ポリエステル アクリル Güter mann SULKY Rayon 40 Robison -Anton Polyester 40 Rapon 40
Mettler Poly Sheen フジックス キングスター



# ★ 刺しゅう糸

糸はミシン刺しゅう糸を使用してください。 また、使用する糸を必ず選択してください。 (172ページ「糸選択」参照) 糸選択を行わないと、使用する糸に合った糸調子が設定 されないので、ぬい不良の原因となります。 刺しゅうの下糸は、JANOME ポリエステル# 90 を使用 してください。

### ★ 芯地

刺しゅう部分の布の裏側に芯地を貼るときれいに仕上が ります。

- 薄い布や化繊布、またはジャージーのような伸縮性の ある布の場合、必ず芯地を貼ります。
- しっかりした厚い布地は芯地を貼らずにそのままぬえます。
- 芯地はアイロンで接着するタイプと接着しないタイプ があります。
- 接着しないタイプの芯地は、アイロンをかけられない 布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうする場合に 使用します。

### 【接着するタイプの芯地の貼り方】

布の裏(刺しゅうしない側)と、芯地の光沢のある糊付 き側を向かい合わせにしておき、角を折ってアイロンが けします。

- ※ 芯地の角を折っておくと、刺しゅうが終わったあとに、 芯地がはがしやすくなります。
- ※ アイロンの温度は、使用する芯地によって異なります。
- ※ のりが付着する場合がありますので、ぬい終わったあ とは内がまをきれいに掃除してください。 (175ページ参照)









#### ★ 刺しゅう枠とテンプレート

本機には3種類の刺しゅう枠が付属しています。

#### SQ14a マグネットクリップ付き標準型刺しゅう枠 (テンプレート ⑤ 付き)

刺しゅう範囲は、横 14 cm x 縦 14 cm です。 標準的な刺しゅうに使用します。

### ② RE20a マグネットクリップ付き大型刺しゅう枠 (テンプレート ⑤ 付き)

刺しゅう範囲は、横 17 cm x 縦 20 cm です。 大型刺しゅうに使用します。

# ③ FA10a 小型刺しゅう枠(テンプレート⑤付き)

刺しゅう範囲は、横 10 cm x 縦 4 cm のフリーアーム刺 しゅう枠です。 小型刺しゅうに使用します。

### ④布端押さえ

布が刺しゅう枠の中に入り込む場合、内枠に立てて使用 します。(153 ページ参照)

### ⑤ テンプレート

- ます目の範囲が刺しゅうできる範囲です。
- 1. 内蔵模様のぬい開始位置
  - 文字ぬい(横書き)センターボトムのぬい原点の位置
  - 文字ぬい(縦書き)センターミドルのぬい原点の位置
- 2. 文字ぬい(横書き)トップボトムのぬい原点の位置 文字ぬい(縦書き)トップミドルのぬい原点の位置
- 3. 文字ぬい(横書き)エンドボトムのぬい原点の位置 文字ぬい(縦書き)エンドミドルのぬい原点の位置
- ※ ぬい原点の位置の詳細は、138 ページをごらんくだ さい。

#### ⑥ 刺しゅう布保持用マグネットクリップ

布を刺しゅう枠にとめるマグネットクリップです。



- ★ 刺しゅう枠に布を張る
- 1 布①を準備し、芯地を布の裏側に貼ります。
   布①と芯地は刺しゅう枠のサイズより大きいものを 用意します。
   模様の位置を決めるため、布の中心に十字マーク②
   を描きます。
- ※ 布に十字マークを描くときは、付属のテンプレート シート CD に入っている、模様テンプレートシートを 利用してください。
- ② 布の上に内枠 ③ を置き、その中にテンプレート ④ を 入れて、テンプレート ④ の基準線と布の十字マーク を合わせます。
- ③ 外枠 ⑥ の調整ねじ ⑤ をゆるめます。
   布の十字マークとテンプレートの基準線がズレないように外枠 ⑥ にセットします。

- 内枠と布を外枠に押し込み、調整ねじ⑤をしめて、 布を張ります。
   布をピンと張るため、調整ねじ⑤をしめた状態で 一度内枠を外し、テンプレートの基準線と布の十字 マークを合わせながらセットし直します。
   布地がたるんでいるときは、布地の上下左右を引っ張 り、布を伸ばさないようにしてたるみを取ります。
- ※ 外枠と内枠のマーク ⑧ を合わせて布を張ります。
- ※ 布地を軽くたたくと、太鼓のような音がするくらいピンと張ります。

刺しゅう布保持用マグネットクリップ ⑦ を 4 カ所に セットします。

- ⑤ 穴に指を入れ、テンプレートを外します。
- ※ キルトなどの厚い布に刺しゅうする場合には、刺しゅう枠が右側に移動したとき、ミシンと刺しゅう枠のすきまがなく刺しゅう枠の動きを妨げていないか確認してください。
- ※ ぬい終わったら、矢印方向に刺しゅう布保持用マグ ネットクリップ⑦を外し、調整ねじ⑤をゆるめて布 を外します。

# <u> 注</u>意

布や芯地が厚くなっている所をぬうと、目とびしたり、 糸が切れたり、針が折れたりする危険があります。 3 mm より厚くなっている所はぬわないでください。





★ 刺しゅう枠のキャリッジ取り付け

刺しゅう枠を取り付けるときは、模様を選び、ぬいスター ト位置で刺しゅう枠を取り付けます。

 キャリッジアームを開き、電源を入れます。
 通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキー①を 押し、刺しゅうモードにします。
 メッセージ画面が表示されます。
 OK キー②を押すとキャリッジが枠取り付け位置に 移動し、送り歯が自動的にさがります。
 刺しゅうモード画面が表示されます。

- ※ 閉じるキー③を押すと、前の画面にもどります。
- ※ キャリッジアームを格納したまま通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキー①を押すと、メッセージ 画面が表示されます。 OK キー②や閉じるキー③を押さず、キャリッジアームを開いてください。
- ※ はずみ車側にある、送り歯ドロップつまみも自動的に さがる位置に動きます。
- ② 刺しゅう枠のつまみを縦に向け、凹部をキャリッジの 凸部に合わせて差し込みます。 つまみを右方向にまわして、刺しゅう枠を固定します。

★ ぬい始めの糸かけ

上糸の端を刺しゅうにぬいこまないよう、上糸を刺しゅう押さえの穴に通し、糸切り / 糸押さえにかけます。 糸は前からうしろに向かって 2 cm ~ 3 cm 出してかけま す。



# ● ぬい方

# ★ 内蔵模様の選択方法(模様)

通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキーを押し、 刺しゅうモードにします。 刺しゅうモードのホーム画面になります。

# 【キャリッジ収納キー】

刺しゅうを途中で中断する場合、枠を外してキャリッジ

収納キー 🚺 を押します。キャリッジが収納位置 (ホー

ムポジション)に移動します。

※ キャリッジが閉じている場合やキャリッジが収納位置 (ホームポジション)にある場合、キャリッジ収納キー は表示されず、使用できません。

# 【内蔵模様キー】

内蔵模様キーを押すと、ミシンに内蔵されているデザインセレクショングループの選択画面になります。

# 【カテゴリーキー】

他のグループの模様を選ぶときは、カテゴリーキー

を押します。

刺しゅう模様のグループは、9 個のグループがあり、 3 つのページ(画面)に分かれています。 ページキーで選択できます。

# 【刺しゅう枠選択キー】

刺しゅう枠選択キー 🚺 を押すと、使用する刺しゅう枠 のサイズで刺しゅうできる模様の選択画面が表示されます。 刺しゅう枠を選び、同じサイズの刺しゅう枠をミシンに 取り付けます。

# ① デザインセレクショングループ

デザインセレクションキーを押すと、一般的な刺しゅう 模様を選ぶ選択画面になります。 デザインセレクショングループは、6 つのページに分か れていて、ページキーで選択できます。

SQ14a 枠を使用する模様が 1 ~ 53(1/6 ~ 5/6 ページ)、 RE20a 枠を使用する模様が 1 ~ 7(6/6 ページ)です。

# ② サークルモチーフグループ

サークルモチーフキーを押すと、幾何学的な刺しゅう模 様を選ぶ選択画面になります。

サークルモチーフグループは、SQ14a 枠を使用する模様 が 12 あります。







#### ③ パントリーグループ

パントリーキーを押すと、食器室の刺しゅう模様を選ぶ 選択画面になります。パントリーグループは、2つのペー ジに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14a 枠を使用する模様が 1 ~ 12(1/2 ページ)、 RE20a 枠を使用する模様が 1 ~ 2(2/2 ページ)です。

#### ④ モノクログループ

モノクロキーを押すと、モノクロの刺しゅう模様を選ぶ 選択画面になります。モノクログループは、2 つのペー ジに分かれていて、ページキーで選択できます。 SQ14a 枠を使用する模様が 1 ~ 12(1/2 ページ)、 RE20a 枠を使用する模様が 1 ~ 3(2/2 ページ)です。

### ⑤ クロスステッチグループ

クロスステッチキーを押すと、クロスステッチの刺しゅ う模様を選ぶ選択画面になります。 クロスステッチグループは、2 つのページに分かれてい て、ページキーで選択できます。 SQ14a 枠を使用する模様が 1 ~ 21 です。

#### ⑥ キルティンググループ

キルティングキーを押すと、キルティングの刺しゅう模 様を選ぶ選択画面になります。

キルティンググループは、2つのページに分かれていて、 ページキーで選択できます。

SQ14a 枠を使用する模様が 1 ~ 11 (1/2 ページ)、 RE20a 枠を使用する模様が 1 ~ 8 (2/2 ページ)です。

#### ⑦ フリンジグループ

フリンジキーを押すと、房飾りの刺しゅう模様を選ぶ選 択画面になります。フリンジグループは、2 つのページ に分かれていて、ページキーで選択できます。 SQ14a 枠を使用する模様が 1 ~ 7 (1/2 ページ)、 RE20a 枠を使用する模様が 1 (2/2 ページ)です。

#### ⑧ 花文字グループ

花文字キーを押すと、花文字の刺しゅう模様を選ぶ選択 画面になります。 花文字グループは、3 つのページに分かれていて、ペー ジキーで選択できます。

SQ14a 枠を使用する模様が1~26です。

#### ⑨ クロスセッター

オプションのクロスセッターに使用する基準線を選ぶ選 択画面になります。



z

### 〔書体選択画面〕(1/2ページ)

. 🗆 🛛

ОК



# ★ 内蔵模様の選択方法(文字)

## 【文字キー】

文字キーを押すとミシンに内蔵されている刺しゅうゴ シック体文字(模様)グループの選択画面が表示されます。

# 【書体キー】

他の書体を選ぶときは、書体キーを押して、書体選択画 面を表示させます。

書体選択画面には、9種類の書体があり2つのページ(画 面)に分かれています。

ページキーで選択します。

#### ① 明朝体グループ

明朝体キーを押すと、明朝体(ひらがな、カタカナ、スペー ス模様2個含む、濁点、半濁点、漢字)の模様選択画面 になります。

明朝体グループは、7 つのページ(画面)に分かれていて、 ページキーで選択できます。

### ② まるもじグループ

まるもじキーを押すと、まるもじ(ひらがな、カタカナ、 スペース模様 2 個含む、濁点、半濁点)の模様選択画面 になります。

まるもじグループは、3 つのページ(画面)に分かれて いて、ページキーで選択できます。

### ③ ゴシック体グループ

ゴシックキーを押すと、ゴシック体(英字、数字、記号、 ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個)の模様選択 画面になります。

ゴシック体グループは、5 つのページ(画面)に分かれ ていて、ページキーで選択できます。

### ④ スクリプト体グループ

スクリプトキーを押すと、スクリプト体(英字、数字、記号、 ヨーロッパ文字、およびスペース模様2個)の模様選択 画面になります。

スクリプト体グループは、5 つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

### ⑤ チェルトナム体グループ

チェルトナムキーを押すと、チェルトナム体(英字、数字、 記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個)の模 様選択画面になります。

チェルトナム体グループは、5 つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。



#### ⑥ **2-**レター

2- レターキーを押すと、2- レター(英字、枠)の模様選 択画面になります。

#### ⑦ 3- レター

3- レターキーを押すと、3- レター(英字、枠)の模様選 択画面になります。

#### ⑧ ボーダー 1

ボーダー1キーを押すと、ボーダー1(ボーダー模様) の模様選択画面になります。 ボーダー1は、2つのページ(画面)に分かれていて、ペー ジキーで選択できます。

#### ⑨ ボーダ**ー** 2

ボーダー2キーを押すと、ボーダー2(ボーダー模様) の模様選択画面になります。

ボーダー2は、2つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ その他のキー操作は、136 ページの「文字刺しゅう選 択画面」をごらんください。



#### 【新規編集キー】

新規編集キーを押すと、編集画面になります。 刺しゅう模様を編集したり、模様を組み合わせたりして オリジナルの刺しゅう模様を作成することができます。 ※編集方法は、142~152ページ「刺しゅう模様の編 集」をごらんください。





# ● 刺しゅう実行画面

例:デザインセレクショングループの模様1 デザインセレクション模様選択画面で、模様1を選ぶと 刺しゅう実行画面が表示されます。

### ★ 刺しゅう模様情報

画面には以下の情報が表示されます。

刺しゅう実行画面では機能キーと選択された刺しゅうの 情報が表示されます。

- ① 刺しゅう枠の大きさ
- 伊さえ圧
- ③ 糸調子
- ④ ぬい終わりまでに必要な時間
- ⑤ 糸色数 (レイヤー数)
- ⑥ 設定切りかえキー
   設定切りかえキーで設定キーの表示を切りかえます。
- ⑦ 設定キー
  - ⑧ 針数ウインドウ
- ⑨ 編集キー
- ⑩ 糸色ウインドウ
- ① 針前進・後進キー

ぬい始めると、1 針目からの針数が表示されます。 針前進「+」キー・後進「-」キーで針数を前進させ たり、もどしたりすることができます。

- 前進させるときは、「+」キーを押します。
- もどすときは、「-」キーを押します。
- ※「+」、「-」キーを長押しすると、1 針から 10 針、 100 針と前進、または後進します。
- 12 最大ぬい速度
- (13) 刺しゅうの大きさ



## ★ 設定キー

設定切りかえキーで設定キーの表示を切りかえます。

#### ① 糸色確認キー

糸色確認キー①を押すと、ぬい順序と使用する糸の糸色、 糸色名が確認できます。

#### ② 刺しゅう範囲確認キー

刺しゅう範囲確認キー ② を押すと、刺しゅうのアウトラ インのトレースおよびしつけぬいをしながら刺しゅうの ぬい範囲を確認できます。

刺しゅう範囲確認キー ② を押すとトレース / しつけぬい 画面が表示されます。

以下の3つから選択できます。

1. トレースキー(ぬいなし)

トレースキーを押すとトレース(ぬいなし)画面が表示されます。

トレーススタートキー 킩 を押して刺しゅう範囲(全

体)の確認を開始します。

その他のキー 📉 📝 🔽 ဩ を押すと、刺しゅう

範囲の各コーナーの位置に刺しゅう枠を移動させること ができ、コーナーごとに刺しゅう範囲を確認できます。

### 2. トレース/しつけぬいキー

トレース / しつけぬいキーを押すとトレース / しつけぬい 画面が表示されます。しつけをする前に、下糸を針板の 上に引き出しておきます。

スタート/ストップボタンを押すと、しつけをしながら 刺しゅう範囲を確認します。

※ 刺しゅう範囲の外側 5 mm(ぬいしろ)をしつけぬい します。ただし、しつけぬいの範囲が刺しゅう可能範 囲の最大値をこえたときは、ぬいしろは入りません。



3. トレース/二重しつけぬいキー

トレース/二重しつけぬいキーを押すとトレース/二重しつけぬい画面が表示されます。

しつけをする前に、下糸を針板の上に引き出しておきます。 スタート/ストップボタンを押すと、内側と外側のしつ

けをしながら刺しゅう範囲を確認します。

※ 外側のしつけは、刺しゅう範囲の外側5 mm(ぬいしろ) をぬいます。ただし、しつけぬいの範囲が刺しゅう可 能範囲の最大値をこえたときは、ぬいしろは入りません。

#### ③ 針前進・後進 / ジョグ切りかえキー

針前進・後進 / ジョグ切りかえキー ③ を押すと、ジョグ キーと針前進・後進キーおよび糸色のリストの表示が切 りかわります。

ジョグキーで刺しゅう位置(布の基準線中央に針がくる) の調節ができます。ジョグキーの矢印方向へ枠が移動し ます。

- ※ ぬい始めると、針前進・後進の画面になります。 再度、ジョグキーを使用するときには、針数を「0」 にもどして、針前進・後進 / ジョグ切りかえキー③ を押してください。
- ※ 針前進・後進キーの使い方は、128 ページの「⑪ 針 前進・後進キー」をごらんください。

#### ④ 模様表示切りかえキー

設定切りかえキーを押し、模様表示切りかえキー④を表示させます。

模様表示切りかえキー④を押すと、色がえごとの模様表 示画面になります。

次ページキーを押し、次の色を表示します。

前ページキーを押し、前の色を表示します。

特定の色の部分のみをぬいたい場合、ぬいたい色が表示 されるまで前ページキー / 次ページキーを押します。



#### ⑤ キャリッジ移動キー

キャリッジ移動キー ⑤ を押すとキャリッジ移動画面が表示されます。

針があがっていることを確認します。

※ 押さえがさがった状態で押すと、メッセージ画面が 表示されます。押さえをあげて、再度キャリッジ移 動キー⑤を押してください。

	1000000000000000000000000000000000000	キャリッジが

移動し、針位置が枠の矢印位置に移動します。

刺しゅう実行画面(キャリッジ移動後)が表示されます。

エーで、キャリッジを手前(ホームポジション)に
 ホーム・ホーム・
 ホーム・
 ホーム・

移動できます。

メッセージ画面で OK キーを押すと、キャリッジはホー ムポジションに移動し、刺しゅう実行画面(キャリッジ 移動後)が表示されます。

- ※ 〔〕 キーは、刺しゅう枠を外してから使用してくだ さい。
- ※ キャリッジ移動画面の閉じるキーを押すと、キャリッジ移動画面は閉じます。

キャリッジもどりキーかスタート/ストップボタンを押 すと、メッセージ画面が表示されます。

OK キーを押すと刺しゅう枠がもとの位置にもどります。

刺しゅう枠を取り外した場合、キャリッジの移動後に枠 を取り付けます。



#### 6 調節キー

調節キー⑥を押すと、調節画面が表示されます。 糸調子、渡り糸の糸切り時の残糸の長さの調節ができます。

設定切りかえキーを押し、調節キー ⑥ を表示させます。 調節キー ⑥ を押します。

### 1. 糸調子の調節

「+」、「一」キーを押し、糸調子を調節します。 糸調子を変更したあと OK キーを押します。 取り消すときは閉じるキーを押します。

- ※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は何も受け付けら れず、もとの画面にもどります。
- ※ オート値(電源を入れたときに自動的に設定されてい る値)にもどすときは、初期化キーを押します。
- 2. 渡り糸の糸切り時の残糸の長さ調整
- ※ 刺しゅうぬい設定の「トリミングモード」で「上級設 定」を選択し、「渡り糸の糸切り長さ」(渡り糸の間か くが何 mm 以上の場合に行うかの数値)を「OFF」以 外の値に設定している場合のみ設定できます。 (170~171ページ参照)

「+」、「ー」キーを押し、渡り糸の糸切り時の残糸の長さ を調節します。調節は「1」「2」「3」で調節します。 設定を適用するには、OK キーを押します。 取り消すときは閉じるキーを押します。

- ※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は何も受け付けら れず、もとの画面にもどります。
- ※ オート値(電源を入れたときに自動的に設定されてい る値)にもどすときは、初期化キーを押します。



### ★ 模様ぬい

例:デザインセレクショングループの模様1

デザインセレクショングループの模様1を選ぶと、刺しゅう枠確認画面が表示されます。
 枠を確認し、OKキー①を押します。
 刺しゅう実行画面が表示されます。

針前進・後進 / ジョグ切りかえキー ② を押し、ジョ グキー ③ を表示させます。

- ② 布の十字マーク④ 中央と針の位置がずれている場合、 ジョグキー③ で十字マーク④ の中央に針の位置がく るように調整します。
- ③ 糸を糸切り / 糸押さえ ⑤ にかけて(123 ページ参照)、 スタート / ストップボタン ⑥ を押します。
   5 ~ 6 針ぬったところでスタート / ストップボタン ⑥ を押し、ミシンを止めます。
   糸切り / 糸押さえ ⑤ にかけた糸 ⑦ をぬい目の近くで 切ります。
- ④ スタート/ストップボタン⑥を再度押します。
   最初の色の部分をぬい終わると、ミシンが自動的に止まります。「トリミングモード」が「基本設定」で、「自動糸切り」が「ON」の場合、自動的に糸が切られます。
   (170~171ページ参照)
   糸を次の色にかえ、再びスタート/ストップボタン⑥を押して次の部分をぬいます。

# 【ぬい上がり】

デザインセレクショングループの模様 1 は、十字マー ク ④ に対して左図のように仕上がります。

# 【ぬい終わりの収納】

ぬい終わったら、刺しゅう枠を外します。 通常ぬいモード/刺しゅうモード切りかえキーを押し、 キャリッジが収納位置(ホームポジション)にもどったら、 キャリッジアームを閉じます。



2 3 4 5





SQ14a:140x140mm

い準備でさました

1 22.22 സെപ

૬િ**રે)(**オ−ト

(H) 40





1



2 3 4 5







〔下糸の見える幅が細い場合〕



# ★ フリンジ模様

フリンジ模様を使って、ぬいあがりの模様を切って、フ リンジ飾りを作ります。

例:「フリンジ」グループの模様4

1 フリンジグループの模様4を選びます。

- 2 通常の刺しゅうぬいと同じようにぬいます。
- 3 ぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外し、刺しゅ う枠から布を取り外します。
- ④ 上糸を図の点線にそって切ります。
- ⑤ 上糸を立たせ、フリンジ飾りを作ります。

# 【フリンジ飾りの別の方法】

1 フリンジグループの模様4を選びます。

- 2 通常の刺しゅうぬいと同じようにぬいます。
- ③ ぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外し、刺しゅ う枠から布を取り外します。
- ④ 下糸を左の図の点線にそって切り、下糸を取り除きま す。
- ※ 下糸の見える幅が細く、切りにくいときは、左図で示 しているような切りやすい下糸(点線部分)だけを切 り、下糸の切り端を引っ張って取り除きます。
- ⑤ 上糸を布の表に引っ張り出し、フリンジ飾りを作りま す。



## ★ アップリケ模様

台布とアップリケ用の布を用意します。 アップリケ模様は、パントリーグループの模様 10、11、 12 とフリンジグループの模様 6、7 です。

**例**:パントリーグループの模様 10 ① パントリーグループの模様 10 を選びます。

- ② アップリケ用の布を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠を ミシンにセットして、1 色目をぬいます。
- 3 1 色目がぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外 します。
- ④ 刺しゅう枠からアップリケ用布を外し、ぬい目にそって切り取ります。
- 5 押さえ上げをあげ、ページキーを押して1色目にもどします。
- ⑥ 台布を刺しゅう枠に張って、ミシンにセットし、台布 に1色目をぬいます。

- ② 台布の1色目がぬい終わった場所に、切っておいた アップリケ布の裏にのりを薄く付けて貼り付けます。
- ⑧ ミシンをスタートして、2 色目からぬっていきます。



## ★ 文字刺しゅう選択画面

文字キーを押すと、ミシンに内蔵されている刺しゅうゴ シック体文字(模様)グループの選択画面が表示されます。

# 【設定キー】

文字(模様)に設定されているぬい条件をお好みのぬい 条件に設定します。

※ 選ばれている文字や設定の状態によっては、使用でき ないキーがあります。

# ① 書体キー

書体グループの選択画面が表示されます。

# ② 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえます。 ※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

# ③ 文字サイズ切りかえキー

文字のサイズを「小」、「中」、「大」から選択します。 (小:10 mm、中:20 mm、大:30 mm)

# ④ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。

# ⑤ 保存キー

組み合わせた文字をミシンや USB メモリに保存します。 (154 ~ 157 ページ参照)

# ⑥ 削除キー

カーソル移動キー⑦ でカーソルを動かし、カーソル上の 文字を削除します。カーソルが最後の文字の右側にある 場合、最後の文字が削除されます。

# ⑦ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた文字(模様)の中から変更したい文字(模様)を選ぶことができます。 (141ページ参照)

# ⑧ 閉じるキー

文字選択画面を閉じます。

# 9 OK **+**-

入力した文字を確認し、刺しゅう実行画面に移動します。

10 ひらがな・カタカナ切りかえキー(明朝体・まるもじのみ) ひらがなとカタカナを切りかえます。

模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

# ① スペース調整キー

スペースを入力してカーソルをスペースに合わせたとき に表示されます。スペース調整キーを押すとスペース調 整画面が表示されます。文字間の間かくが均一でない場 合、「+」、「一」キーで調整します。

- 「+」キーを押すと、間かくが広くなります。
- 「一」キーを押すと、間かくがせまくなります。
- 間かくを変更したあと OK キーを押します。
- 取り消すときは閉じるキーを押します。
- オート値(電源を入れたときに自動的に設定されている 値)にもどすときは、初期化キー [DFT] キーを押します。



#### ★ 文字の組み合わせ

- **例**:明朝体の「横書き」、文字サイズ「中」で**「たま保育園」** をぬう
- 1 書体キーで明朝体グループを選び、文字選択画面を表示させます。
   横書き・縦書き切りかえキー①で「横書き」を、文字サイズ切りかえキー②で「中」を選びます。
   文字「た」を選びます。

カーソル③の位置に文字が挿入されます。

- 次ページキー④で2/7ページを表示させ、文字「ま」 を選びます。
- 次ページキー④で4/7ページを表示させ、文字「保」 を選びます。

- ④ 文字「育」を選びます。
- 5 文字「園」を選びます。
- ⑥ OK キー ⑤ を押すと、メッセージ画面が表示されます。
   OK キー ⑥ を押すと、キャリッジがぬい開始位置に
   移動します。

⑦ 刺しゅう枠確認画面が表示されます。
 枠を確認し、OK キー⑦ を押します。
 刺しゅう実行画面が表示されます。
 ミシンをスタートさせます。

# ★ 文字の色を変更する

ぬう前に色替えキー⑧を押すと、1 文字をぬうごとにミ シンが停止します。 糸を交換して文字の色を変更できます。

たま保育園



## ★ ぬい原点キー

文字のぬい原点は、横書きと縦書きでそれぞれ3種類の ぬい原点から選択できます。

# 【横書きの場合】 ① トップボトム ■ キーを押します。 先頭のぬい原点で下合わせとなります。 ② センターボトム ■ キーを押します。 中央のぬい原点で下合わせとなります。 ③ エンドボトム ■ キーを押します。 最終のぬい原点で下合わせとなります。

# 【縦書きの場合】 ① トップミドル 座 キーを押します。 先頭のぬい原点で中合わせとなります。 ② センターミドル 座 キーを押します。

中央のぬい原点で中合わせとなります。 ③ エンドミドル MM キーを押します。

最終のぬい原点で中合わせとなります。

### 【アルファベット縦書きの場合】 英語などアルファベットの縦書きは、左図のようになり ます。 横書きは明朝体と同じです。





★ ボーダー1と文字の組み合わせ

**例:「 →Duck √** 」をぬう

書体キー①を押し、書体選択画面を表示させます。
 ページキー②で、2/2ページを表示させ、
 「ボーダー1」③を選び、模様選択画面を表示させます。



- 2 再度、書体キー①を押し、ページキー②で、1/2ページを表示させ、「ゴシック」④を選び、文字選択画面を表示させます。
- ③ 文字「D」(大文字/サイズ中)を選びます。
   大文字・小文字切りかえキー⑤を押し、小文字にし、「u」、「c」、「k」を選びます。
   書体キー①を押します。

- ④ 書体選択画面が表示されます。
   ページキー②で、2/2ページを表示させ、
   「ボーダー1」③を選び、模様選択画面を表示させます。
  - 模様 🥑 を選びます。
- 5 OK キー ⑥ を押すと、メッセージ画面が表示されます。
- ⑥ OK キー⑦を押すと、キャリッジがぬい開始位置に 移動します。
- ⑦ 刺しゅう枠確認画面が表示されます。
   枠を確認し、OK キー ⑧ を押します。
   刺しゅう実行画面が表示されます。
   ミシンをスタートさせます。
- ※ ぬう前に色替えキー ⑨ を押すと、1 文字をぬうごと にミシンが停止します。 糸を交換して文字の色を変更できます。





#### ★ 文字の削除・挿入

文字を組み合わせたあとでも、組み合わせた文字の一部 を削除したり、文字を追加したりすることができます。

**文字の削除:**「りんご」の「ご」を削除する

 カーソル移動キー①で修正(削除)する文字「ご」 を選びます。
 カーソル で驚切された文字はまをにかわります。

カーソルで選択された文字は赤色にかわります。

- 2 削除キー ② を押します。
   「ご」が削除されます。
- ※ 最後の文字を削除したい場合、カーソルが最後の文字 の右側にあっても削除されます。

**文字の挿入:**「か」を挿入して、「かりん」にする

③ カーソル移動キー①で挿入したい次の文字「り」に 移動します。

④ ページキー ③ で、1/7 ページを表示させ、「か」を選びます。
 「か」が「り」の前に挿入されます。



# ● 刺しゅう模様の編集

編集画面では、刺しゅう模様を組み合わせたり、ぬい位 置を移動したり、大きさや向きをかえたり、自由に編集 してオリジナルの刺しゅうデザインを作成することがで きます。

刺しゅうモードホーム画面で新規編集キーを押すと編集 画面が表示されます。

※ 初期の状態では刺しゅう枠 RE20a が表示されます。

#### 刺しゅう枠の選択

刺しゅう枠のサイズを選びます。

- 刺しゅう枠選択キー①を押すと、刺しゅう枠選択画 面が表示されます。
- 2 刺しゅう枠のアイコン ② を押し、お好みの刺しゅう 枠を選びます。
   編集画面が表示されます。
- ※ 選択した刺しゅう枠のサイズより大きい刺しゅう模様 は選べません。

**刺しゅうデザインの呼び出し** 編集画面では、内蔵の刺しゅう模様、文字、USB メモリ に保存した刺しゅう模様を開くことができます。 内蔵の刺しゅう模様・文字を選ぶ場合は、ホームキー① を押し、刺しゅうモードホーム画面を開きます。 内蔵模様キー② か文字キー③ を押します。 (189 ~ 193 ページ参照)

※ USB メモリに保存した模様を開く場合、ファイルオー プンキー ④ を押します。(160 ~ 161 ページ参照)




#### 刺しゅう編集画面

模様(編集)に設定されているぬい条件をお好みの条件 に変更します。

編集ツールバーには以下の編集キーが含まれています。 設定切りかえキー ② を押し、編集ツールの表示を切りか えます。

- ※ 選ばれている模様や設定の状態によっては、使用でき ないキーがあります。
- ① ジョグキー (143ページ参照)
- ② 設定切りかえキー
- ③ 編集画面移動キー(144 ページ参照)
- ④ ズームキー (144 ページ参照)
- ⑤ 刺しゅう枠選択キー(142ページ参照)
- ⑥ 拡大・縮小キー(144 ページ参照)
- ⑦ コピーキー (145 ページ参照)
- ⑧ 削除キー(145ページ参照)
- ⑨回転キー(146ページ参照)
- 10 反転キー(146ページ参照)
- ① アークキー (147 ページ参照)
- 12 グループキー(148 ページ参照)
- (13)保存キー(149ページ参照)
- (4) 模様色·背景色設定キー(149~150ページ参照)
- 15 同色まとめキー(151 ページ参照)
- 16 ぬい順序変更キー(152ページ参照)

#### ★ 編集する模様の選択

編集画面で編集したい模様を押します。 選択された模様は、緑色の四角枠 ① で囲まれます。

#### ★ 模様を移動する

#### 【タッチペンか指を使う】

動かしたい模様をタッチペンか指で押しながら、動かしたい位置までそのまま移動します。

※ 先端のとがったもので画面を押さないでください。 故障の原因となります。

#### 【ジョグキーを使う】

選択した模様を、ジョグキー ② で動かすこともできます。 ジョグキー ② を押し、模様を移動したい場所に動かしま す。

※ 模様を移動してもキャリッジは移動しません。



### ★ 編集画面を拡大する

ズームキー(+)①を押すと、編集画面が拡大した画面になります。拡大画面でズームキー(-)②を押すともとの画面表示にもどります。

拡大画面時、大きな模様や編集画面上の端にレイアウト した模様は、画面上に表示しきれない場合があります。 そのようなときは、編集画面移動キー③を押しキーを黄 色の状態にして、画面にタッチペンか指で直接ふれて画 面を移動させることができます。

編集画面移動キー③を再度押すと画面移動機能がオフに なります。



#### ★ 模様の大きさを変更する

- 拡大または縮小する模様を押します。
   選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
   拡大・縮小キー①を押し、拡大・縮小画面を表示させます。
- ②「+」キー②を押して、拡大します。
   「-」キー③を押して、縮小します。
   選択した模様のサイズを 80 %~ 120 %の範囲で 1 %ずつ変更できます。
   OK キー⑤を押してサイズを変更します。
- ※「+」、「-」キーを長押しすると、サイズを変更する 速度が速くなります。
- ※ 変更した模様の大きさはパーセンテージ ④ で表示されます。
- ※ 閉じるキー ⑥ を押すと、変更しないでもとの画面に もどります。
- ※ 拡大すると枠の範囲をこえてしまう模様の場合、 120 %まで拡大できません。



#### ★ 模様をコピーする

- コピーする模様を押します。
   選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
   コピーキー①を押し、選択した模様をコピーします。
- 2 コピーされた模様はもとの模様の上に重ねて置かれます。

指またはタッチペン、ジョグキーなどで移動します。

#### ★ 模様を削除する

- 削除する模様を押します。
   選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
- 2 削除キー①を押し、選択した模様を削除します。







#### ★ 模様を回転させる

1 回転させる模様を押します。

選択した模様が緑色の枠で囲まれます。

設定切りかえキー ① を押し、編集ツールの次のセットを表示させます。

回転キー②を押し、回転画面を表示させます。

2 12 キー③を押すと、選択した模様が1°時計回りに回転します。

▲1 キー④を押すと、選択した模様が1°反時計回りに回転します。

**452** キー ⑤ を押すと、選択した模様が 45° 時計回 りに回転します。

**\$45** キー⑥を押すと、選択した模様が 45° 反時計 回りに回転します。

回転させた模様の角度が表示⑦ されます。 OK キー⑧ を押し、角度を変更します。

※ 閉じるキー ⑨ を押すと、変更しないでもとの画面に もどります。

#### ★ 模様を反転させる

- 日 反転させる模様を押します。
   選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
   反転キー①を押し、反転画面を表示させます。
- ② 上下反転キー
   ② を押すと、選択した模様が上下に反転します。

③ 左右反転キー ③ ③ を押すと、選択した模様が左右 に反転します。

OK キー ④ を押します。

※ 閉じるキー ⑤ を押すと、変更しないでもとの画面に もどります。

1 (文字選択画面:ゴシック体) ************************************	<ul> <li>★ 文字を円</li> <li>文字を入力:</li> <li>す。編集モーできます。</li> <li>例:FLY/ゴ</li> <li>① ホームキ 力し、OI</li> </ul>
	<ol> <li>入力した アークキ す。</li> </ol>
<image/>	③ 上す 下ま 文く 文か OK じどりま 下ま すん ひん じどう ひん じどうま ひん ひりま ひん しょう ひん いい ひん しょう ひん ひん しょう ひん ひん しょう しん ひん しん しょう

★ 文字を円弧(アーク)状に配置する 文字を入力すると、編集画面にアークキーが表示されます。編集モードでは上向きアークと下向きアークを作成できます。

例:FLY/ゴシック体 / 文字サイズ中

 ホームキー①を押して、文字選択画面から文字を入 力し、OK キー②を押します。

2 入力した文字が編集画面に表示されます。

アークキー ② を押し、アーク編集画面を表示させま す。

上向きアークキー ③ を押すと、上向き円弧を作成します。
 下向きアークキー ④ を押すと、下向き円弧を作成し、

下向きアークキー ④ を押すと、下向き円弧を作成し ます。

文字間かくキー(広くする)⑤ を押すと、文字間か くが広くなります。

文字間かくキー(せまくする)⑥ を押すと、文字間 かくがせまくなります。

OK キー⑦ を押します。

※ 閉じるキー ⑧ を押すと、変更しないでもとの画面に もどります。



#### ★ 模様のグループ化

編集画面の模様全部または、選んだ模様だけをグループ 化してコピー、削除、移動することができます。 ※ グループキーは、複数の模様がある場合に表示されま

- ※ クルーノキーは、復致の模様がめる場合に衣示されます。 す。
- 設定切りかえキー①を押し、グループキー②を表示 させます。
   グループキー②を押し、グループ選択画面を表示さ せます。

#### 【グループ個別選択キー】

グループ個別選択キー ③ は、複数の模様を 1 つのグルー プにすることができます。

- ② グループにしたい模様を押します。
   選択された模様は、緑色の四角枠が表示されます。
   OK キー ④ を押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもど ります。
- ③ グループ編集画面になります。
   グループ化した模様はコピーキー ⑤ や削除キー ⑥ を
   使用し1つのグループとして移動、コピー、削除がで
   きます。

編集作業が終わったら、グループキー⑦を押します。

※ グループにしなかった模様は、グレーで表示され選択 できなくなります。

## 【グループ全体選択キー】

グループ全体選択キー ⑧ は、模様全体を 1 つのグループ にすることができます。

- ④ グループ全体選択キー ⑧ を押すと、各模様に緑色の
   四角枠が表示されます。
   OK キー ④ を押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもど ります。
- 5 グループ編集画面になり、模様全体に緑色の四角枠が 表示されます。

グループ化した模様はコピーキー ⑤ や削除キー ⑥ を 使用し 1 つのグループとして移動、コピー、削除がで きます。

編集作業が終わったら、グループキー⑦を押します。





## ★ データを保存する

編集した模様をミシン本体や USB メモリに保存するとき に保存キー①を使います。(154~157ページ参照)

#### ★ 模様や背景の色を変更する

編集画面の背景色と模様の色(糸色)を変更して、実際 にぬう布と糸の色で編集イメージをつくることができま す。

#### 【模様色の変更】

- 1 模様色・背景色設定キー①を押すと、模様色設定画 面(模様色変更)が表示されます。

   模様色(糸色)の変更ができます。
- ※ 実際にぬう糸の色で編集イメージがわかります。
- ② 模様色変更キー ② を押し、模様切りかえキー ③ で色 をかえたい部分を選びます。
   12個のカラーパレット ④ からお好みの色を選びます。
- ③ 選択した色の明るさを変更する場合、次ページ キー⑥、前ページキー⑦を押すか、スライダー⑤ を右または左へ移動させます。
- ④ ネームキー ⑧ を押すと、新規名称画面が表示されます。新しい名前が付けられます。
   新規名称画面で名前を入力し、OK キー ⑨ を押します。
- ※ 20 文字まで入力可能です。入力の変更は削除キー ⑩ を押します。
- ⑤ 模様色・背景色設定画面で OK キー ① を押します。
   糸色のコードと名前の代わりに、新しく付けた名前が 刺しゅう実行画面に表示されます。
- ※ 閉じるキー <sup>1</sup>2 を押すと、変更しないでもとの画面に もどります。



# 【背景色の変更】

1 背景色を変更したい場合、背景色変更キー①を押し ます。背景色設定画面が表示されます。

- 2 12個のカラーパレット②からお好みの色を選びます。
   選択した色の明るさを変更する場合、次ページキー⑤、
   前ページキー④を押すか、スライダー③を右または
   左へ移動させます。
- ※ 閉じるキー ⑥ を押すと、変更しないでもとの画面に もどります。
- ③ OK キー⑦を押します。
   背景色が変更され、編集画面にもどります。
- ※ 初期の状態(白い背景色)にもどす場合、初期化 キー⑧を押して、OK キー⑦を押します。
- ※ JPX フォーマット(背景画像)のファイルを開くとき は、背景イメージキー ⑨ を押します。
- ※ 模様色の変更にもどる場合、模様色変更キー <sup>(1)</sup> を押 します。







#### ★ ぬい順序を変更する

組み合わせた模様のぬい順序を変更できます。

- 1 ぬい順序変更キー①を押すと、ぬい順序変更画面が 表示されます。
- 2 ぬいたい順番に模様を押していきます。

再度、ぬい順序変更キー ① を押すと、前の画面にも どります。

## ● フリーアーム刺しゅう枠(FA10a)の使い方

刺しゅう枠 FA10a は、そでやパンツなど、円筒状の布に 特化した刺しゅう枠です。 開き口(そで口)の長さを確認してください。

開き口(そと口)の長さを確認してくたさい。 開き口の幅は 20 cm 以上であることが条件です。 刺しゅう可能な範囲は、開き口から 20 cm 以内です。

#### 開き口:

開き口の幅が 20 cm ~ 25 cm の場合、刺しゅう枠を動か せる範囲がせまいため、刺しゅうできる範囲が限定され ます。

**例:**デザインコレクション模様 41

1 布の刺しゅう位置に十字線(マーク)を描きます。

- 2 編集画面から刺しゅう枠選択キー①で刺しゅう枠 (FA10a)③を選びます。
   ホームキー②を押し、刺しゅうモードホーム画面を 開きます。
- 3 内蔵模様キー④を押し、模様(デザインコレクションの模様 41)を選びます。



④ 編集画面の刺しゅう範囲設定キー⑤を押し、刺しゅう範囲設定画面を表示させます。

「+」もしくは「-」キー ⑥ を押し、開き口の長さを 入力します。

刺しゅう範囲設定画面で OK キー ⑦ を押します。

閉じるキー ⑧ を押すと、変更しないでもとの画面に もどります。

※ 開き口の長さを 25 cm 未満に設定すると、刺しゅう 設定の「トリミングモード」を「上級設定」にして、 カスタマイズで「渡り糸の糸切り長さ」を「OFF」以 外に設定(170~171ページ参照)している場合で も、渡り糸の自動糸切りは無効となります。 ミシンをスタートさせると、以下のメッセージ画面が 表示されます。

〔メッセージ画面〕 <u>
承</u> 渡り糸の糸切りは煮効になります。

 ⑤ 編集画面で編集を行い、OK キー ⑨ を押すと、確認 画面が表示されます。
 確認画面の OK キー ⑩ を押すと、刺しゅう実行画面 が表示されます。

- ⑥ 図のようにフリーアーム刺しゅう枠(FA10a)の外枠 を筒の中に入れ、内枠にテンプレートを入れます。
   手順①で布に描いた十字線(マーク)とテンプレートの基準線を合わせ、刺しゅう枠(FA10a)に布を張ります。
- ⑦ 補助テーブルを取り外します。
   刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。
   (123 ページ参照)
   そでや、すその部分が刺しゅう枠の動きをじゃましないように、布の先はまくりあげてください。
   ぬい終わったら、刺しゅう枠をキャリッジから外し、
   布をフリーアームから外します。
- ※ 布が刺しゅう枠の中に入り込む場合、外枠の端にある 布端押さえ ① を内枠に立てます。
- ※ 刺しゅうをしているとき、刺しゅう枠の動きを布が妨 げないように注意してください。



# ◎模様データの保存・呼び出し

通常ぬいで組み合わせた模様データや刺しゅうの編集機 能などで作成した模様データをミシンや USB メモリに保 存し(ファイルセーブ)、いつでも呼び出して(ファイル オープン)ぬうことができます。

- ※ 問題が起きたときのため、常に外部メディアにデータ を保存してください。
- ※本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。USB メモリが読み込 めない場合は、ファイルシステムを確認してください。 (183~184 ページ参照)
- ※ USB カードリーダーおよび USB ハブは使用しないで ください。



ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中(転送中)に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。 データが破損するおそれがあります。

## ● 模様データの保存

通常ぬいと刺しゅうの模様データの保存方法は同じです。 通常ぬいの場合、飾りぬいの模様組み合わせモードおよ び文字ぬい時にデータを保存できます。

刺しゅうの場合、文字ぬいおよび編集機能使用中にデー タを保存できます。

## 【ミシンの内蔵メモリに保存する】(通常ぬいの例)

- 保存キーを押すと、「ファイルを保存」画面が表示されます。
- ミシンに用意されているフォルダーに保存する場合、
   「ファイルを保存」画面の Cond を押します。
- ※ 新しいフォルダーを作成して保存する場合、156 ページの「【新規フォルダーの作成】(通常ぬいの例)」をごらんください。
- ※ 手順 ② や ③ の画面で、フォルダーやファイルが 1 画 面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ペー ジキーで次のページ(画面)を確認できます。







## 【名称変更キーの使い方】(通常ぬいの例)

名称変更キーは、すでに作成されているフォルダーの名前の書きかえや、ミシンに用意されているファイル名 「M\_001」などを使わずに、お好みのファイル名を付けて 保存するときに使います。

## 作成されているフォルダーの名前を変更する場合

「ファイルを保存」画面で名称変更キーを押し、キー の表示を黄色にかえます。 名前を変更したいフォルダー(例では「MOYOU – 1」) を選びます。

- ※ キーの色が黄色の状態でフォルダーの名前を変更する ことができます。
- ②「新規名称」画面が表示されます。
   新しい名前を入力し、OK キーを押します。
   (例では「ST 10」)
- ※ 名前の入力方法は、156 ページ「【新規フォルダーの 作成】(通常ぬいの例)」の手順 1 をごらんください。
- ③ 再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダー 名が「ST - 10」に変更されています。

## ファイルにお好みの名前を付けて保存する場合

- 例えば 155 ページ「【ミシンの内蔵メモリに保存する】 (通常ぬいの例)」の手順3の「Ordf」画面のファイ ル名「M\_001」をお好みのファイル名に書きかえる場 合、「Ordf」画面の名称変更キーを押して「新規名称 画面」を表示させます。
- ② 文字キーでお好みの名前(8文字以内)を付けて OK キーを押します。(例では「ABC」)
- ※ 名前の入力方法は、156 ページ「【新規フォルダーの 作成】(通常ぬいの例)」の手順 1 をごらんください。
- ③ 再度「Ordf」画面が表示され、ファイル名が「ABC」
   に書きかえられているので、OK キーを押すとファイル名「ABC」で保存することができます。



### ● 模様データの呼び出し

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存した組み合わせ 模様や刺しゅう模様を呼び出すことができます。

- ※ 本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。USB メモリが読み込 めない場合は、ファイルシステムを確認してください。 (183 ~ 184 ページ参照)
- ※ USB カードリーダーおよび USB ハブは使用しないで ください。

# <u> 注</u>意

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中(転送中)に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。 データが破損するおそれがあります。

## ★ 通常ぬい

## 【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

- 通常ぬいの状態でファイルオープンキーを押すと、
   「ファイルを開く」画面が表示されます。
- ②「ファイルを開く」画面のフォルダーの中から呼び出したいファイル(模様データ)が入っているフォルダーを押します。
   (例では Pordf ))
- ※ フォルダーが1画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページ(画面)を確認できます。
- ※「Ordf」フォルダー以外のフォルダーを作成した場合、 作成したフォルダーも表示されます。
- ※ 新規フォルダーの作成、フォルダー名の変更方法については、156~157ページをごらんください。
- ③「Ordf」画面のファイルの中から呼び出したいファイル(模様データ)を押すと、模様データを保存したときと同じ状態の模様選択画面が表示され、ぬうことができます。
- ※ ファイルが1画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページ(画面)を確認できます。

ー覧表示キー【A】、【B】で、ファイルのリストの一 覧表示のレイアウトを変更できます。

- ※ 一覧表示キー【B】 📄 が選択されている場合、ファ

イルが1列で表示され、1ページに5個のファイルが 表示できます。





アイコン	内容	
名称変更キー	すでに名前の付いているフォルダー名や ファイル名を変更します。 (157 ページ参照)	
<b>)</b>	フォルダーやファイルを削除します。	
削除キー	(159 ページ参照)	
<b>す</b>	新しいフォルダーを作成します。	
新規フォルダーキー	(156 ページ参照)	

USB メモリから呼び出す場合
USB メモリに保存されている模様データを呼び出す
場合、ミシン右側の USB 差し込み口に USB メモリ
を差し込み、「ファイルを開く」 画面の USB メモリ
■●●●●を選び、キーの色を黄色にかえます。
※ データの呼び出し方法は、158ページ【ミシンの
内蔵メモリから呼び出す】と同じです。

## 【ファイル・フォルダーの削除】

不要になったファイルやフォルダーを削除できます。

## フォルダーの削除

- ファイルを開く」画面で削除キーを押し、キーの表示を黄色にかえます。
- ※ キーの色が黄色の状態でフォルダーを削除することが できます。
   削除したいフォルダー(例では「MOYOU – 1」)を 選びます。
- メッセージ画面が表示されます。
   OK キーを押して削除します。「MOYOU 1」フォル ダーが削除され、「ファイルを開く」画面にもどります。

## ファイルの削除

- 1「ファイルを開く (Ordf)」画面で削除キーを押し、キー の表示を黄色にかえます。
- ※ キーの色が黄色の状態でファイルを削除することができます。

削除したいファイル(例では「M\_001」)を選びます。

メッセージ画面が表示されます。

OK キーを押して削除します。「M\_001」ファイルが 削除され、「ファイルを開く (Ordf)」 画面にもどります。

アイコン	内容	
	ミシンの内蔵メモリからデータを呼び出 すときに選びます。	
	USB メモリからデータを呼び出すときに 選びます。	

※「名称変更キー」、「新規フォルダーキー」の使い方は、 模様データの保存の場合と同じです。





3	選んだフォルダー内のファイルのリストが表示されま
	す。

呼び出したいファイル(模様データ)を押すと、模様 データを保存したときと同じ状態の刺しゅう実行画面 が表示され、ぬうことができます。

※ リストの一覧表示のレイアウトは、初期設定では一覧

表示キー【A】 **闘** となっています。

この表示は3列でファイルを表示できますが、ファイルの形式(下記「ファイルの形式」参照)は表示されません。(1ページ3列9個のファイルを表示可能)

※ 一覧表示キー【B】 🔡 が選択されている場合、ファ

イルが2列で表示され、ファイルの形式も表示されま す。(1ページ6個のファイルを表示可能)

※ 一覧表示キー【C】 🚍 が選択されている場合、ファ

イルが1列で表示され、ファイルの形式も表示されま す。(1ページ3個のファイルを表示可能) ファイル名が最大2行で表示されるので、パソコン などで付けた長いファイル名を表示するときに便利で す。

## ★ ファイルの形式

ファイルには以下の4つの形式があります。

形式	内容	
	模様データが、編集画面上で 1 つの模様と して扱われるファイル	
•+	複数の模様を組み合わせて保存されている 模様データが、編集画面上で複数の模様と して扱われるファイル	
<b>Ø</b> JPX	背景画像付きで作成されたファイル	
۴E	フリーアーム刺しゅうフォーマット	

#### USB メモリから呼び出す場合

USB メモリに保存されている刺しゅうデータを呼び出 す場合、ミシン右側の USB 差し込み口に USB メモリ を差し込み、「ファイルを開く」 画面の USB メモリ

■ を選び、キーの色を黄色にかえます。

※ データの呼び出し方法は、160ページ「【ミシンの 内蔵メモリから呼び出す】」と同じです。



#### 〔共通設定画面〕(1/4ページ) 共通設定(1/4) 画面のコントラスト (1)-+ 音量 2 н インチ/ミリ セットキー SEŤ 3inch -OK +--Ĩ ОК × 閉じるキー 次ページ +-

# ◎ミシンの設定

## ● ミシン設定モード

セットキー①を押し、ミシンの設定を変更します。 ミシンを初期状態(購入時の設定状態)からお好みの状 態に設定することができます。 ミシン設定のモードを下記4つのキーから選びます。

#### ② 共通設定キー

通常ぬいと刺しゅう共通の設定画面を表示させます。 (162~165ページ参照)

#### ③ 通常ぬい設定キー

通常ぬい専用のミシン設定画面を表示させます。 (165 ~ 168 ページ参照)

#### ④ 刺しゅうぬい設定キー

刺しゅう専用のミシン設定画面を表示させます。 (168 ~ 173 ページ参照)

#### ⑤ 言語設定キー

言語設定画面を表示させます。 画面に表示される言語を設定します。(173ページ参照)

各設定画面でページを移るには、次ページキー⑥か、前 ページキー⑦を押します。

#### 設定の登録

設定を変更した場合、OK キー ⑧ を押して新しい設定を 適用します。 閉じるキー ⑨ を押すと、変更がキャンセルとなり、設定 画面が終了します。

## ● 共通設定

セットキーを押すと共通設定画面が表示されます。4つのページ(画面)に分かれていて、10項目の通常ぬいと刺しゅうの共通項目の設定ができます。

設定を変更した場合、OK キーを押して新しい設定を適用します。閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、 設定画面が終了します。

#### ① 画面のコントラスト

画面のコントラストを「+」、「-」キーで調節します。

 <sup>2</sup> 音量

キーを操作したときに鳴るブザーの音量を「+」、「-」 キーで調節します。

〈0 (消音)・1~5の6段階、初期値:3〉

③ インチ/ミリ

画面に表示される数値の単位(インチ / ミリ)を切りか えます。

#### 〈初期設定:mm〉

※ 布ガイド設定時の布ガイドの位置を示す数値や刺しゅうの大きさを示す数値など、画面に単位の「mm」または「inch」が表示されているものが切りかわります。 調節画面のぬい目の幅やあらさの数値はかわりません。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。





#### ④ 待機時間

電源を入れたままミシンを使用しない状態が続いた場合、 一定時間が経過するとミシンのランプや画面表示が消え、 ミシンは省エネモードとなります。省エネモードに入る までの時間を設定します。

<1~30分および OFF(なし)、初期値:10分>

- ※ 省エネモード中、画面や操作ボタンにさわるともとの 画面にもどり、ミシンのランプも点灯します。
- ※「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「+」キーを押します。

#### ⑤ キーの位置調整

画面上のキー表示の位置と実際のキーの位置がずれていて、押しても反応しない場合などに調整します。

調整する場合、画面 YES キーを押し調整モードに入り ます。

付属のタッチペンで「+」の中心を押します。 押すと、次の画面に切りかわるので、順番に(A)~(D)

の画面の「+」の中心を押します。

(E)の画面は、ページキー中央の下側を押します。

(E)の画面が終了すると(F)の画面が数秒表示され、 共通設定画面にもどります。





## ⑦ 上糸切れ検知

ぬい途中に上糸が切れた場合、切れたことを知らせてミ シンを停止する上糸切れ検知機能の設定をします。 上糸切れ検知あり(「ON」)、なし(「OFF」)を設定します。 上糸をかけずにミシンを動かしたいときは「OFF」に設 定してください。

#### 〈初期設定:ON〉

- ※ 通常は、「ON」に設定してください。途中で上糸が切 れてしまったあとの無駄なぬいを防ぎます。
- ⑧ ミシンランプ

3カ所のランプのキーを押し、オンとオフを設定できます。 〈初期設定:3カ所ともオン〉

画面の YES キーを押すとミシンランプ設定画面が表示

されます。 💡 キーを押して ON/OFF を変更し、OK キー

を押すと共通設定画面にもどります。

※ 共通設定画面の OK キーが押されるまで確定はされま せん。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。





#### ⑨ 背景色

画面の背景色を3つのパターンから設定します。〈初期設定:黒色〉

#### 10 すべて初期状態にもどす

通常ぬいと刺しゅうの共通項目、通常ぬい専用項目、刺 しゅう専用項目で設定したすべての内容を初期の状態(購 入時の設定状態)にもどすことができます。

ただし、言語設定はもどりません。

初期の状態にもどす場合、画面の YES キーを押し、続

けて OK キーを押します。

言語の設定を除く変更したすべての内容が初期の状態に もどり、セットキーを押す前の画面にもどります。

設定変更後は、共通設定画面の OK キーを押し、新しい 設定を適用します。

閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画 面が終了します。

#### ● 通常ぬい設定

4 つのページ(画面)に分かれていて、9 項目の通常ぬ い専用項目の設定ができます。

セットキーを押し、通常ぬい設定キーを押します。 設定を変更した場合、OK キーを押して新しい設定を適 用します。閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとな り、設定画面が終了します。

#### ① 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子になるよう自動で設定されますが、自動で設定される値(オート値)をすべての模様に対して全体的に強くしたり(+)、弱くしたり(-)できます。

#### 〈Auto – 5 ~ Auto + 5 の 11 段階、初期値:Auto〉

#### ② 下糸残量

下糸の残量が少なくなった場合に検出して知らせる機能 です。数値が大きいほど、早め(下糸残量が多いとき) に検出されます。「+」/「-」キーで設定します。

#### 〈OFF (なし)、0.5、1~4の6段階、初期値:2〉

※「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「-」キーを押します。

#### ③ 針停止位置

#### 9。(**[]]]**·下位置停止、**[]]**·工位[ **〈初期設定:下位置停止〉**

※ 下位置停止に設定されている場合は、ミシンの針停止 位置設定ランプが点灯します。

上位置停止に設定されている場合は、針停止位置設定 ランプが消えます。



### ④ スロースタート調節

ミシンをスタートさせたとき、ぬい始めの速度はゆっくり動きはじめてから、徐々にスピードコントロールつまみで設定した速さになります。

ぬい始めの速度を 🕨 (普通)、 🕨 (やや速め)、

▶ (速い)の3段階に変更することができます。

上段はスタート/ストップボタン使用時、下段はフット コントローラー使用時の調節ができます。

〈初期設定: ▶ (普通)〉

#### ⑤ 布ガイド 初期位置調整

- ※ 布ガイドの初期位置を調整するには、刺しゅうユニットをミシンに取り付けます。(116ページ参照)
- ※ 布ガイドの設定方法は、37 ~ 38 ページの「布ガ イド設定キー」をごらんください。

布ガイドの位置(中針位置からの距離)を示す数値に対して、移動する布ガイドの実際の位置を調整する(少しずらす)ことができます。

YES キーを押すとメッセージ画面【A】が表示されます。

OK キーを押すと初期位置調整画面が表示され、キャリッジが初期位置(中針位置から15 mmの位置)に移動します。

▲ キーか、 トーを押して布ガイドの初期位置を 調整します。

OK キーを押すと調整量が決定され、布ガイドのすべての位置でこの調整量が適用されます。

※ 通常ぬい設定画面の OK キーが押されるまで確定はさ れません。

画面に、キャリッジが収納位置にもどることを示すメッセージ画面【B】が表示されます。メッセージ画面の OK キーを押すと、通常ぬい設定画面にもどります。

通常ぬい設定画面で OK キーを押し調整量を確定します。

※ 初期の状態(購入時の設定状態)にもどす場合、初期 位置調整画面で初期化キーを押し、OK キーを押して ください。

#### ⑥ 布ガイド 位置記憶

布ガイドを設定したとき、通常はキャリッジが布ガイド の初期位置 15 mm に移動しますが、布ガイドの位置記憶 を「ON」にすると、この位置を前回最後に使用した位置 にすることができます。

#### 〈初期設定:OFF〉

※ 布ガイドの設定方法は、37 ~ 38 ページの「布ガ イド設定キー」をごらんください。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。



#### ⑦ 通常ぬいオートストップ時の糸切り

「ON」に設定すると、ぬい終わったあと糸切りボタンを 押さなくても自動で糸を切ることができます。

#### 〈初期設定:OFF〉

※「ON」に設定すると、ボタンホールグループの模様および文字ぬいなど、模様の最後にほつれ止めの止めぬいが入っていて、ぬい終わると自動的にミシンが停止する模様は、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。 その他の模様も、止めぬいボタンまたは返しぬいボタ

その他の模様も、止めぬいホタノまたは返しぬいホタ ンでぬい終わりに止めぬいを入れてミシンを停止した場 合、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。

※ 通常ぬいオートストップ時の糸切りが「ON」に設定 されている場合、ミシンの糸切りランプが点灯してい ます。

#### ⑧ ステッチの調整値を保存

模様を選ぶと、模様のぬい目の幅やあらさ、糸調子など はオート値(電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定 されている値)に設定されますが、本項目を「ON」に設 定すると、オート値を模様ごとにお好みの値に変更して 保存できます。(36ページ「じつようぬいの調整値の 保存(お好みステッチ調整)」参照)

オート値をお好みの値に変更し保存すると、その模様を 選ぶだけで、設定した値でぬうことができます。

#### 〈初期設定:OFF〉

- ※ 本項目は、文字ぬい、ユーザー作成模様以外の通常ぬ いに適用されます。
- ※ 全模様のステッチ調整値を一括で削除する場合は、削

※オート値をお好みの値に記憶して本項目を「OFF」に 設定すると、変更した全模様のオート値は初期の状態 (購入時の設定状態)にもどります。 ただし、変更したオート値は記憶されているので、再 度本項目を「ON」に設定すると、変更したオート値 にもどすことができます。





#### ⑨ お好み記憶モード

「ON」に設定すると、電源スイッチを入れたとき、前回 最後にぬっていた模様の画面が表示され、ぬい目の幅や あらさ、糸調子などの設定値も前回と同じ条件でぬうこ とができます。

#### 〈初期設定:OFF〉

- ※「ON」に設定し電源スイッチを入れると、メッセージ 画面が表示されます。
- ※ メッセージ画面の OK キーを押すと前回最後にぬって いた模様の画面になります。

設定変更後は、通常ぬい設定画面の OK キーを押し、新しい設定を適用します。

閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画 面が終了します。

#### ● 刺しゅうぬい設定

6 つのページ(画面)に分かれていて、13 項目の刺しゅ う専用項目の設定ができます。

セットキーを押し、刺しゅうぬい設定キーを押します。 設定を変更した場合、OK キーを押して新しい設定を適 用します。

閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画 面が終了します。

#### ① 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子にな るよう自動で設定されますが、自動で設定される値(オー ト値)をすべての模様に対して全体的に強くしたり(+)、 弱くしたり(-)できます。

〈Auto – 5 ~ Auto + 5 の 11 段階、初期値:Auto〉

#### ② 下糸残量

下糸の残量が少なくなった場合に検出して知らせる機能 です。数値が大きいほど、早め(下糸残量が多いとき) に検出されます。「+」/「-」キーで設定します。

〈OFF (なし)、0.5、1~4の6段階、初期値:2〉
※「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「-」キーを押します。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。



〔ぬい開始1針停止「ON」時のメッセージ画面〕







〔枠確認のためのメッセージ画面〕



#### ③ 最高ぬい速度

刺しゅう時のぬい速度は、ぬい目によって変化しますが、 その中の最高速度を設定できます。「+」、「-」キーで設 定します。

#### 〈400 spm ~ 800 spm(100 刻み)の 5 段階、 初期値:600 spm〉

- ※ 最高ぬい速度の値は、スピードコントロールつまみの 位置がいちばん右側の最高速になっている場合の値で す。ぬい速度を遅くする場合、スピードコントロール つまみで調整できます。
- ※ ぬい速度を遅くした方が、刺しゅうはきれいに仕上が ります。

#### ④ ぬい開始1針停止

ぬい開始1針停止を「ON」に設定すると、ぬい始めや 色替え後のぬい始め、および上糸切れ検出後のぬい始め にミシンをスタートさせたとき、ミシンは自動的に1針 ぬって停止し、メッセージ画面が表示されます。

#### 〈初期設定:OFF〉

※ ぬい開始1針停止は、1針ぬってミシンを停止後に、 上糸を上に引いて下糸を布の上に引き出すことで、 下糸を布の裏側にぬい込まないようにするための機能 です。

#### ⑤ 連続レイヤー自動色まとめ

連続レイヤー自動色まとめを「OFF」に設定すると、外部で作成された刺しゅうデータで刺しゅうする場合、データ上に同色で異なるブロック(レイヤー)が連続しているとき、グループ化しないで色替えのためにミシンを停止させることができます。

#### 〈初期設定:ON〉

※「ON」に設定されている場合はグループ化され、同一 グループ(同色)として、ミシンは色替え停止しません。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

#### ⑥ 枠種確認メッセージ

枠種確認メッセージを「OFF」に設定すると、模様を選 択して刺しゅう実行画面にかわるときに表示される枠確 認のメッセージ画面が表示されなくなります。

#### 〈初期設定:ON〉



## ⑦ 刺しゅう枠の中心位置調整 刺しゅう枠の中心位置を調整できます。 調整を行うと模様を正確な位置に刺しゅうできます。

※ 枠の種類ごとに調整が必要です。

刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。 テンプレートを刺しゅう枠にセットします。

調整を行う場合、YES キーを押します。

刺しゅう枠位置調整画面が表示され、キャリッジが中央 に移動します。

キーを押して刺しゅう枠選択画面を表示させ、調整したい枠を選びます。

刺しゅう枠選択画面で刺しゅう枠を選ぶと、再度刺しゅ う枠位置調整画面にもどります。画面の上部には、調整 する枠の種類が表示されています。

ジョグキーを押して枠を上下左右に移動させ、テンプレートの中心を針に合わせます。

OK キーを押すと調整量が決定され、刺しゅうぬい設定 画面にもどります。

刺しゅうぬい設定画面の OK キーを押します。

- ※ 刺しゅうぬい設定画面の OK キーが押されるまで確定 はされません。
- ※ 初期の状態(購入時の設定状態)にもどす場合は、刺しゅう枠位置調整画面で、初期化キーを押してから OK キーを押し、刺しゅうぬい設定画面で OK キーを 押してください。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

## ⑧ トリミングモード

自動糸切りに関する設定を行います。

基本設定または上級設定を選択でき、上級設定を選ぶと、 渡り糸の自動糸切りの設定、色替えおよび、ぬい終了時 の自動糸切りに関する設定をカスタマイズ(お好み設定) できます。

#### 〈初期設定:基本設定〉

※ カスタマイズする場合は、上級設定画面の カスタマイズ キーを押して、カスタマイズ画面を表示させ、次ページ(1)~(3)の設定を行います。



〔刺しゅうぬい設定画面〕 (4/6 ページ)



## (1) 渡り糸の糸切り長さ

渡り糸の糸切り長さ(渡り糸の間かくが何 mm 以上の場 合に行うかの数値)を設定することができます。 「OFF」に設定すると渡り糸の自動糸切りを行いません。

「+」、「-」キーで設定します。

<3 mm ~ 30 mm の 8 段階および OFF、初期値:3 mm>

## (2) 色替え / ぬい終了時の糸切り

色替えおよびぬい終了時の自動糸切りを行う(「ON」)か、 行わない(「OFF」)かを設定することができます。

#### 〈初期設定:ON〉

#### (3) 糸切りコマンド

外部で作成された刺しゅうデータの糸切りコマンドに対応する(「ON」)、しない(「OFF」)を設定することができます。

「ON」に設定すると、外部から読み込んだぬいデータ内 に自動糸切りコマンドがある場合に糸を自動的に切りま す。

#### 〈初期設定:OFF〉

OK キーを押すと、上級設定画面にもどります。

※ 上級設定画面にカスタマイズ画面で設定した内容が表示されます。この内容でよければ OK キーを押してください。

#### ⑨ 自動糸切り

トリミングモード®で、「基本設定」を選択すると、色替えおよびぬい終了時の自動糸切りを行う(ON)か、行わない(OFF)かを設定することができます。

#### 〈初期設定:ON〉

- ※ 渡り糸(同色で、はなれた場所につながっている糸) の自動糸切りは行いません。
- ※ ⑧ または ⑨ で色替えおよびぬい終了時の自動糸切り が「ON」に設定されているか、または渡り糸の自動 糸切りが行うように設定されている場合、ミシンの糸 切りランプが点灯します。



次ページキーを押して、次のメニューに移動します。



## 10 糸選択

使用する刺しゅう糸の種類を選びます。

使用する刺しゅう糸を選択すると刺しゅう実行画面の糸 色表示が選んだ糸の種類の表示に対応し、糸色のコード が表示されます。

読み込んだデータ内に正しい刺しゅう糸情報がある場合、 「オリジナル」キー ⑪-1 を選択すると、読み込んだ模様 が持っている糸情報が表示されます。

## 〈初期設定:JANOME ポリエステル〉

〔刺しゅう実行画面〕



次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

 グリッドライン
 「OFF」に設定すると、編集画面のグリッドラインを消す ことができます。

## 〈初期設定:ON〉

② グリッドサイズ
 グリッドラインを「ON」に設定すると、編集画面のグリッドラインの間かくを変更できます。

〈10 mm ~ 30 mm の 3 段階、初期値:10 mm〉









#### 13 お好み記憶モード

「ON」に設定すると、刺しゅうのぬい実行中(ぬい停止中) に電源スイッチを切っても、次回電源スイッチを入れた とき、前回ぬっていた模様の表示画面になり、前回の続 きからぬい始めることができます。

「ON」に設定し電源スイッチを入れると、メッセージ画 面が表示されます。

メッセージ画面の OK キーを押すと前回最後にぬってい た模様の画面になります。

〈初期設定:ON〉

設定変更後は、刺しゅうぬい設定画面の OK キーを押し、 新しい設定を適用します。

閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画 面が終了します。



画面に表示されている言語を 13 カ国の中から設定する ことができます。 セットキーを押し、言語設定キーを押します。 お好みの言語を選択して、OK キーを押します。 選択した言語でメッセージが表示されます。 閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画 面が終了します。

〈初期設定:日本語〉



# ◎模様の形の調整(送り調整ねじ)

布の種類や厚さなど、ぬいの条件によって模様の形がく ずれる場合があります。

ぬうときと同じ条件で試しぬいをし、模様の形がくずれ る場合は送り調整ねじ ② で調整します。

キャップ①を外すと調整ができます。

キャップ①は、左側のすきまにドライバーを入れて外します。(ミシン本体およびキャップに傷がつかないように 注意してください。)

取り付けるときはキャップの欠けている部分 ③ を左側に して、取り付け部の突起に合わせてはめ込みます。

- ※ 左図のように指示線 ④ を垂直にした位置が、標準的 な条件での模様を正しくぬえる目安の位置です。
- ※ 送り調整ねじの位置をかえた場合、ぬい終わったあと 標準位置 (指示線 ④ が垂直位置) にもどしてください。

【模様の形の整え方】(キルトグループ:模様への例)

- 図1のように模様がつまっているときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図2のように模様が伸びているときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。

# 【文字や数字の形の整え方】(数字「8」の例)

- 図 1 のように文字がつまっているときは、送り調整ね じを「+」方向にまわします。
- 図 2 のように文字が伸びているときは、送り調整ねじを「−」方向にまわします。

# 【ニットボタンホールの左右のぬい目のあらさの整え方】 (模様<sup>※</sup>の例)

- 図1のように左側があらいときは、送り調整ねじを「+」 方向にまわします。
- 図2のように右側があらいときは、送り調整ねじを「-」 方向にまわします。



# ◎ミシンのお手入れ

# ● かまと送り歯、糸切り部の掃除

少なくとも月に一回程度はかまの掃除をしてください。



- お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源 プラグをコンセントから抜いてください。
- •説明されている場所以外は、分解しないでください。 感電・火災・けがの原因となります。
- ※ 針と押さえホルダーを外します。

   (16、19ページ参照)
   針板を外し(18ページ参照)、ボビンを取り出します。
- 1 内がまの手前を上に引きながら外します。
- 2 内がまを付属のミシンブラシで掃除します。
   やわらかい布に付属のかま用クリーナーを少量含ませて、全体を軽くふきます。
- ③ 送り歯と自動糸切り部をミシンブラシで掃除し、さら に外がまを掃除します。
- ※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこり は、掃除機などで吸いとってください。
- ④ かま用クリーナーを少量含ませたやわらかい布で、外がまのまわりや内部全体を軽くふきます。

## <u>お願い</u>

- ミシンの使用頻度が高い場合、上記お手入れでは取りのぞけない部分に糸くずやほこりがたまり、ぬい不良の原因となることがあります。
   使用頻度が高い場合、定期的にミシンの掃除をすることをおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ミシンへの注油は出荷時に十分行っています。
   ご自身での注油は行わないでください。
   故障の原因となります。

# 【内がまの組み付け】

内がまを取り付けます。

内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせ、 内がまの凸部が、回転止めの左側にくるように取り付け ます。

- ※ 内がまを取り付けたあと、はずみ車を手でゆっくり手前にまわし、外がまがスムーズにまわることを確認してください。
- ※ お手入れが終わったら、針板、押さえホルダー、針な どを取り付けてください。



# ● 糸道の掃除

糸調子部に付いている糸くずやロウを紙で掃除します。
糸道の掃除は通常ぬいモードで行います。
① 通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキー① を 押し、通常ぬいモードにします。
電源スイッチ ⑤ を切ります。

2 押さえ上げ 3 をあげます。

③ 右上部のみぞ④(糸調子部)に紙を入れ、押さえ上 げ③をさげます。

④ 紙でこするように掃除します。

⑤ 針棒糸かけ ⑥ をミシンブラシ ⑦ で掃除します。



## ● 糸案内カバーの掃除

天板内の糸案内カバー ① の内側を月に一度、掃除してく ださい。

- 1 天板を開け、上糸を外します。
   糸案内カバー①の右側を持ちあげて、ミシンから外します。
- 2 ミシンの糸の通り道を付属のミシンブラシ ② などで 掃除します。
- ※ プリテンション板 ③ の先端を持ち上げて、内側も掃除してください。

③ 糸案内カバー ① 裏側のブラシ ④ を掃除します。

 ④ 糸案内カバー ① の取り付けは、先に左側(a)を合わ せて軽く押し込み、右上側(b)を押し付け、手前の 突起(c)をパチンと音がするまで押し付けて、はめ 込みます。

# ◎メッセージ画面一覧

警告音とともに画面(タッチパネル)に表示が出た場合、下記の解決法に従ってください。

メッセージ画面	原因	解決法
▲ フットコントローラーを 外してください。 ×	フットコントローラーが接続された状態で、スター ト/ストップボタンを使用したときに表示されま す。	フットコントローラーを外し、ス タート / ストップボタンを使用して ください。
	フットコントローラーが故障しているときに表示 されます。	お客様相談窓口(巻末に記載)もし くは、お買い上げの販売店にお問い 合わせください。
選 糸巻き中	糸巻き軸が右にセットされている場合に表示され ます。	糸巻きが終わったら、糸巻き軸を左 にセットしてください。
A BHレパーを 下げてください。	ボタンホール切りかえレバー(BH レバー)をさげ ずにミシンをスタートさせると、少しだけぬってミ シンが停止し、表示されます。	ボタンホール切りかえレバーをさ げ、ミシンを再スタートさせてくだ さい。
♪ ♪ か を 確認してください。 2本 針設定を キャンセルしました。	2本針設定から1本針設定に変更したときに表示されます。	2 本針を 1 本針に付けかえてあるこ とを確認し、OK キーを押してくだ さい。
	送り歯をさげないとぬえない模様のときに表示さ れます。	送り歯をさげてください。
▲ 送り歯が下がっています。 めいを行ないますか? "スタート/ストップ"ボタンを 押してください。	送り歯をさげてぬうと、きれいにぬえない模様のと き、送り歯がさがった状態でミシンをスタートさせ ると表示されます。	送り歯をさげてぬいたい場合以外の ときは、送り歯をあげてください。
▲ 送り歯を確認後スタートして ください。 ×	送り歯がさがった状態でミシンをスタートさせた ときに表示されます。	送り歯をさげてぬいたい場合以外の ときは、送り歯をあげてください。
▲     メリ歯を上げてください。	送り歯をさげるとぬえない模様のとき、送り歯をさ げてミシンをスタートさせると表示されます。	送り歯をあげてください。
R 客音	針板が外れているときに表示されます。	針板を取り付け、このメッセージ画 面が消えることを確認してくださ い。 消えない場合、もう一度取り付け直 してください。
<ul> <li>警告</li> <li>物がはさまっていませんか?</li> <li>布が厚すぎませんか?</li> <li>針が曲がっていませんか?</li> <li>確認後スタートしてください。</li> </ul>	ミシンのモーターに高い負荷がかかったときに表 示されます。	メッセージ画面は 15 秒間程表示されます。 物がはさまっていないか、布が厚す ぎないか、針が曲がっていないか、 内がまがずれていないか、天びん・ かま・糸切り部などに糸がからんで いないか確認してください。
# ◎ミシンの調子が悪いときの直し方

〔通〕 …… 通常ぬいの場合の項目です。

〔刺〕 …… 刺しゅうの場合の項目です。

何もなし… 通常ぬいと刺しゅう共通の項目です。

調子が悪い場合	その原因	直し方
音がうるさい	<ol> <li>外がまや内がまに糸くずがたまっている。</li> <li>糸が外がまにからまっている。</li> <li>電源投入時、制御モーターからわずかな共鳴音がでる。</li> <li>送り歯にごみがたまっている。</li> </ol>	175 ページ参照 175 ページ参照 異常ではありません 175 ページ参照
上糸が切れる	<ol> <li>1. 上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところに からみついている。</li> <li>2. 上糸調子が強すぎる。</li> <li>3. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。</li> <li>4. 針の付け方がまちがっている。</li> <li>5. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。</li> <li>6. 糸がかまなどにからまっている。</li> <li>7. 糸こまに上糸が引っかかっている。</li> <li>〔通〕8. ぬい始めに上糸を引き出して、押さえで押さえていない。</li> <li>〔刺〕9. 刺しゅうをスタートさせたときに、面板の糸切り / 糸押さえ に上糸をかけていない。</li> </ol>	26 ページ参照 35 ページ参照 19 ページ参照 20 ページ参照 175 ページ参照 糸こま押さえを付ける 39 ページ参照 123 ページ参照
下糸が切れる	<ol> <li>1. 下糸の通し方がまちがっている。</li> <li>2. 内がまの中にごみがたまっている。</li> <li>3. ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。</li> <li>4. 下糸の巻き方がゆるい。</li> </ol>	25 ページ参照 175 ページ参照 ボビンを交換する 24 ページ参照
針が折れる	<ol> <li>1. 針の付け方がまちがっている。</li> <li>2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。</li> <li>3. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。</li> <li>4. 上糸調子が強すぎる。</li> <li>5. 布に対して針が細すぎる。</li> <li>〔通〕6. ぬい終わったとき布を手前に引いている。</li> <li>〔通〕7. 模様に合った押さえを使用していない。</li> </ol>	19 ページ参照 19 ページ参照 19 ページ参照 35 ページ参照 20 ページ参照 布を向こう側に出す 模様に合った押さえに 交換する
ぬい目がとぶ	<ol> <li>1. 針の付け方がまちがっている。</li> <li>2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。</li> <li>3. 布に対して針と糸が合っていない。</li> <li>4. 伸縮性のある布や薄い生地など、ぬい目がとぶようなときに、 付属のブルー針やパープル針を使っていない。</li> <li>5. 上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>6. 押さえ圧が弱い。</li> <li>7. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。</li> <li>8. 針が不良品である。(針穴や針先のさびや、バリがある。)</li> <li>〔刺〕 9. 刺しゅう枠が正しく取り付けられていない。</li> <li>〔刺〕 10. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。</li> <li>11. 厚い布をぬうのにパープル針を使用していない。</li> </ol>	19 ページ参照 19 ページ参照 20 ページ参照 20 ページ参照 26 ページ参照 21 ページ参照 芯地を貼る 針を交換する 123 ページ参照 122 ページ参照 20 ページ参照
ぬい目がしわに なる	<ol> <li>1. 上糸調子が合っていない。</li> <li>2. 下糸・上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところにからみついている。</li> <li>3. 布に対して針が太すぎる。</li> <li>4. 布に対してぬい目があらすぎる。</li> <li>5. ぬい幅が大きすぎる。</li> <li>6. 押さえ圧が合っていない。</li> <li>7. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。</li> </ol>	<ul> <li>35 ページ参照</li> <li>25、26 ページ参照</li> <li>20 ページ参照</li> <li>ぬい目を細かくする</li> <li>ぬい幅を小さくする</li> <li>21 ページ参照</li> <li>芯地を貼る</li> </ul>

調子が悪い場合	その原因	直し方
布送りがうまくい かない	<ul> <li>〔通〕1. 送り歯に糸くずがたまっている。</li> <li>〔通〕2. ぬい目が細かすぎる。</li> <li>〔通〕3. 押さえ圧が弱い。</li> <li>〔通〕4. 厚手の布のぬい始めに布が送れない。</li> <li>〔通〕5. 送り歯があがっていない。</li> </ul>	175 ページ参照 ぬい目をあらくする 21 ページ参照 39 ページ参照 22 ページ参照
ミシンが動かない	<ol> <li>電源のつなぎ方がまちがっている。</li> <li>かまに糸やごみがたまっている。</li> <li>上糸が外れ、ボビンにからまっている。(ガチャガチャ音がする)</li> <li>押さえ上げがさがっていない。</li> <li>上糸が天びんから外れ、他の部品にからまっている。</li> </ol>	<ul> <li>10ページ参照</li> <li>175ページ参照</li> <li>上糸かけを確認する</li> <li>21ページ参照</li> <li>電源を切り、からまっている糸を取る</li> <li>[からまっている糸の</li> <li>取り方]</li> <li>① 電源スイッチを切る</li> <li>② 面板をあける</li> <li>③ からまっている糸 を取る</li> <li>④ 上糸をかけ直す (26ページ参照)</li> <li>⑤ 面板をしめる</li> </ul>
	〔通〕 6. フットコントローラーが故障している。 〔通〕 7. フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ス	フットコントローラー を外す 10 ページ参照
	トップボタンを使用している。 〔刺〕 8. フットコントローラーで刺しゅうをぬおうとしている。	スタート / ストップボ タンで行う
フットコントロー ラーを踏んでも動 かない	〔通〕 1. フットコントローラーを踏んだ状態で電源スイッチを入れた。	電源スイッチを入れて からフットコントロー ラーを踏む
刺しゅうのとき、	〔刺〕 1. キャリッジに何かはさまっている。	はさまっているものを 取り除く
する	〔刺〕 2. キャリッジが何かにぶつかっている。	116ページ参照
模様がきれいにぬ えない	<ol> <li>ボビンのセットがまちがっている。(ボビンの入れる方向・ 下糸が内がまのばねに入ってない)</li> <li>上糸調子が強すぎる。</li> <li>ぬい目があらすぎる。</li> <li>4. 指定の押さえを使用していない。</li> <li>(通)</li> <li>东の種類や厚さ、ぬい速度などに対してミシンの送り調整 が合っていない。</li> <li>薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。</li> <li>「刺しゅう枠のつまみがゆるんでいる。</li> <li>(刺)</li> <li>キャリッジ移動時に、ミシン周辺に置いてある物にあたっている。</li> <li>(刺)</li> <li>キャリッジ移動時に、布がミシンに引っかかっている。</li> <li>(刺)</li> <li>刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。</li> <li>(刺)</li> <li>刺しゅう時に布が何かに引っかかっている。</li> </ol>	25 ページ参照 35 ページ参照 33 ページ参照 指定の押さえを使用 する 174 ページ参照 芯地を貼る 123 ページ参照 116 ページ参照 布を張り直す 122 ページ参照 ミシンを止め、布を張 り直す 湾り糸を切ろ

調子が悪い場合	その原因	直し方
ボタンホールがうま くぬえない	通〕1. 布に対してぬい目のあらさが合って 通〕2. 送り調整ねじが正しく調整されてな 通〕3. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っ 通〕4. ボタンホール切りかえレバーがさか	いない。54 ページ参照い。174 ページ参照ていない。芯地を貼るっていない。52 ページ参照
模様選択キーが反応 しない	1. キーの位置が正しく調整されていな	い。 163 ページ参照
画面(タッチパネル) が見にくい	1. 画面のコントラストが合っていない	。 162 ページ参照
画面(タッチパネル) がふくらむ	1. ミシンが高温多湿の場所に置かれて	いる。 ミシンを涼しく乾いた場 所に保管する
USB メモリが機能し ない	1. USB メモリのデータが壊れている。 2. 対応していない USB メモリを使って	フォーマットをする 164 ページ参照 USB メモリを交換する 154 ページ参照
薄い布、伸縮性の布 が食い込む	1. 布に対して針と糸が合っていない。 通〕 2. 左針位置でぬっていない。	20 ページ参照 左針位置でぬう
上糸が抜ける	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 通〕 2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえて	26 ページ参照いない。39 ページ参照
かまに糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. かまにキズがある。 3. 内がまの入れ方がまちがっている。	26 ページ参照 かまを交換する 175 ページ参照
音がして糸がからま る	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. 天びんの糸穴に糸が入っていない。	26 ページ参照 26 ページ参照
糸通しができない	1. 針が上にあがっていない。 2. 糸が糸通しのみぞに入っていない。 3. 針の付け方がまちがっているか、針	27 ページ参照 27 ページ参照が曲がっている。19 ページ参照
ぬい終わりに下糸が 二重に出てくる	1. 針が上まであがっていない。	針をあげる
ぬい目に下糸がでる	<ol> <li>ボビンのセットがまちがっている。</li> <li>糸こまのセットがまちがっている。</li> <li>上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>上糸調子が強すぎる。</li> <li>ジャノメのボビンを使用していなし</li> </ol>	25 ページ参照         23 ページ参照         26 ページ参照         35 ページ参照         23 ページ参照
ぬい始めの糸がらみ	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 通〕2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえて	26 ページ参照いない。39 ページ参照

※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モーターから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※ 長時間使うと操作ボタンやタッチパネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい 作業上はとくに問題はありません。

※ 外観の細い線のように見える部分は、樹脂を形成するときに発生するウェルドラインと呼ばれるものです。 場所によっては目立つ場合もありますが、強度上とくに問題はありません。

調子が悪い場合	その原因	直し方
布裏で糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっ	26 ページ参照
	ている。	[からまっている糸の取り方] ① 電源スイッチを切る
		2 押さえ上げと針をあげ、ハサミで布裏の糸を切る
		A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
		③ 針板を外す(18 ページ参照)
		<ul> <li>④ ボビン、内がまを外し、からまっている糸を取る(175 ページ参照)</li> </ul>
		<ul> <li>⑤ 内がま、ボビンをセットし、針板を取り付ける</li> <li>(18、25、175ページ参照)</li> </ul>
		6 上糸をかけ直す(26ページ参照)
ボビンにうまく下糸	1. 下糸のかけ方がまちがっ	24 ページ参照
が巻けない・糸切り ホルダーの下にから	ている。	[糸切りホルダーの下にからまっている糸の取り方] ① ミシンをとめる
まる		2 糸巻糸案内側の糸を切る
		<ul><li>③ ボビンを左側に押して糸巻軸からボビンを外し、ボビン と軸のあいだで糸を切る</li></ul>
		<ul> <li>④ 左手で糸の端を持ち、右手で糸切りホルダーの近くの糸を ゆっくり時計方向にまわして、からまった糸をほどく</li> </ul>
	2. ボビンの上または、下に	[5] 下糸を巻き直9 (24 ヘージ参照) 調整ねじをまわす
	巻きが片寄っている。	注意:
		調整ねじをまわす範囲は1回転までにしてください。 1回転以上まわすと部品が外れます。
		<ul> <li>調整ねじ</li> <li>上に片寄っている</li> <li>下に片寄っている</li> <li>下に片寄っている</li> <li>正</li> <li>通道</li> <li>通道</li> <li>調節ねじを右に回す</li> <li>調節ねじを左に回す</li> </ul>
1		



## ● USB メモリをフォーマットする

本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。

お使いの USB メモリがミシンで読み込めない場合、 Windows 搭載のパソコンでフォーマットするか、読み取 り可能な他の USB メモリを使用してください。

- ※ フォーマットは、必ず Windows 11 もしくは Windows 10 搭載のパソコンで行ってください。
- ※ フォーマットの方法は、Windows 11 を使用して説明 しています。
- タスクバーにある「エクスプローラー」①をクリックします。
   「USB ドライブ」②を右クリックし、「フォーマッ

ト…」③をクリックします。

- 2 フォーマットダイアログが表示されます。
   「ファイルシステム(F)」④から「FAT16」または 「FAT32」を選択します。
- ※「FAT16」または「FAT32」が選択できない場合は、 他のパソコンを使用してください。
- ※ Windows 8.1 搭載のパソコンをフォーマットに使用し ないでください。
- ③「アロケーション ユニット サイズ (A)」 ⑤ から、64
   キロバイト以下のサイズを選択してください。
- ※「クイックフォーマット(Q)」のチェック⑥は外し てください。
- 「開始(S)」⑦をクリックします。

※ Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。



- 6 確認メッセージが表示されます。「OK」 ⑧ をクリックしてフォーマットを開始します。
- ※ USB メモリに重要なデータが残っている場合は、 「キャンセル」⑨をクリックします。データを他の場 所に保存し、手順①(前ページ参照)からやり直し てください。

⑥ フォーマットが完了するとメッセージが表示されます。
 「OK」⑩をクリックします。

# じつようぬい

 $\begin{array}{c|c} & & \\ c & \\ c$ 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18

### ボタンホール

				J				٥
01	02	03	04	05	06	07	80	09

## アップリケ

 Image: Second state
 Image: Second state<

## かざりもよう 1

## キルト



## つなぎもよう

01 02 03 04 05 06 07

# かざりもよう2

 

 M
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 I
 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53

◎模様一覧表

# ロングステッチ

2 1 2 03 04 05 06 07

# ワンポイント

A R P Lover

03 04

05

02

\*handmadet

186

○模様一覧表● 通常ぬい文字



まるもじ (9 mm)



◎模様一覧表

● 通常ぬい文字

ブロック	A O a o 1 , À Ò Ł	B P b p 2 ? Á Ó N	C Q C Q Q Q Q A Ô Œ	D R d r 4 ! Ã ŐŚ	ESes s5i ÄÖŞ	FT ft 6 <sup>'</sup> ÅØ Ź	GU gu 7, ÆÙż	HV hv 8 Ç Ú	I W i W 9 > È Û	J X j X ( É Ü	К Ү k У & ) Êß	L Z I z Ë Ą	M \$ + Ì Ć	N I 0 = 1 E	□ / Ĩ Ğ	□ - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	% Ñ IJ	~	:
	à ò	á Ó	â ô	ã õ	ä ö	å ø	æ ù	Ç Ú	è û	é ü	ê ß	ë ą	ì Ć	í ę	î ğ	ï T	ñ ij		
	ł	ń	œ	Ś	Ş	ź	Ż												
スクリフト	A	B P	Ca	$\mathcal{D}_{\mathcal{R}}$	S S	F I	G 91	H V/	J W	J L	K Y	$\mathcal{L}$	M	е¶? П					
	a	ŀ	C	d	e	K	g g	h	i	į	k	$\widetilde{\ell}$	m	$\overline{n}$					
	0.	P n	Y N	л Л	2	t	11.	10	11	x	NJ De	$\mathcal{Z}$	¢						
	,	2 ?	ی ک	4	1	6	,	0	I 2	6	ピノ	_	\$ +	=	•	//	%	~	:
	À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ę	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Ĵ	Ï	Ň	ŏ	
	Û L	Ó	Ô B	Õ S	Ö S	Ø Z	Ú Ž	Ú	Û	Ü	ß	Ą	Ć	Ę	Ğ	Ĵ	IJ		
	à	á	Â	ã	ä	å	æ	Ç	è	é	ê	ë	ì	ĺ	î	ï	ñ		
	Ò	Ó	Ô	Õ.	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	ß	Ą	Ć	ę	ğ	l	ið		
	Ŀ	'n	œ	Ì	Ş	Ż	Ż												
ブロック (9 mm)	A	B P	C Q	D R	ES	F	G	H V	l W	J X	K Y	L 7	Μ	N	Π				
	1	. 2	3	4	5	6	7	- 8	9	0	&	_	\$	@					
	,	?	Ś	!	i	6	,	<	>	(	)	-	+		/	//	%	~	:

◎ 模様一覧表 ● 刺しゅう

# デザインセレクション

Produced In



MARE WITH MY Created By (SQ14a) (RE20a)



○ 模様一覧表
 ● 刺しゅう



# クロスステッチ







# ○ 模様一覧表 ● 刺しゅう文字

#### 明朝体

あいうえおかきくけこさしすせそ
$\begin{bmatrix} \mathbf{z} \\ \mathbf{z} $
がぎぐげござじずぜぞだぢづでど ばびぶべぼぱびぷぺぽう
アイウエオカキクケコサシスセソ タチッテトナニヌネノハヒフへホ
マミムメモヤユヨラリルレロワヲ ン、。 <sub>アイウェオ</sub> ッャュョー
ガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデド バビブベボパピプペポヴ
小中学校幼稚保育園年組部係班子 供父母入卒式会社祭男女名前住所
春夏秋冬元気晴雨曇雪結婚御見舞 待引越礼知慶新誕様交通安全祝休
株生才時分曜日月火水木金土東西 南北平成第上下左右花山川百千万

## まるもじ



# ○ 模様一覧表● 刺しゅう文字

スクリプト

## ゴシック

				(
<b>(A)(B</b>	)[ <b>C</b> ][ <b>D</b> ]	)[ <b>E</b> ][ <b>F</b>	)(G)(H)(I)(J)(K)(L)(M)(N)	l
ΟΡ		ST	UVWXYZ	) (
ab	<b>Cd</b>	<b>e</b> f	<u>ghijklmn</u>	
<b>o</b> ] <b>p</b> ]	)[ <b>q</b> ][ <b>r</b> ]	)[ <b>s</b> ][ <b>t</b>	)( <b>u</b> )( <b>v</b> )( <b>w</b> )( <b>x</b> )( <b>y</b> )( <b>z</b> )	) (
12	34	56	7890&_\$@	
	),?	! []	);,,,<>())-+	) (
= /	// %			
				(
ÀÁ		) (Ä (Å	Ĵ JÆÇÈÉÉËÌÌÍÍ	
À Á Ï Ñ	)ÂÃ )ÒÓ	)  Ä  Å  Ô  Õ	Ĵ ÆÇÈÉÊËÌÍÎ ÖØÙÚÛÜßAĆ	) (
ÀÁ ÏÑ ĘĞ	) Â Ã ) Ò Ó )    J	ÄÅ  ÔÕ  ŁŃ	Ĵ ÆÇÈÉÊËÌÍÎ ÖØÙÚÛÜßAĆ ŒŚŞŹŻ	
ÀÁ ÏÑ ĘĞ àá	ÂÃ ÒÓ I IJ â ã	) <mark>Ä Å</mark> ) Ô Õ ) Ł Ń ) ä (å	J ÆÇÈÉÊËÌÍÎ ÖØÙÚÛÜBAĆ ŒŚŞŹŻ )æÇèéêêëìííî	
ÀÁ ÏÑ ĘĞ àá	ÂÂ ÒÓ IIJ âã ÒóÓ	À Â Ô Ũ Ł Ń Ĵ â ô õ	ÆÇÈÉÊËÌÍÎ ÖØÙÚÛÜBAĆ ŒŚŞŹŻ œÇèéêëìíî öØùúûüßać	

		-	·											
A	<b>B</b>	<b>e</b>		3	<b>F</b>	G	H	<b>I</b>		K		M	N	
0	<b>9</b>	Q	<b>R</b>	<u>(</u> <b>S</b> )	<b>I</b>	<b>U</b>	<b>v</b>	$[\boldsymbol{w}]$	$(\boldsymbol{\mathcal{X}})$	<b>y</b>	$[\mathcal{Z}]$			
a	b	C		e	ſ	g	h	i	1	k	l	m	n	
Ø	P	9	1	8	t	u	U	w		<b>y</b>	2	•		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	d		\$		
$\boxed{\bullet}$	•	,	<b>?</b>	6	[]	[ <i>i</i> ]	•	•	<	>	$\left( \begin{array}{c} \\ \end{array} \right)$	$\bigcirc$	-	+
			%	<b>~</b>										
À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Ĵ
Ï	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	ß	A	Ć
<b>E</b>	Ğ	İ	IJ	<b>£</b>	Ń	Œ	Ś	Ş	Ź	Ż				
à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì	í	î
ï	ñ	Ò	Ó	â	õ	Ö	Ø	ù	Ú	û	ü	ß	Q	ć
(e)	ğ	Ι	[ <b>ij</b> ]	Ł	( ń	æ	8	\$	Ź	Ż				

## チェルトナム





### ボーダー 2

Ӳ҇ӭӭѷҽ҂ѽ҄ӂ҄҄ӝѿӄ҇҆҄҆҄҂ҲѴҲѺѺѽ҄ҠҲѴҀѺ҂҂ ѧ҆҄Ѧѧѧ҈ѡѷҽҁҀ҅ѵҧ҂҂Ҟҟ҄ӿҁҟѡӀ҄҄





				仕	様					
使	用	電	圧	100 V 50	) Hz / 60 Hz					
消	費	電	力	55 W						
本体 幅 47.5 cm ×奥行 22.3 cm ×高さ 31.6 cm										
				幅 47.5 cm ×奥行 33.6 cm	◎ G @ J ユニシド取り引け時 幅 47.5 cm ×奥行 33.6 cm ×高さ 31.6 cm					
哲			昷	本体	刺しゅうユニット取り付け時					
			里	10.4 kg	13.8 kg					
使用針			針	家庭用	HA X 1					
最高ぬい速度			度度	通常ぬい:毎分 1000 針	刺しゅう:毎分 800 針					

仕様および外観は改良のため予告 なく変更することがありますので ご了承ください。

### 修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内、およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けくだ さい。

### 修理用部品の保有期間

● 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要に応じて 販売店に供給できる体制を整えています。

#### 無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとでも、 修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。 ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
  - 1)保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  - 4) お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
  - 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げの販売店が別に定める技術料の合計になります。

### お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。 お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

### 株式会社ジャノメ

住所 〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 電話 お客様相談室 0120 - 026 - 557(フリーダイヤル) 042 - 661 - 2600 受付 平日9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く) メールでのお問い合わせは、ホームページ https://www.janome.co.jp 問合せフォームをご利用ください。